

**第4次芦屋市総合計画 前期基本計画
市民アンケート調査結果報告書**

平成 25 年 3 月

芦 屋 市

目 次

序. はじめに.....	4
I. 全体集計.....	6
II. 施策目標ごとの集計・分析.....	12

1-1 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる.....	12
1-2 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している.....	14
1-3 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている.....	16
2-1 市民が教養を高める機会が豊富にある.....	18
2-2 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている.....	20
3-1 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている.....	22
3-2 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている.....	24
4-1 子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している.....	26
4-2 青少年が社会で自立するための力を身につけている.....	28
4-3 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている.....	30
5-1 世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている.....	32
5-2 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている.....	34
6-1 市民が健康づくりに取り組んでいる.....	36
6-2 市民が適切な診療を受けられる.....	38
7-1 地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している.....	40
7-2 高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている.....	42
7-3 障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる.....	44
8-1 市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている.....	46
8-2 犯罪が起きにくいまちになっている.....	48
9-1 家庭や地域、行政の防災力が向上している.....	50
9-2 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる.....	52
10-1 自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している.....	54
10-2 建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している.....	56
11-1 環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる.....	58
11-2 清潔なまちづくりが進んでいる.....	60
12-1 交通ルールやマナーに関する意識が高まっている.....	62
12-2 公共施設などのバリアフリー化が進んでいる.....	64
12-3 市内を安全かつ快適に移動できる.....	66

13-1	良質なすまいづくりが進んでいる	68
13-2	住宅都市としての機能が充実している	70
13-3	市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	72
14-1	市民参画による開かれた市政を運営している	74
14-2	変化に対応できる柔軟な組織運営をしている	76
15-1	様々な資源を有効に活用している	78
15-2	歳入・歳出の構造を改善している	80

III.	地域の住み心地、生活環境	82
IV.	回答者の基本属性	95
V.	資料編(アンケート調査票)	99

序. はじめに

[1] 調査の目的

第4次芦屋市総合計画の推進に向け、総合計画基本計画に基づく取組が的確な効果を発揮しているかどうかを評価するため、施策目標ごとの進捗状況を客観的に把握するとともに、今後市が実施する他の調査や検討においても活用可能な、市の施策に対する満足度の基礎データ収集を目的とする。

[2] 調査の概要

(1) 調査対象地域

芦屋市全域

(2) 調査対象者

市内在住の20歳以上の男女

(3) 対象者数

2,000人

(4) 抽出方法

住民基本台帳登録者から階層別無作為抽出

※ 平成24年10月17日現在の住民基本台帳登録者

(5) 調査方法

郵送配布・郵送回収の調査票による。

(6) アンケート調査実施期間

平成24年11月12日(月)～11月30日(金)

[3] 回答結果

(1) 実質配布数

1,989票(未配達11票を除く) 未配達率0.55%

(2) 有効回収数

1,015票 有効回収率51.0%(1,015票/1,989票)

[4] 報告書のあらまし

I. 全体集計（ページ：6 - 11）

満足度に関する回答の点数化（マイナス2点からプラス2点まで）を行い、35項目の施策目標について平均の評点を算出した。

また、各施策目標の評点と、回答率（関心度）及び「わからない」を除いた回答率（認知度）をそれぞれ縦軸と横軸におき、回答状況との関係を分析した。

II. 施策目標ごとの集計・分析（ページ：12 - 81）

施策目標（35項目）ごとに、市民からどのような視点で評価されているか、また、どのような市民から施策を高く（あるいは低く）評価されているかを明らかにするため、施策のポジションや回答者属性ごとのクロス集計結果をとりまとめた。

III. 地域の住み心地、生活環境（ページ：82 - 94）

総合計画の策定・見直しにかかる市民アンケート調査で継続的に調査している内容について、過去の調査と比較できる形での集計を行った。

IV. 回答者の基本属性（ページ：95 - 97）

回答者の基礎的な属性について、選択肢ごとの回答数と構成比の集計を行った。

V. 資料編（ページ：99 - 106）

本調査で実際に配布したアンケート調査票を添付した。

[5] データの読み方について

（1）施策の評点（満足度）について

施策の評点は、回答の選択肢を便宜的に数値化して算出したものであるため、35の施策目標を一貫した視点で見た指標のひとつとして捉える必要がある。

（2）評価の内容について

施策目標の中には、全市民（あるいは全市域）を対象とするものや、特定の市民を対象とするものがあるため、施策に対する認識の差が回答に対して、ある程度影響を及ぼしていることに留意する必要がある。そのため、これらの施策においては、評価のばらつきや属性別のクロス集計結果に着目する必要がある。

（3）数値の計算方法について

構成比は小数点以下第2位を四捨五入しており、合計が100.0%にならないことがある。

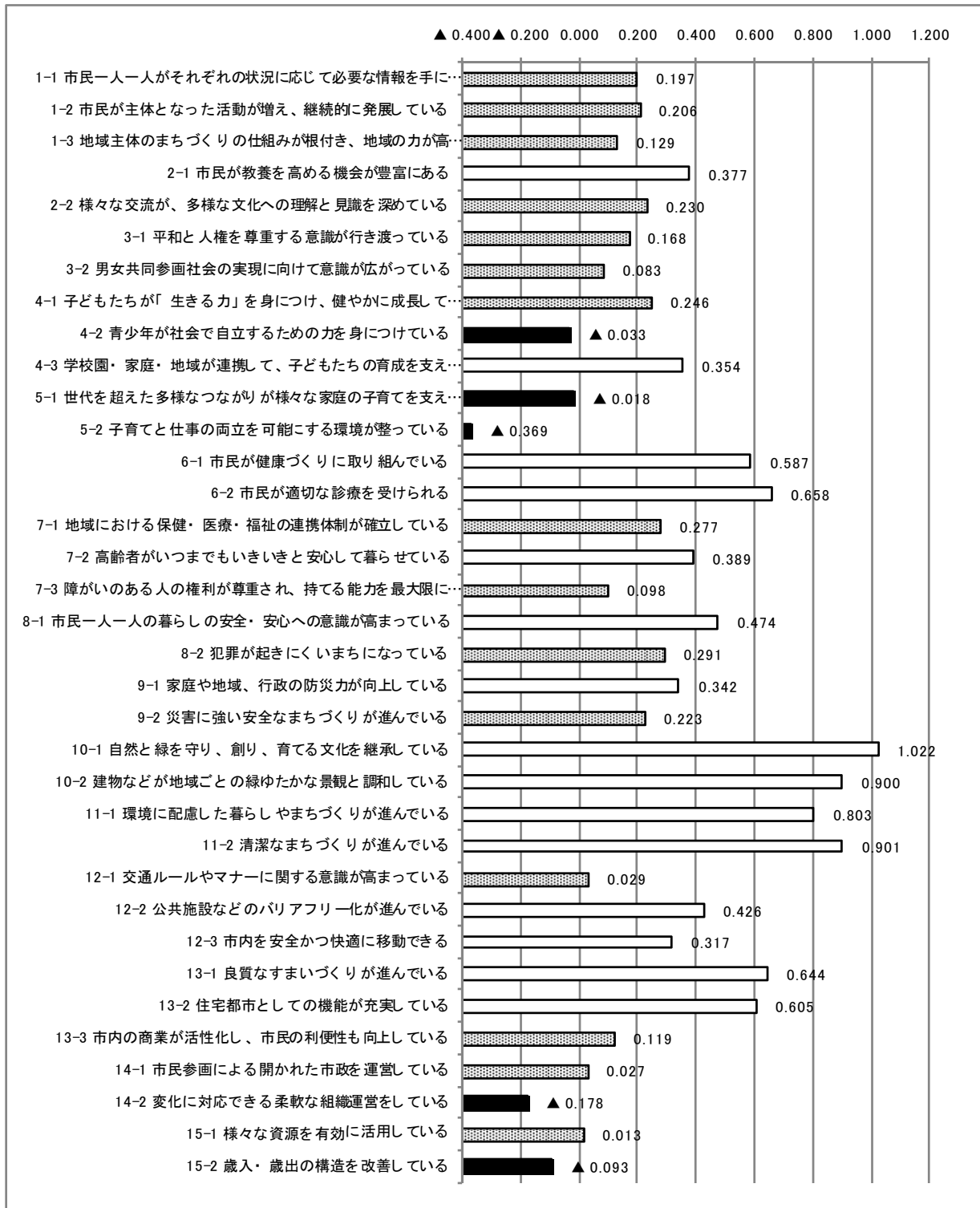
I. 全体集計

[1] 施策目標(35項目)ごとの集計結果

(1) 施策体系順

・ 満足度に関する回答を下表のルールに従って点数化し、施策ごとの評点とした。

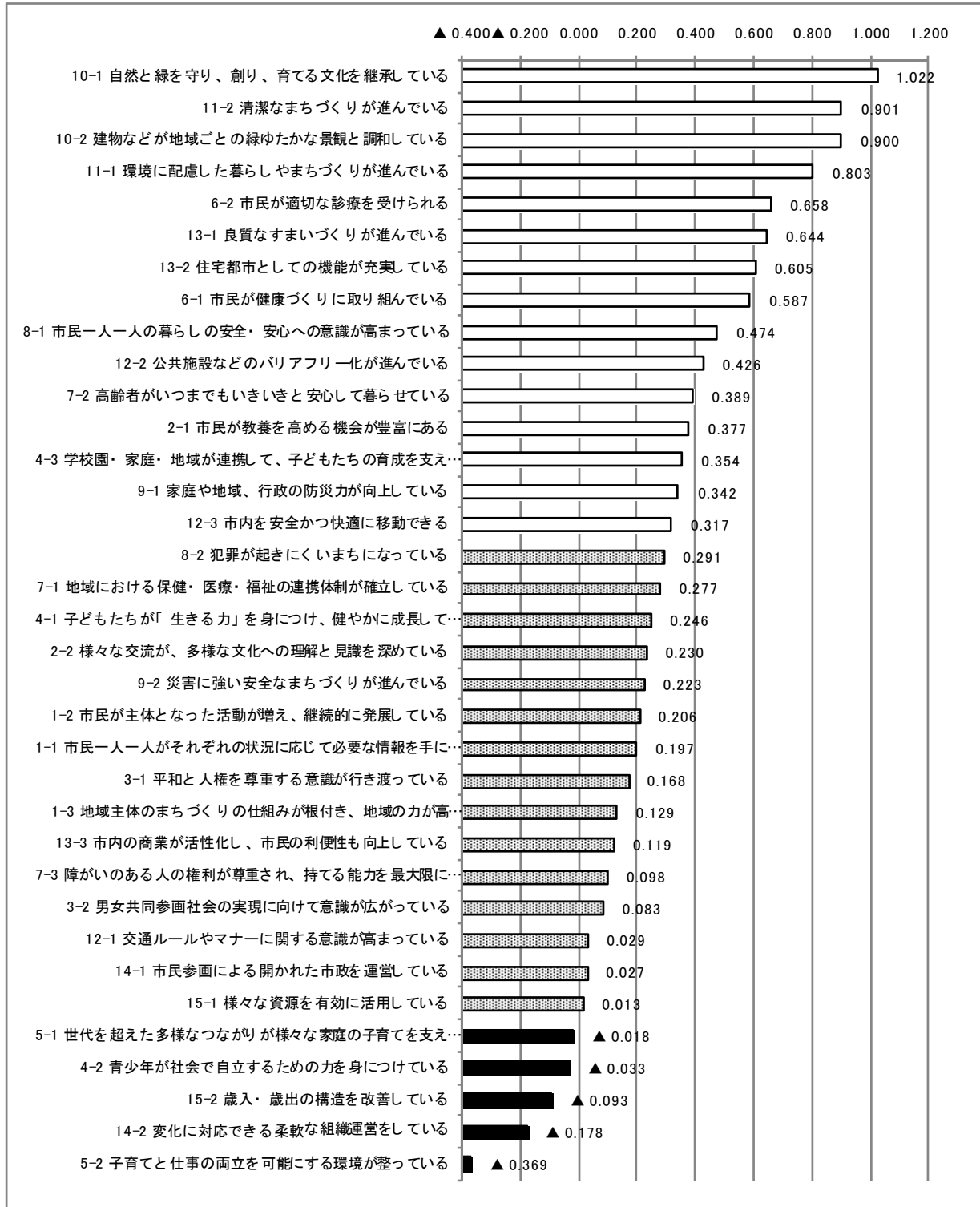
満足度	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満
評点	+2	+1	0	-1	-2



凡例: 評点がマイナス / 評点が平均以下 / 評点が平均以上

(2) 施策の評点（満足度）順

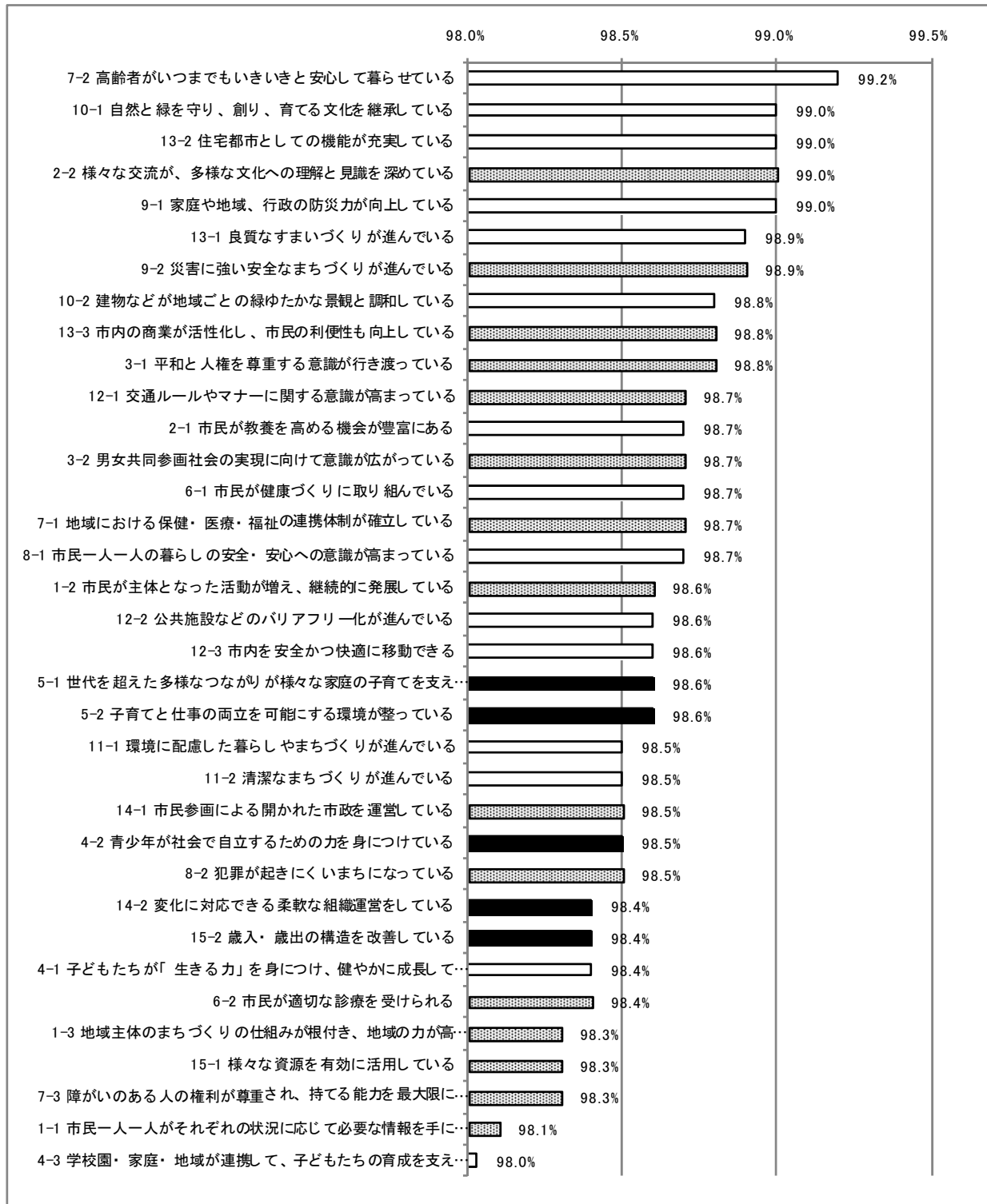
- ・ 施策の評点の高い順に 35 施策を並べ替えた。
- ・ 5 施策で評点がマイナスとなった。
- ・ すべての施策目標の平均の評点は 0.298 であった。



凡例: 評点がマイナス / 評点が平均以下 / 評点が平均以上

(3) 回答率（関心度）順

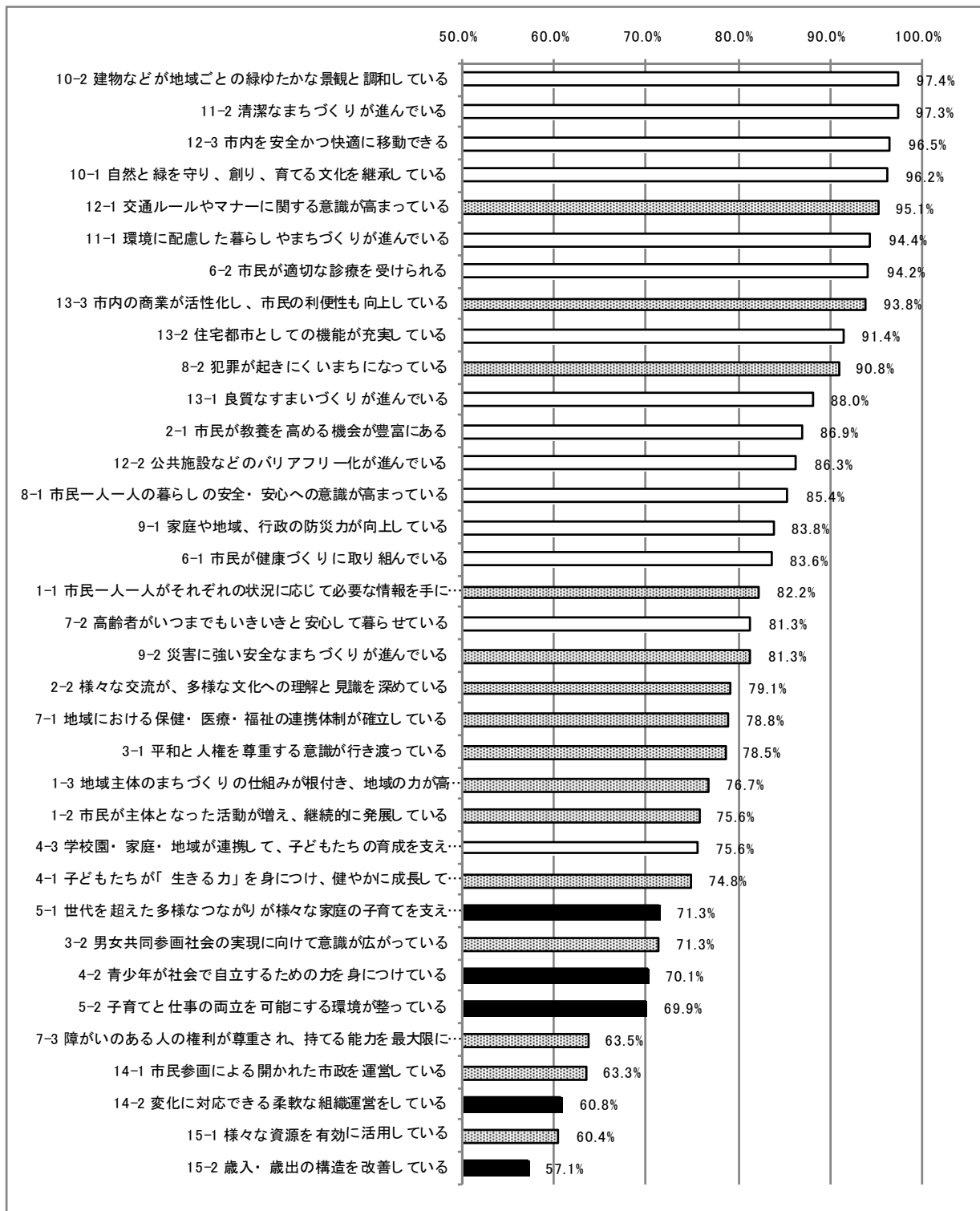
- ・ 施策目標ごとの回答率（満足度について「わからない」も含めて回答している人の割合）を施策への関心度として捉え、評点との関係を見た。
- ・ 関心度はいずれの施策も 98 パーセントを超え、市政への関心の高さがうかがわれる。
- ・ 関心度と評点に大きなギャップがある施策（子育て支援にかかる施策など）は、市民の課題認識が大きい施策と考えられる。
- ・ すべての施策目標の平均は 98.6 パーセントであった。



凡例: 評点がマイナス / 評点が平均以下 / 評点が平均以上

(4) 「わからない」を除いた回答率（認知度）順

- ・ 満足度について「わからない」以外の回答をした人の割合を施策の認知度として捉え、評点との関係を見た。
- ・ 認知度は 40 ポイントの開きがあり、特に行財政関係の施策や、子ども・青少年・障がいのある人に関する施策で認知度が低い。
- ・ 認知度の低い施策ではおおむね評点も低い傾向であるが、ある程度の認知度があるにもかかわらず評点が低い施策もある。
- ・ すべての施策目標の平均は 80.9 パーセントであった。



凡例: 評点がマイナス / 評点が平均以下 / 評点が平均以上

[2] 施策目標(35項目)の横断的評価

4象限マトリクスにより、35項目の相対的なポジションを明らかにする。

(1) 評点と関心度から見た施策への評価

- ・ 縦軸には評点（満足度）をとり、平均（0.298）を原点とする。
- ・ 横軸には回答率（関心度）をとり、平均（98.6%）を原点とする。

①第Ⅰ象限（右上）

- ・ 満足度、関心度ともに平均よりも高い。

②第Ⅱ象限（左上）

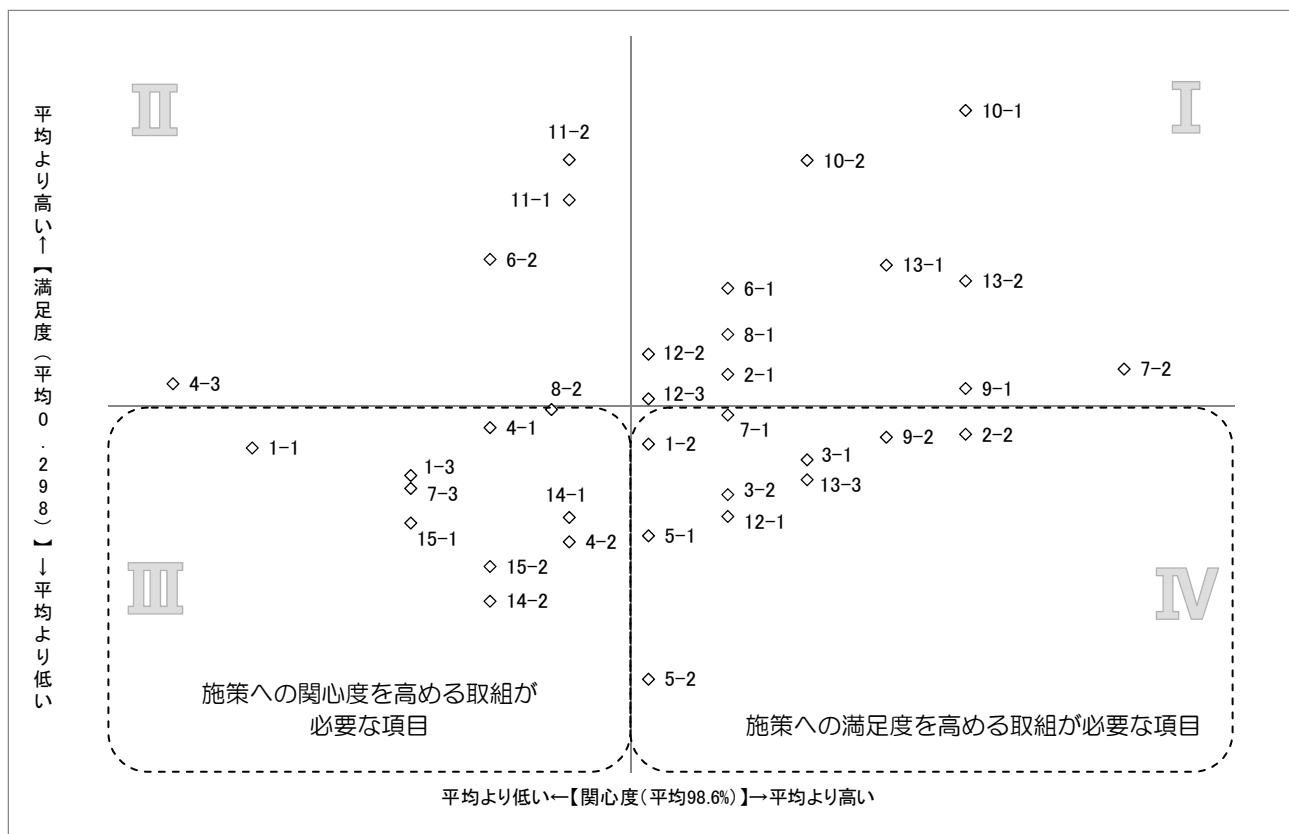
- ・ 満足度は平均よりも高いが、関心度は低い。

③第Ⅲ象限（左下）

- ・ 現状への評価が低く、かつ、施策への関心度も低いため、まずは施策の関心度を高めるための取組が求められる。

④第Ⅳ象限（右下）

- ・ 現状への評価は低いですが、施策への関心度が高いため、施策の満足度を高めるための取組が求められる。



(2) 評点と認知度から見た施策への評価

- ・ 縦軸には評点（満足度）をとり、平均（0.298）を原点とする。
- ・ 横軸には「わからない」を除いた回答率（認知度）をとり、平均（80.9%）を原点とする。

①第Ⅰ象限（右上）

- ・ 満足度、認知度ともに平均よりも高い。

②第Ⅱ象限（左上）

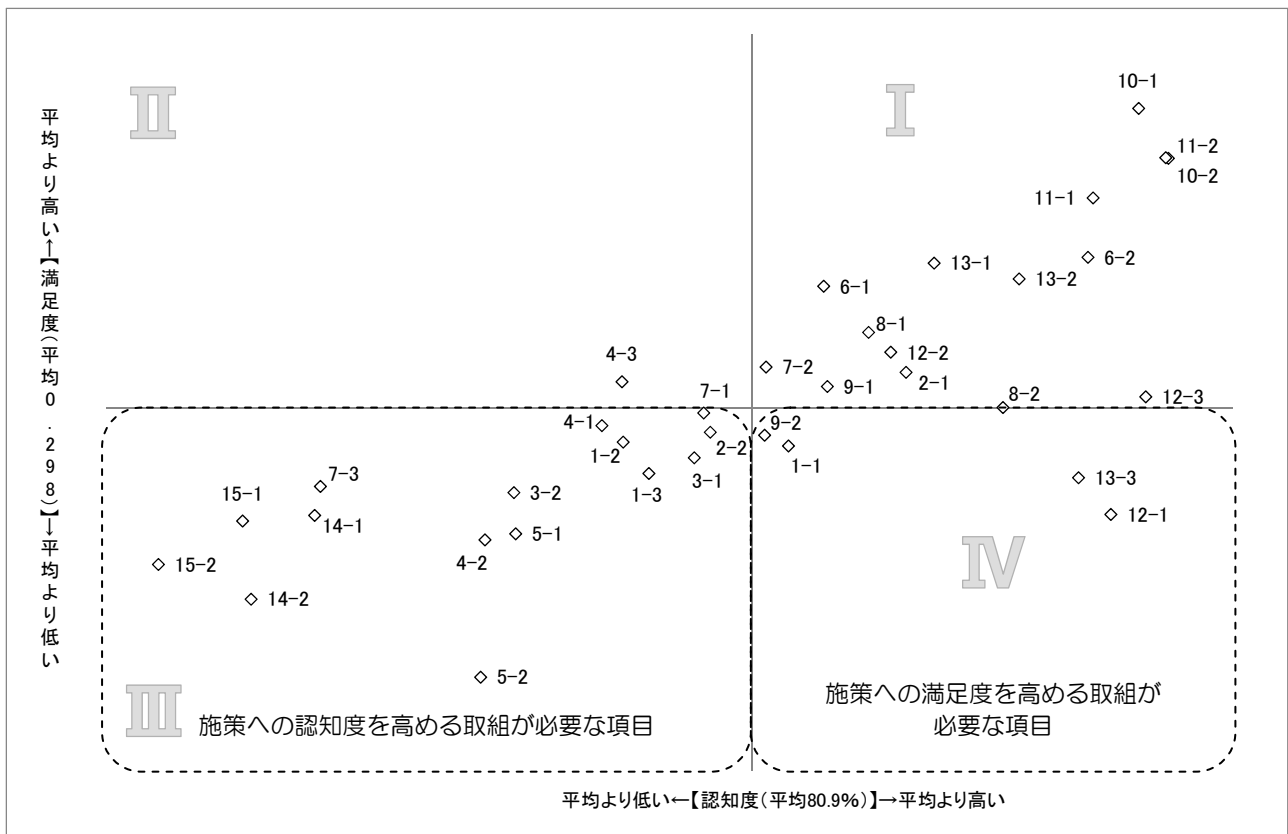
- ・ 満足度は平均よりも高いが、認知度は低い。

③第Ⅲ象限（左下）

- ・ 現状への評価が低く、かつ、現状を把握している人が少ないため、まずは施策の認知度を高めるための取組が求められる。

④第Ⅳ象限（右下）

- ・ 多くの人が現状を把握し、問題点が広く知られているため、施策の満足度を高めるための取組が求められる。



II. 施策目標ごとの集計・分析

1-1 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられるよう、テーマごとに整理して発信していくなど、市民の視点から見てより分かりやすい情報の提供に努めます。

また、行政からの一方的な情報発信だけでなく市民からの情報も集めて発信し、市民の活動をより活発にしていくための取組も行います。

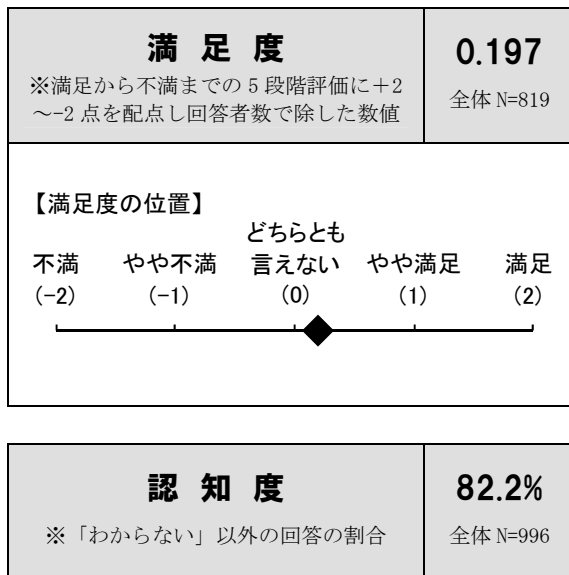
重点施策

1-1-1 様々な伝達手段を活用した、平易な表現での情報を発信します。

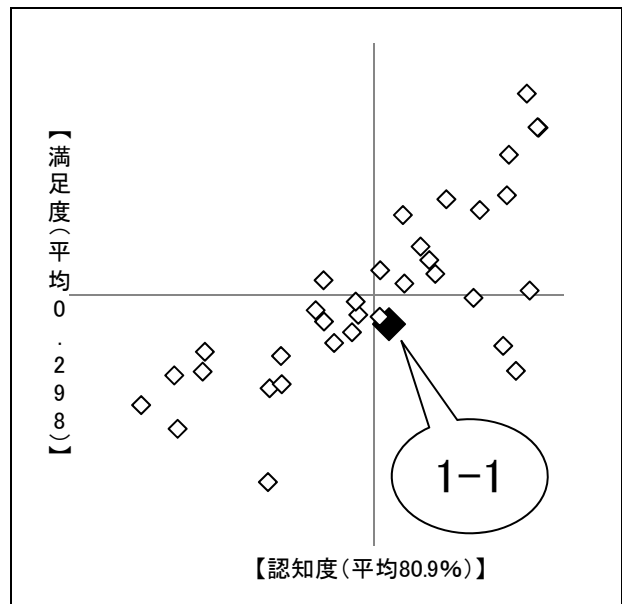
1-1-2 市民発の情報や行政発の情報をテーマごとに整理し、発信します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

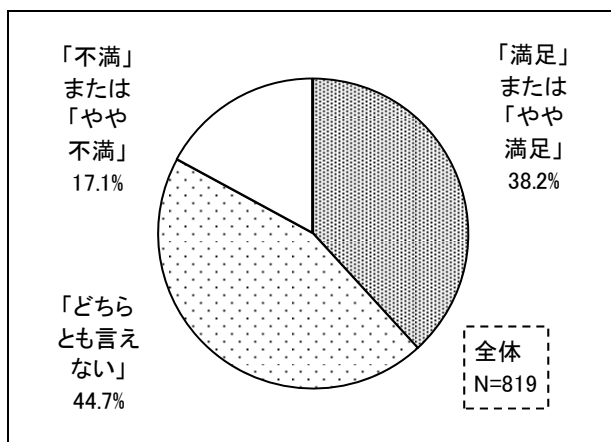


満足度と認知度から見た施策の評価

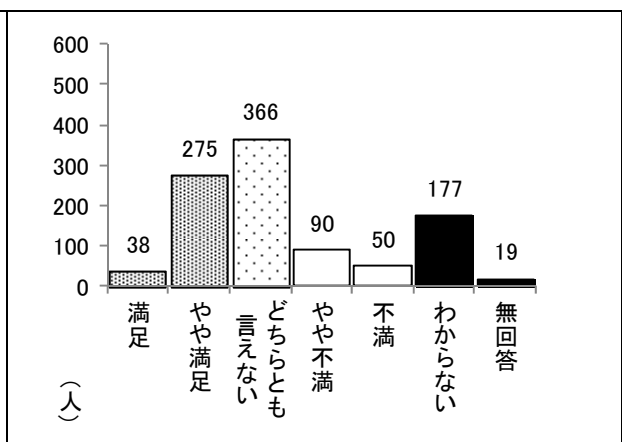


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

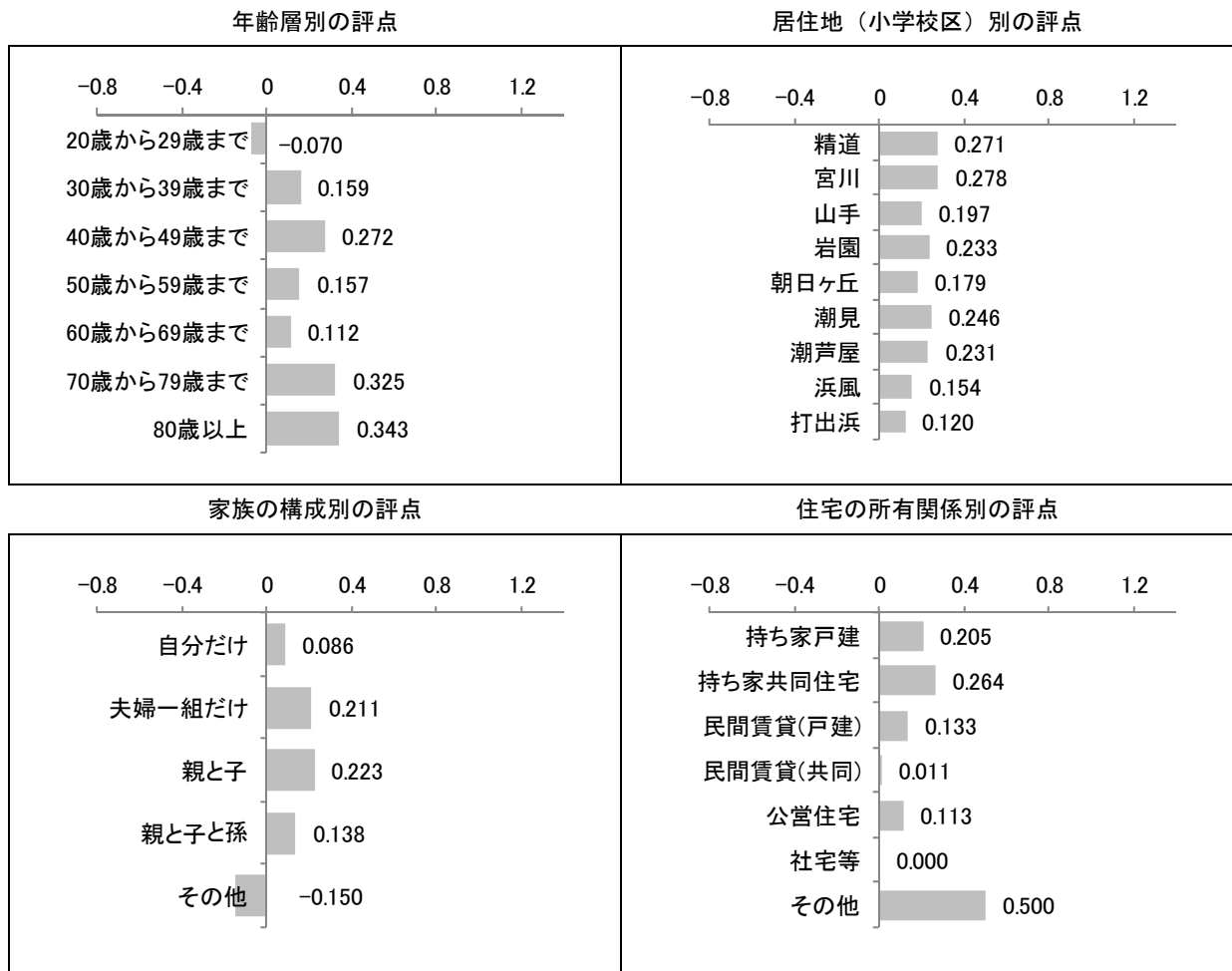


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 施策の実態を表す情報の提供に関すること (8件)
- 情報提供の機会・手法に関すること (8件)

1-2 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している

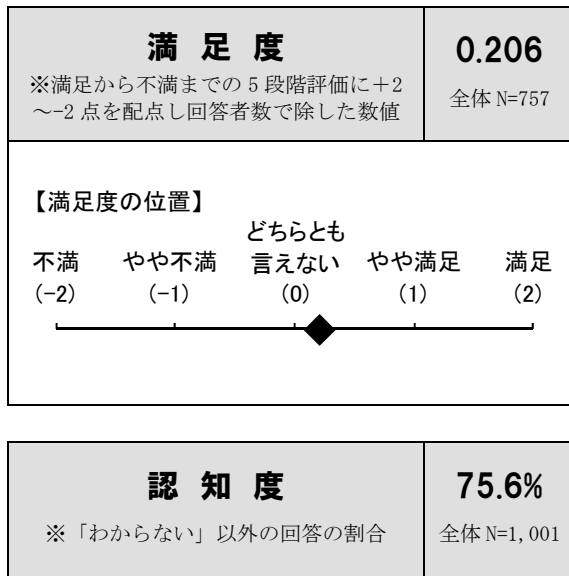
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民が主体となった活動が増え、継続的に発展していくよう、幅広い世代が地域活動に気軽に参加できる機会が提供され、自立した活動となり、人材や後継者の育成手法を共有し、お互いに連携しながら活動を展開できるよう支援していきます。

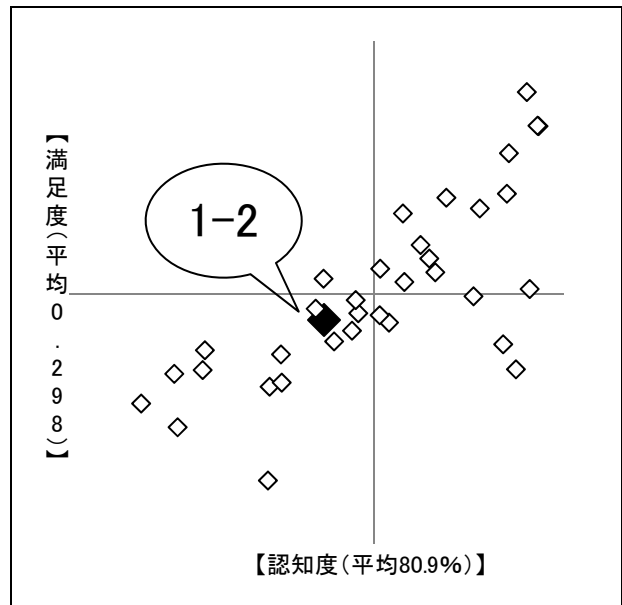
重点施策	1-2-1 幅広い世代が市民活動に気軽に参加できる環境をつくれます。
	1-2-2 市民活動に参加する市民や団体の自立への取組を支援します。
	1-2-3 市民活動の輪が広がるよう市民同士や市民と行政の連携を促進します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

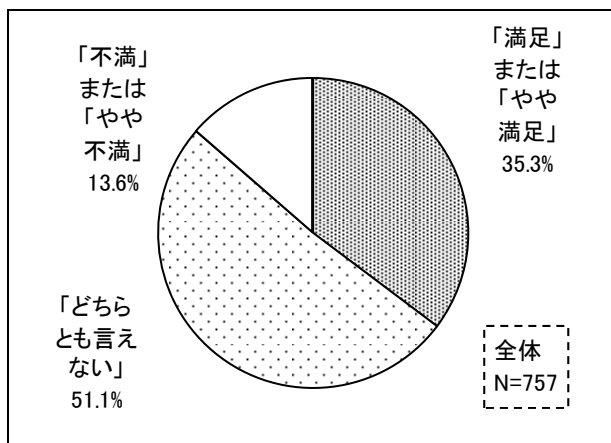


満足度と認知度から見た施策の評価

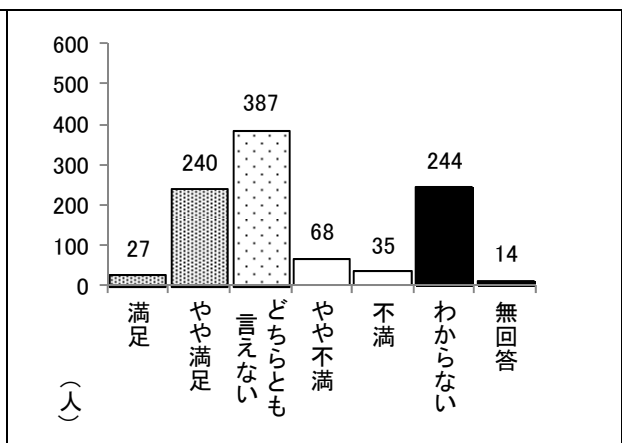


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

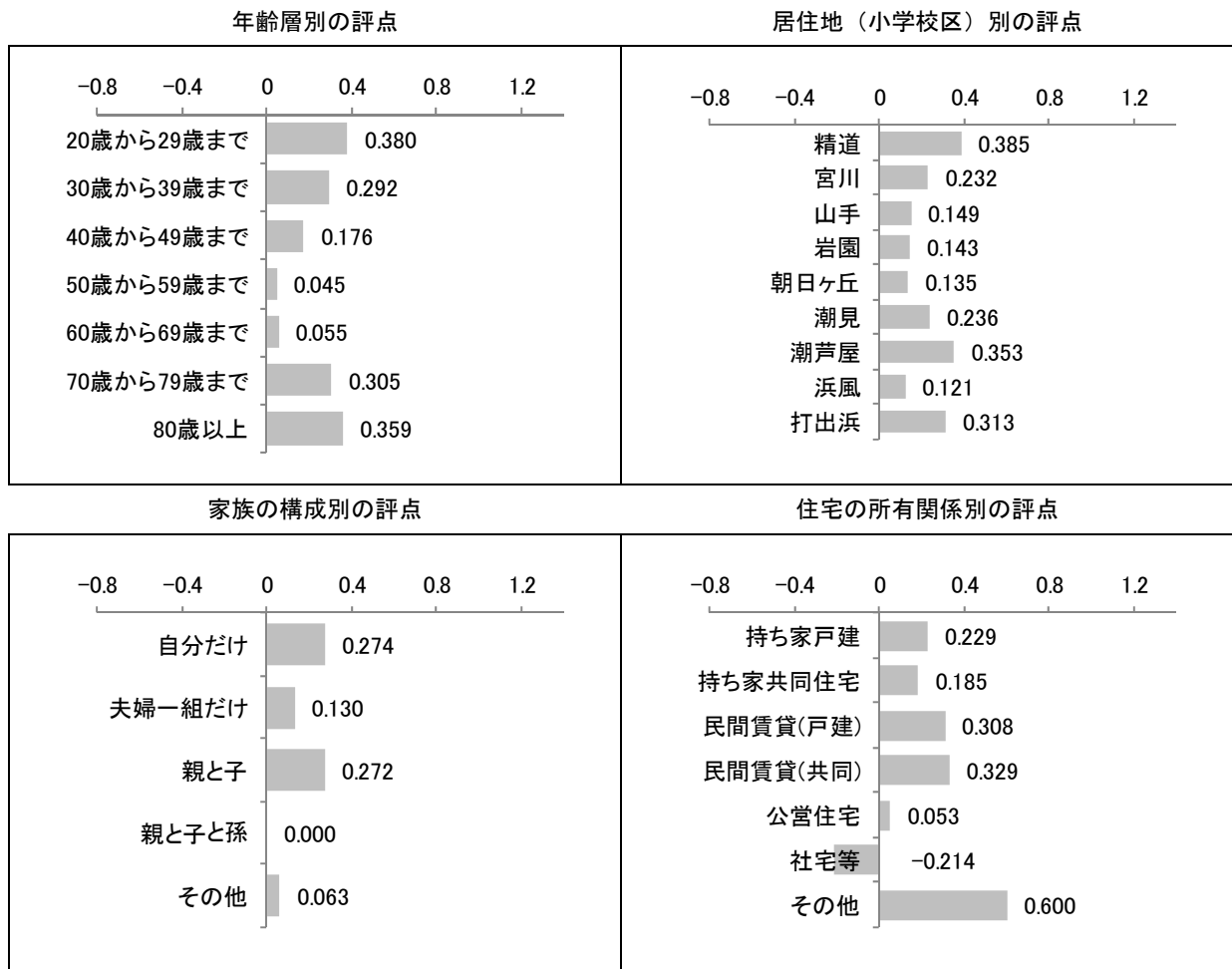


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 多様な世代の交流促進に関すること（5件）
- 主体的な市民活動の活性化に関すること（4件）
- 地域と行政の役割分担に関すること（2件）

1-3 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

地域の力が高まっていくよう、これまでの様々な活動への支援を続けるとともに、各施策分野における取組を横断的につなげ、市民が主体となって地域の課題を地域で解決する仕組みづくりに取り組みます。

また、市民と行政が目標を共有し、それぞれの役割を果たしながら信頼関係の下での協働をより発展させるため、状況に応じた新たな協働のルールづくりに取り組みます。

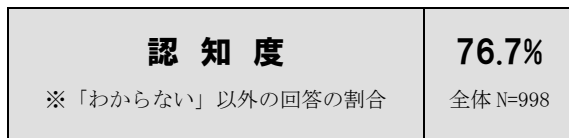
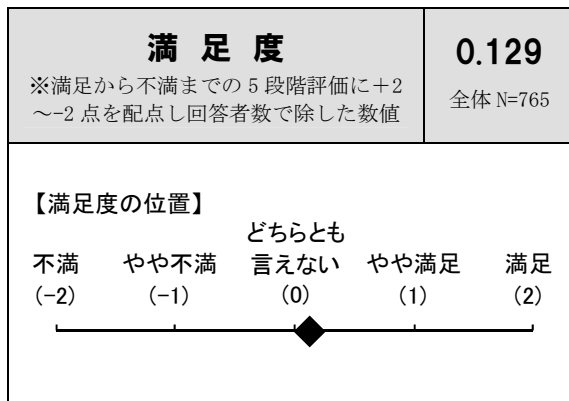
重点施策

1-3-1 地域の課題を市民が主体となって解決するよう支援します。

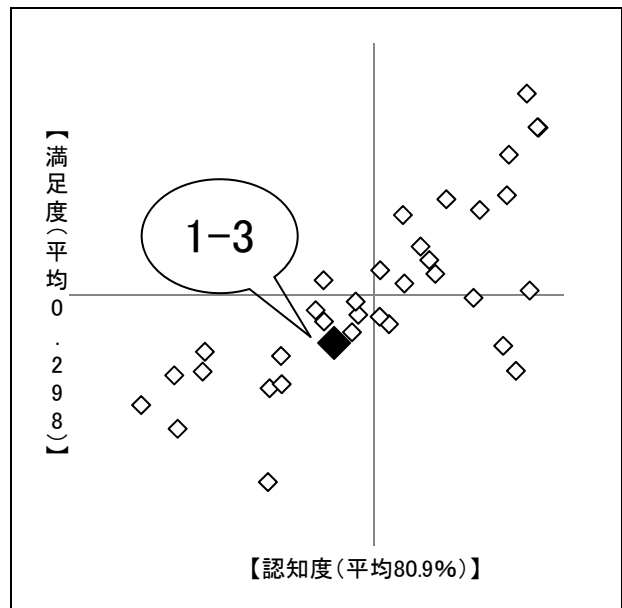
1-3-2 市民が主体となって進めるまちづくりの仕組みを市民と協働で見直します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

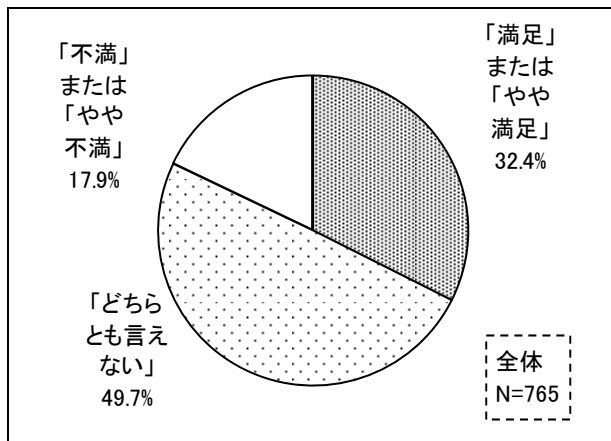


満足度と認知度から見た施策の評価

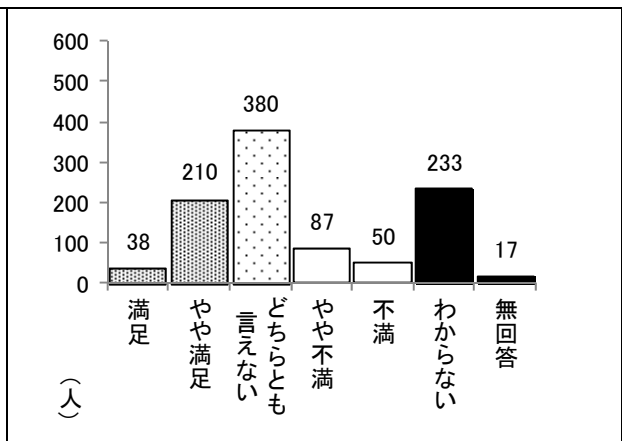


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

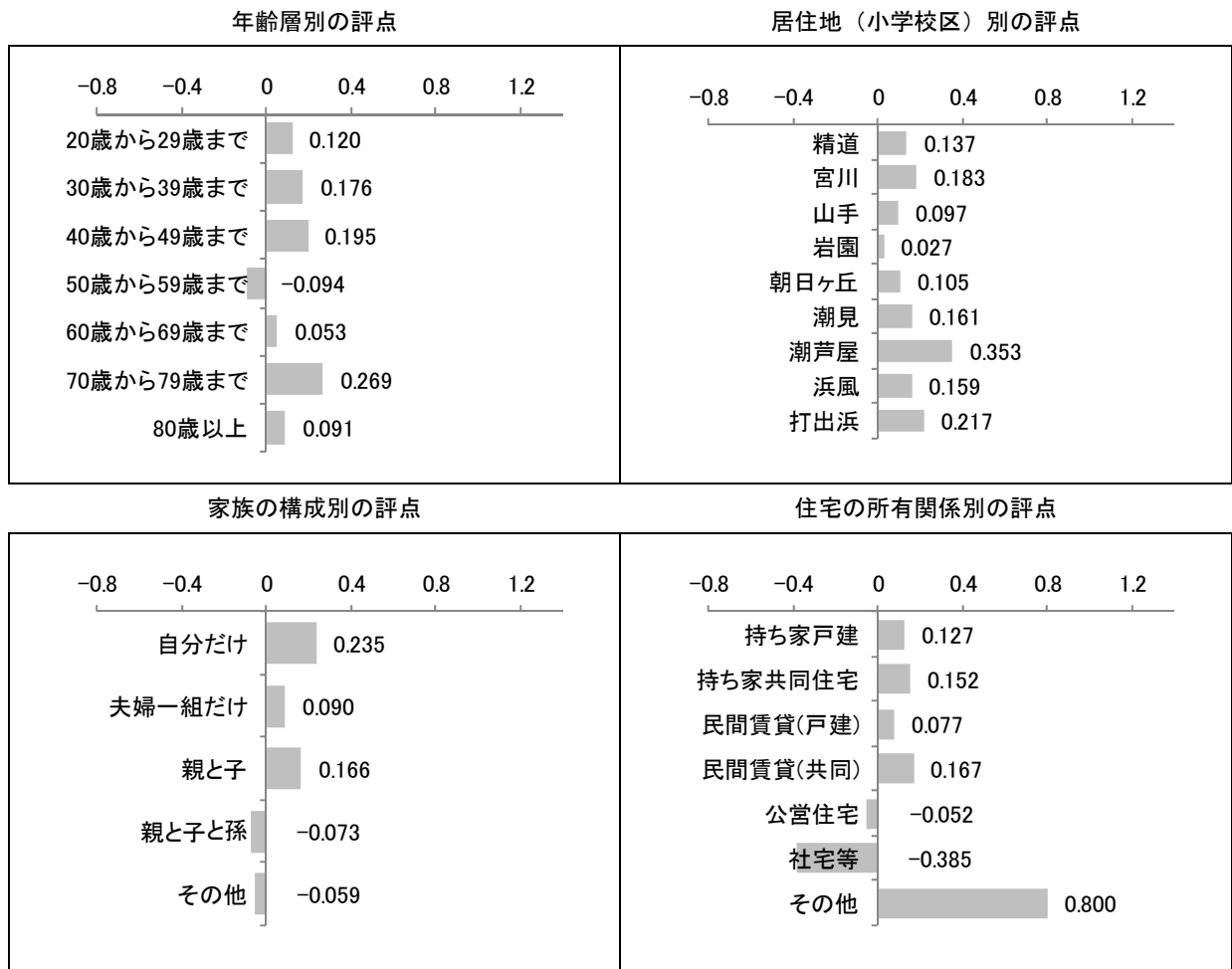


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- マンションなどの地域コミュニティに関すること (6件)
- 自治会活動に関すること (6件)
- 地域が世帯を支えるしくみに関すること (1件)
- その他地域主体のまちづくりに関すること (1件)

2-1 市民が教養を高める機会が豊富にある

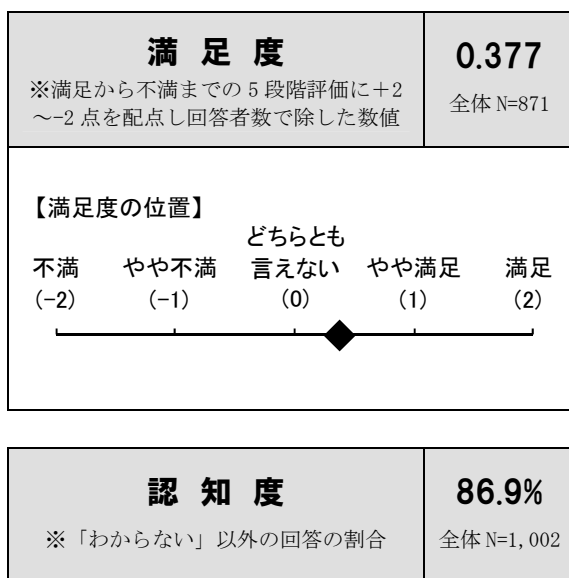
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

個性豊かで幅広い芦屋文化が発展していくよう、市民が日頃から芸術文化やスポーツなどの活動に親しみ、幅広い知識や教養を育みながら、その成果を発揮し、地域の伝統や歴史などとともに次の世代につないでいく取組を進めていきます。

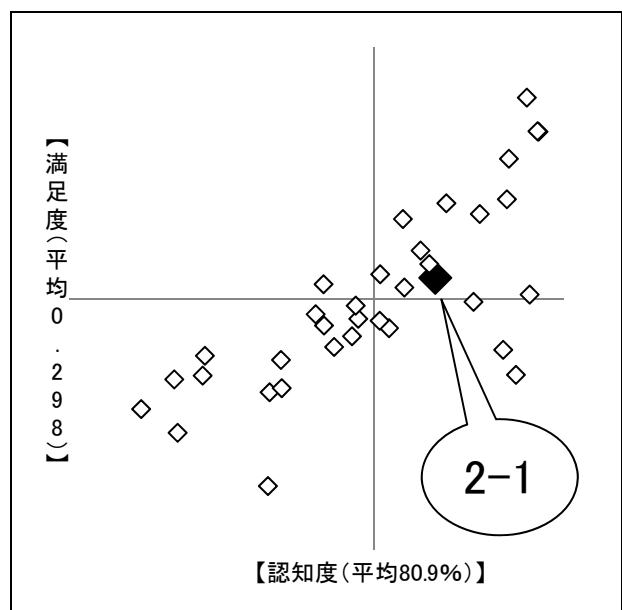
重点施策	2-1-1 幅広い知識と教養を育む機会の充実に努めます。
	2-1-2 日頃から芸術文化に親しめる環境を整えます。
	2-1-3 地域の伝統や歴史が、次の世代に語り継がれていく活動を促進します。
	2-1-4 スポーツ・フォー・エブリワンの理念に基づき、誰もがスポーツに気軽に参加できるよう普及、振興に努めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

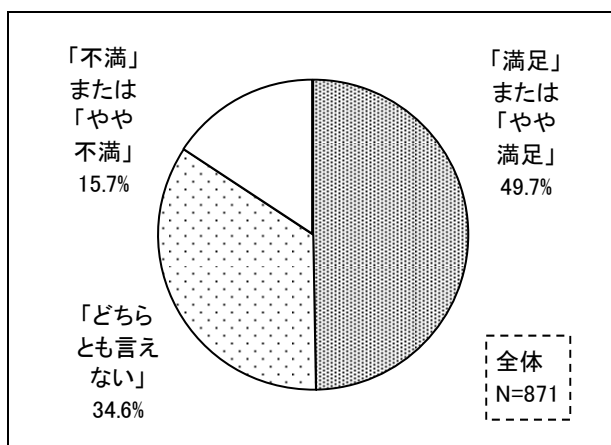


満足度と認知度から見た施策の評価

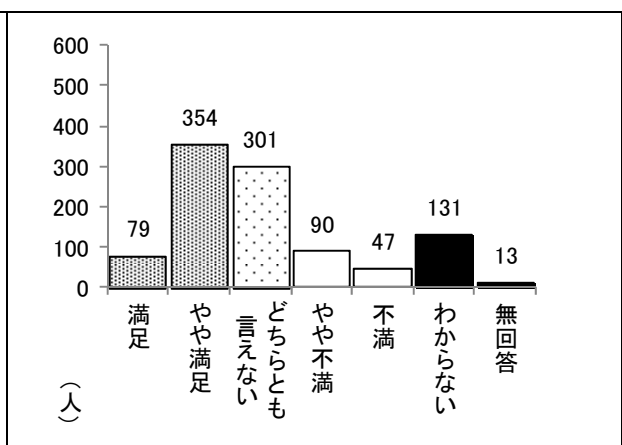


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

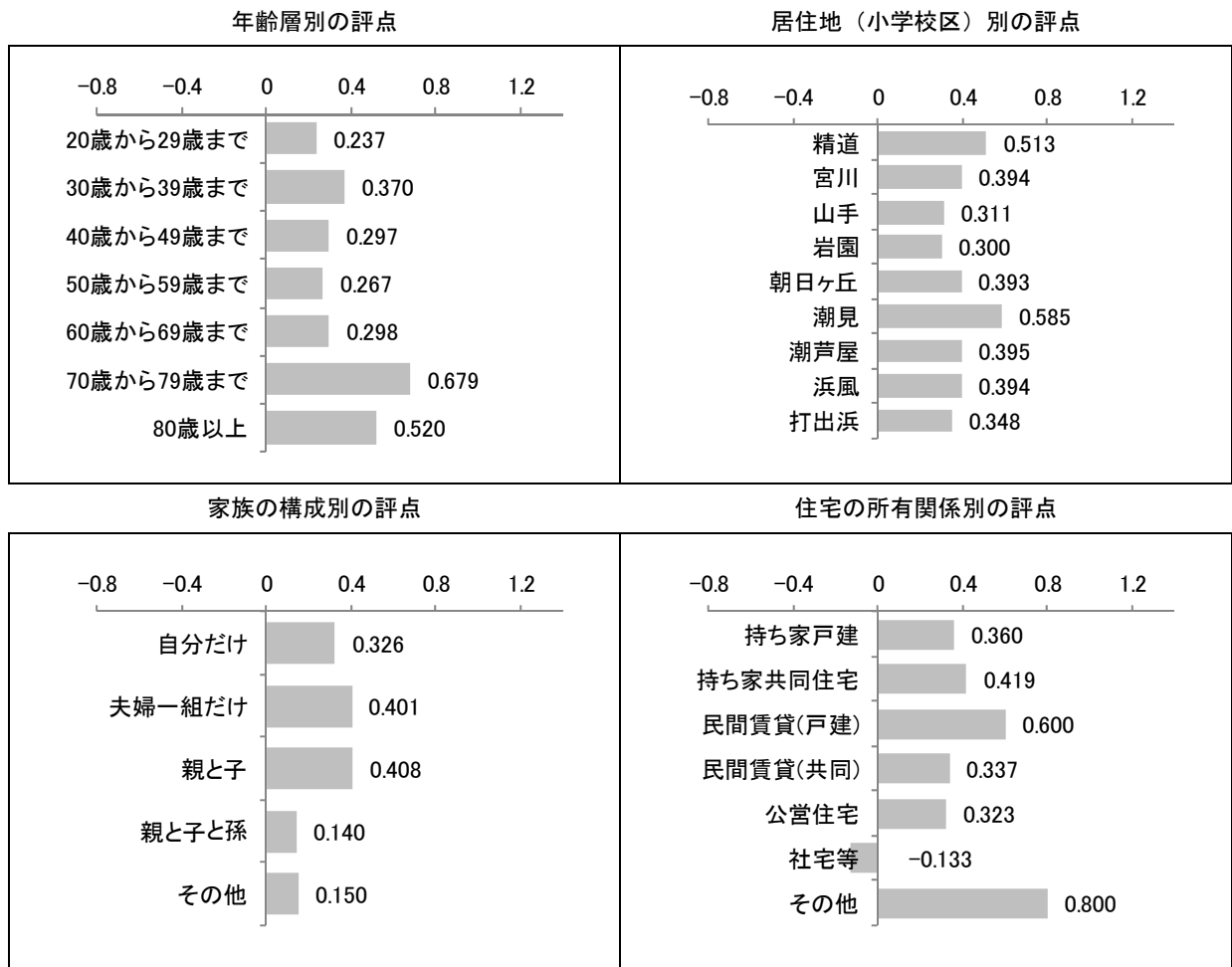


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 施設やイベント・講座の利便性向上に関すること（15件）
- 文化交流・文化振興への支援に関すること（5件）

2-2 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている

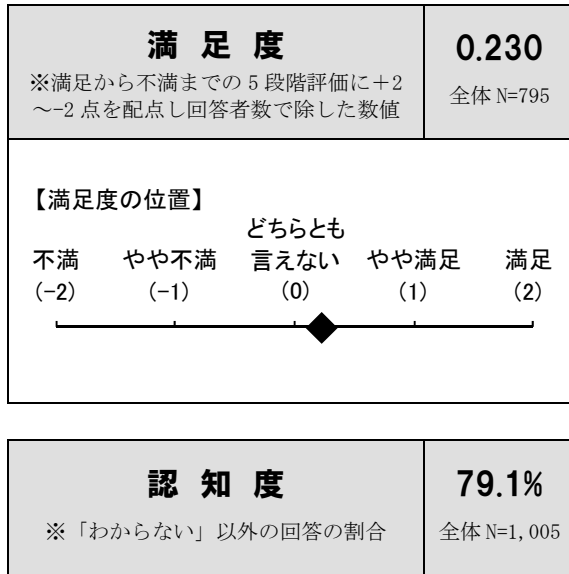
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民が多様な文化への理解と見識を深め、外国人市民との多文化共生社会を実現できるよう、潮芦屋交流センターを芦屋市の国際交流の拠点として活用し、様々な文化を持つ人との交流を促進していきます。

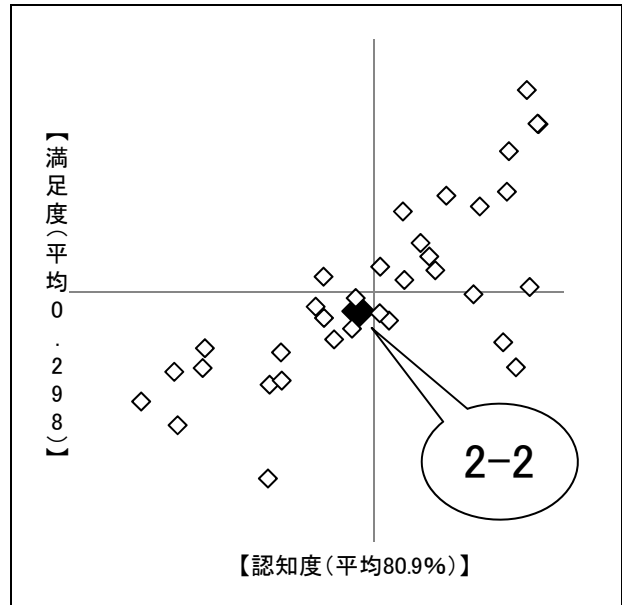
重点施策 2-2-1 多様な文化を持つ人との交流を促進します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

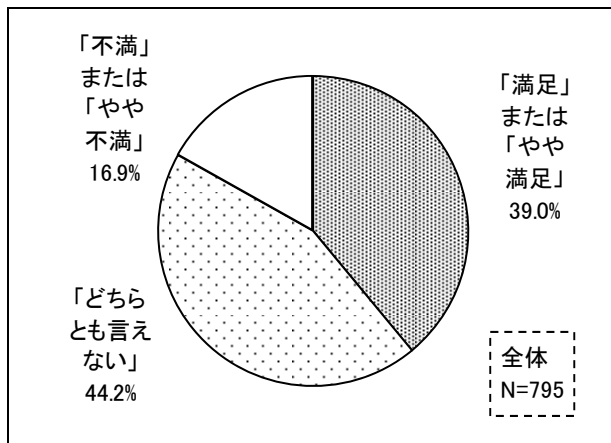


満足度と認知度から見た施策の評価

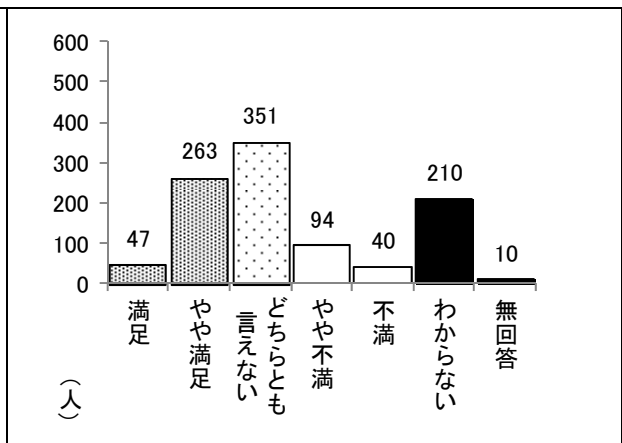


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

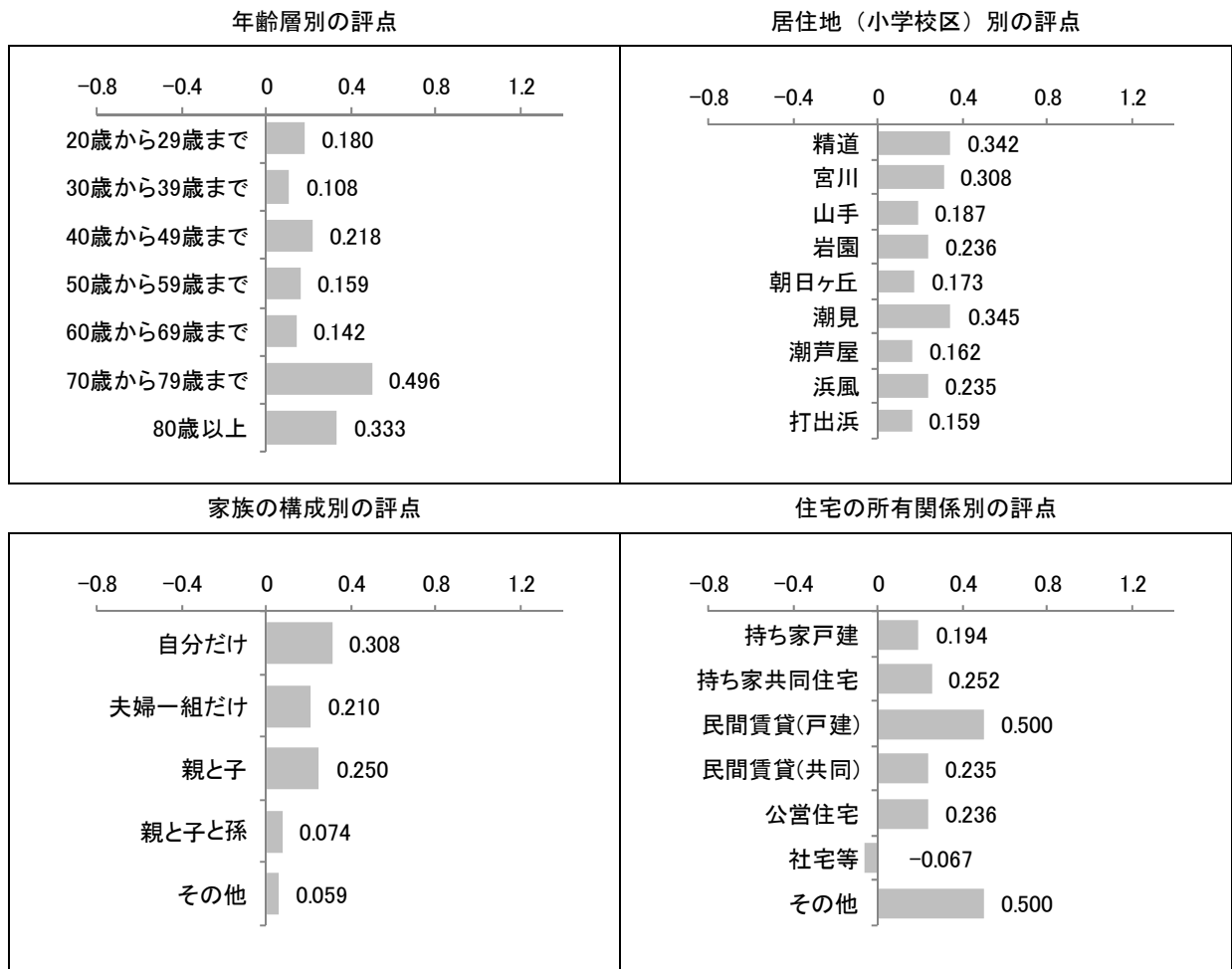


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

他地域との連携促進に関すること（1件）

3-1 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている

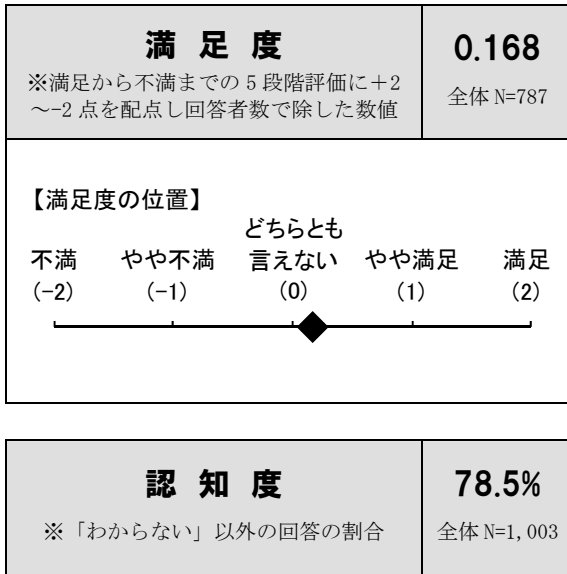
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

より効果的な取組を進めるため、人権教育・人権啓発に関する総合推進指針を見直し、市民一人一人が人権に関する正しい知識と感覚を身につけるための啓発や、差別や人権侵害を受けた場合の相談と対処に引き続き取り組みます。

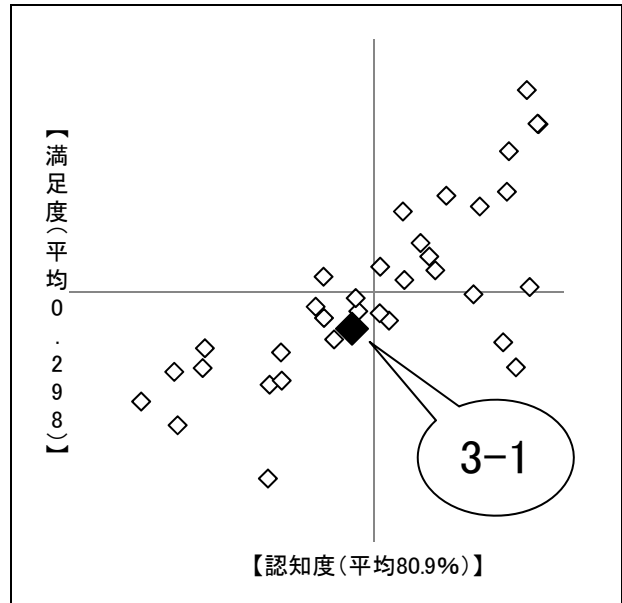
重点施策	3-1-1 平和を尊重する意識の普及、啓発に努めます。
	3-1-2 人権を尊重する意識の普及、啓発に努めます。
	3-1-3 人権擁護機関と連携し相談窓口を開設して差別や人権侵害に対処します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

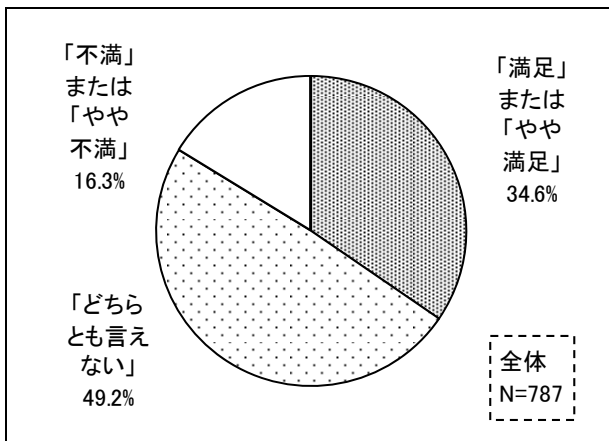


満足度と認知度から見た施策の評価

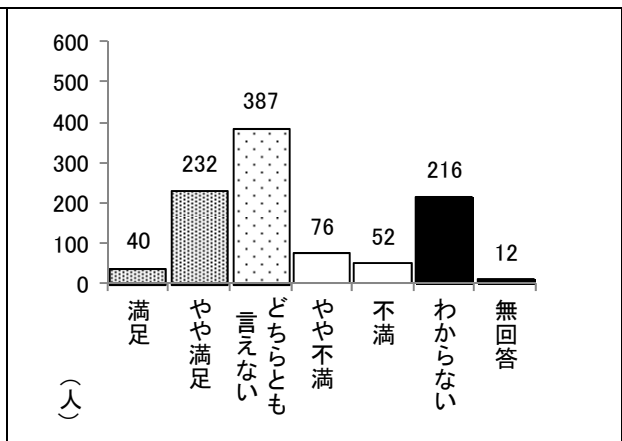


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

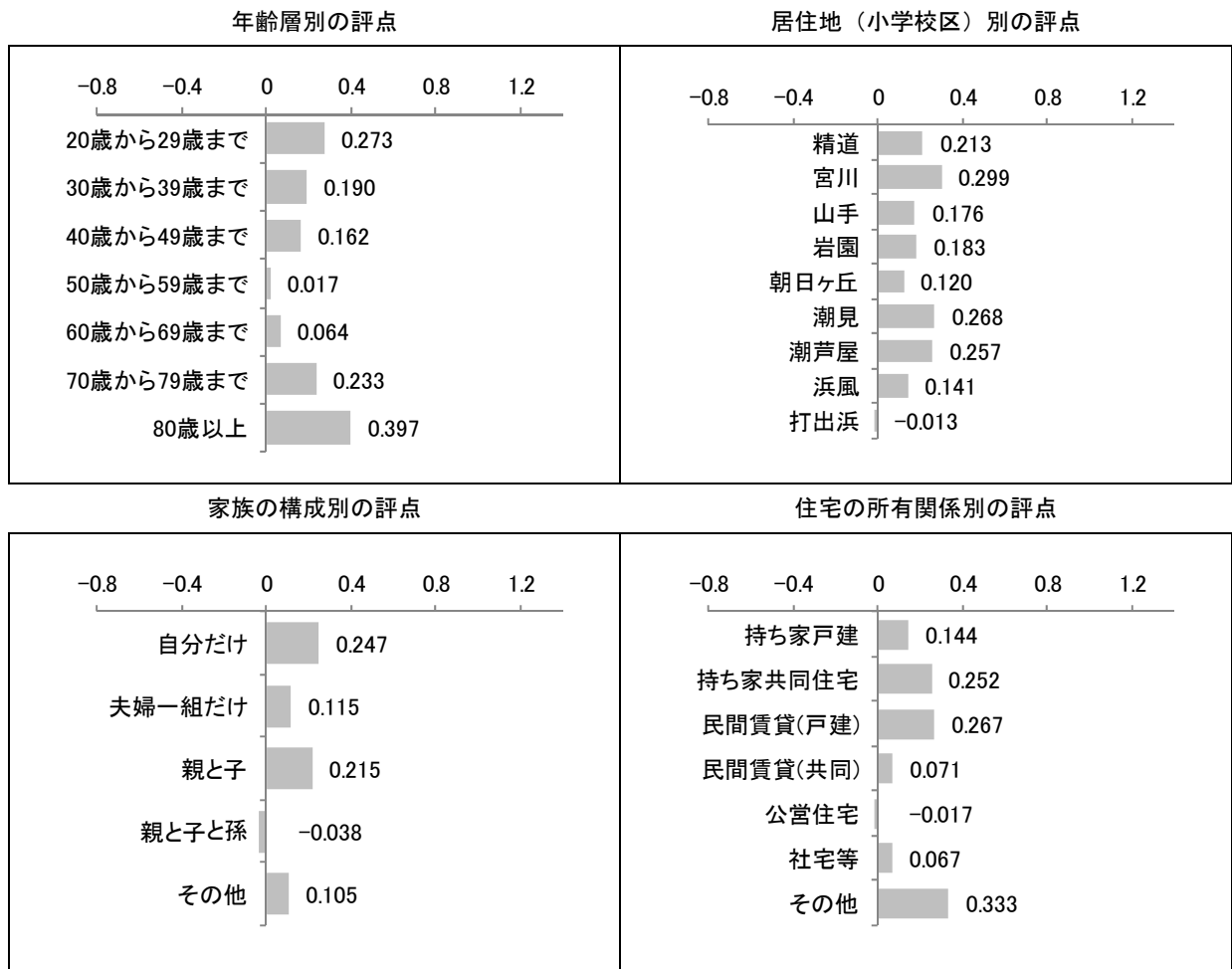


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

社会的弱者への対応に関すること（1件）

3-2 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている

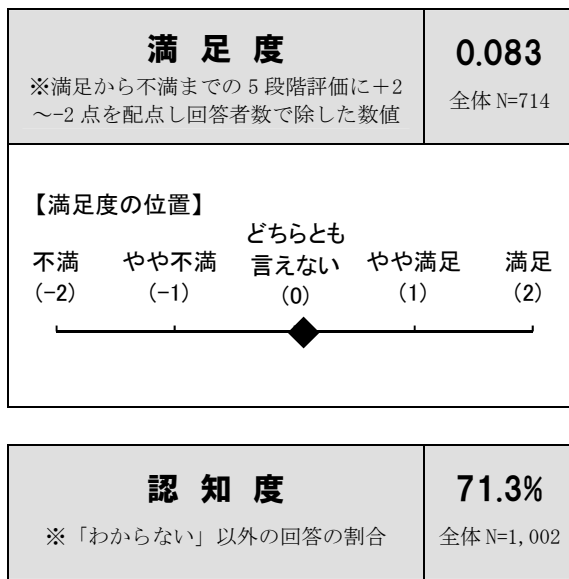
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

誰もが性別にかかわらず多様な生き方を選択できる男女共同参画社会の実現のため、男女が社会の対等な構成員として自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されるよう、また、男女の固定的な性別役割分担意識やセクシュアル・ハラスメント、ドメスティック・バイオレンス、その他性別による差別的取扱いをなくすための男女共同参画の視点に立つ教育の推進や啓発に取り組んでいきます。

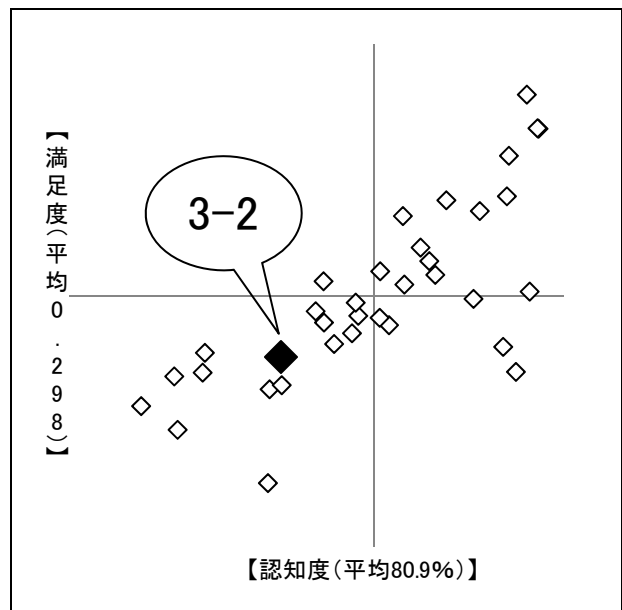
重点施策	3-2-1 あらゆる分野における女性の社会参画を支援します。
	3-2-2 セクシュアル・ハラスメントやドメスティック・バイオレンス、その他性別による人権侵害の防止、啓発に努めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

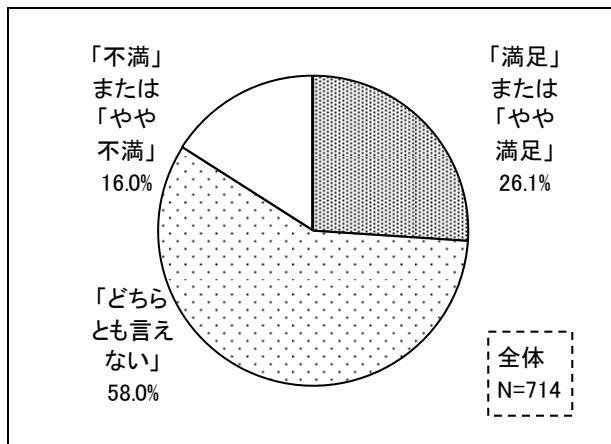


満足度と認知度から見た施策の評価

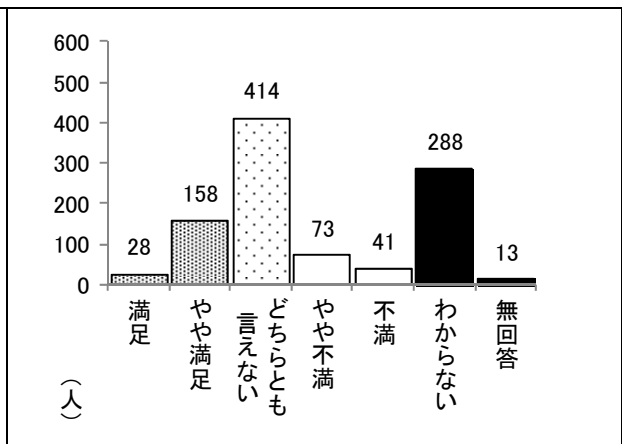


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

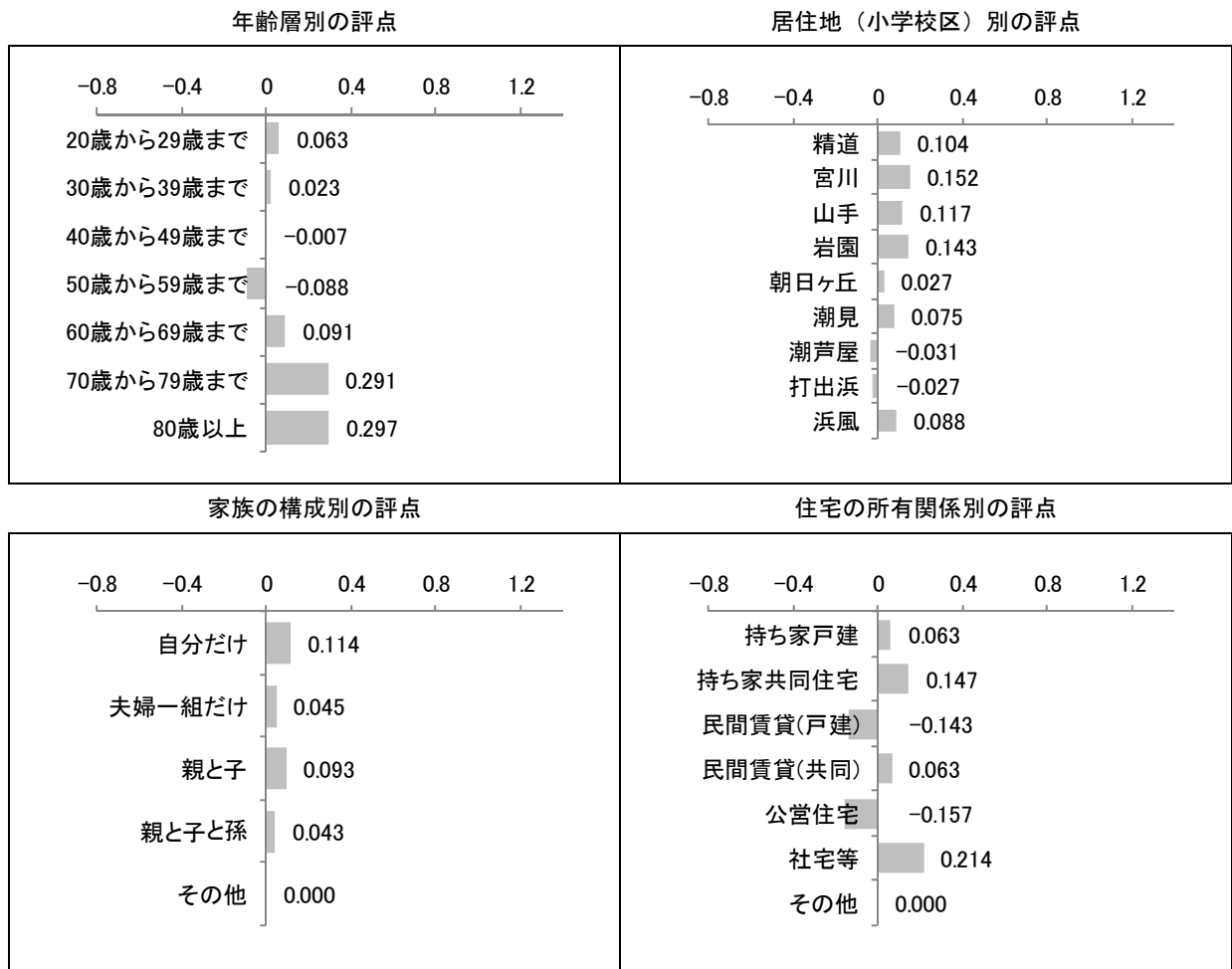


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

(なし)

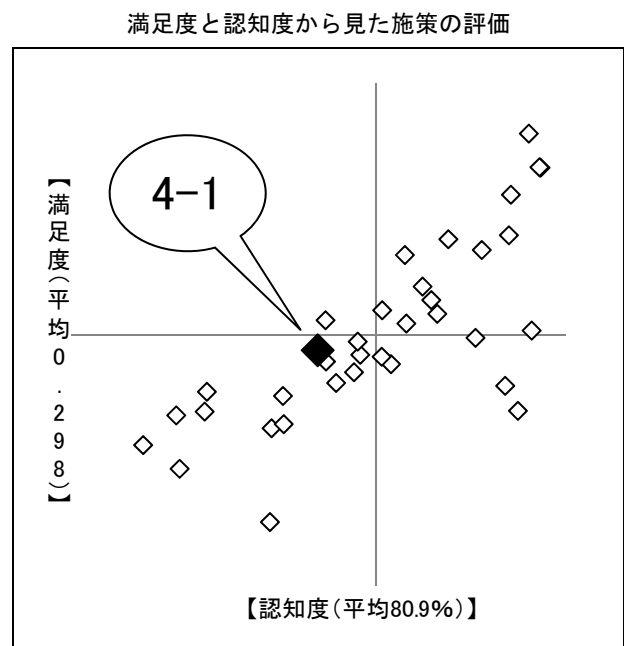
4-1 子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

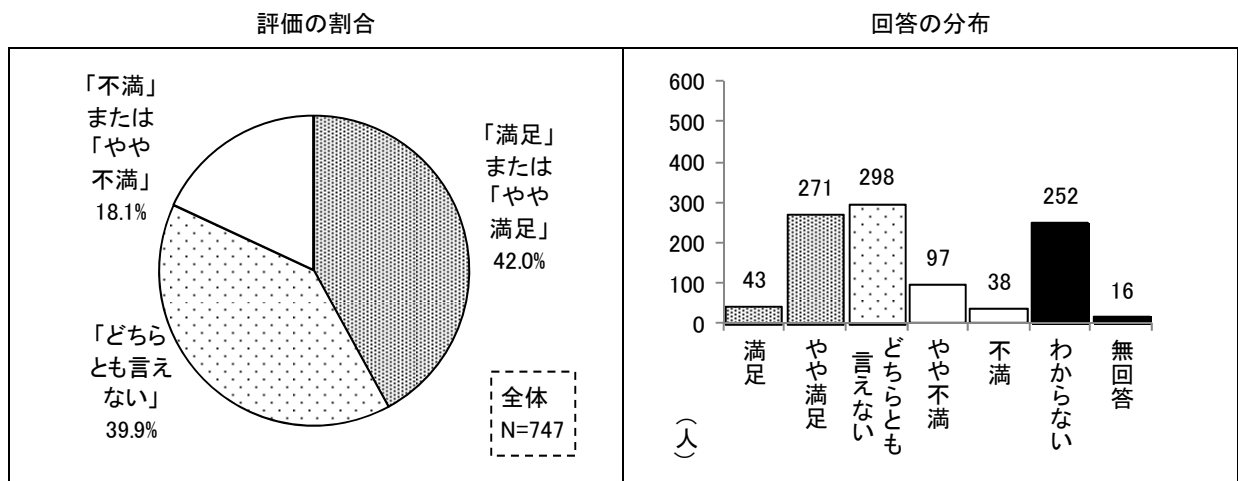
子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長していくよう、子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた教育を行うとともに、様々な社会問題が取り巻く中で、子どもたちが健やかに成長し、生きるために必要な資質と能力を育むための取組を進めます。

重点施策	4-1-1 子どもたちの学力の向上に努めます。
	4-1-2 子どもたちの命や人権を大切に作る心の教育の充実に努めます。
	4-1-3 子どもたちの体力向上に取り組みます。
	4-1-4 心やすらぐ充実した教育環境の整備に努めるとともに、教員の専門性と指導力の向上に取り組みます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

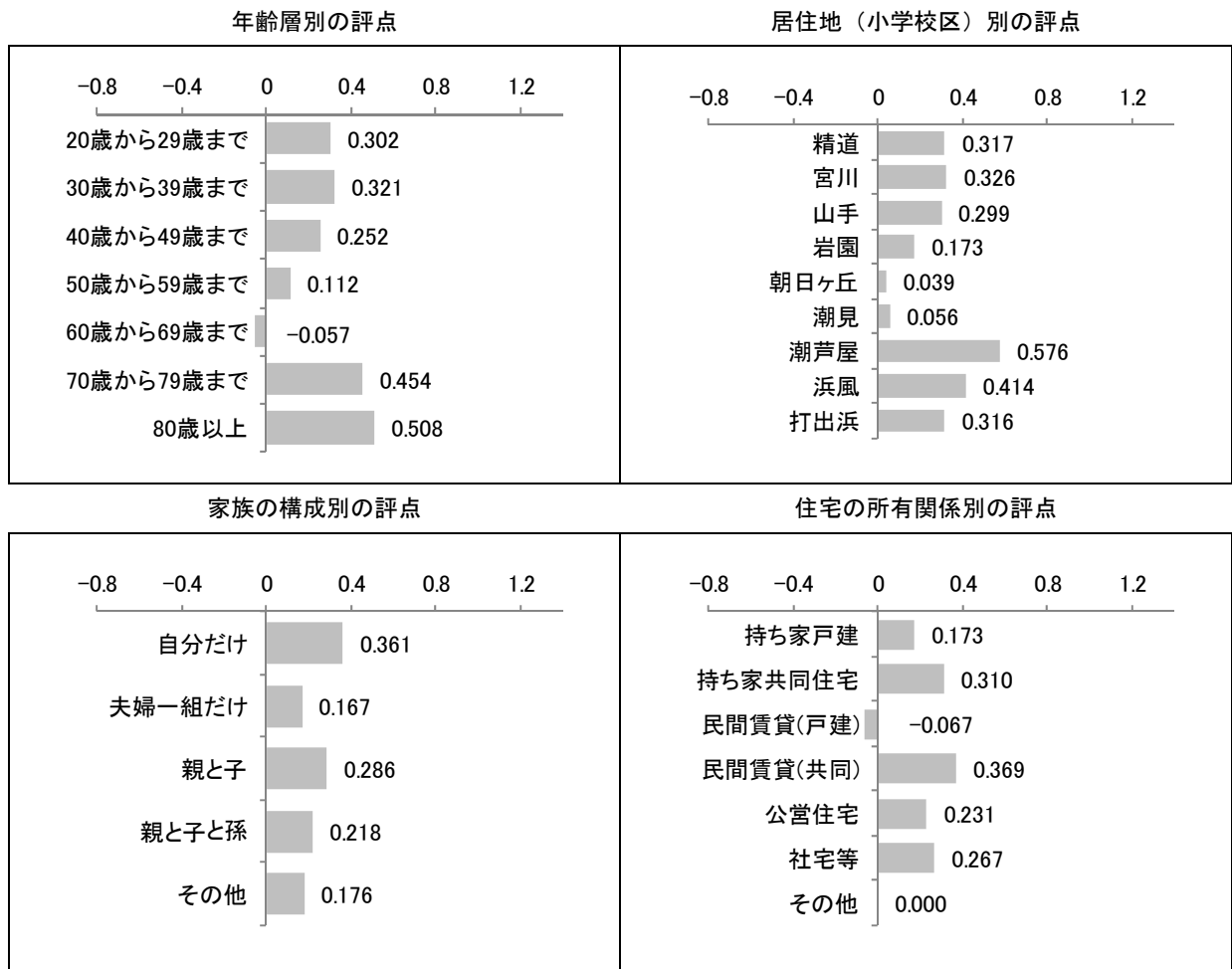


(2) 評価の割合、分布状況



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 学校給食に関すること (13 件)
- 学力の向上、生活指導に関すること (11 件)
- 通学路・学校区に関すること (7 件)
- 子育て世帯への支援に関すること (7 件)
- 学校施設に関すること (3 件)
- いじめ問題への対応に関すること (2 件)

4-2 青少年が社会で自立するための力を身につけている

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

青少年が社会で自立していけるよう、将来の夢や希望を抱き、それを実現するために必要となる知識、能力や、それらを活用する力を身につけながら、健全に成長していくための取組を進めます。

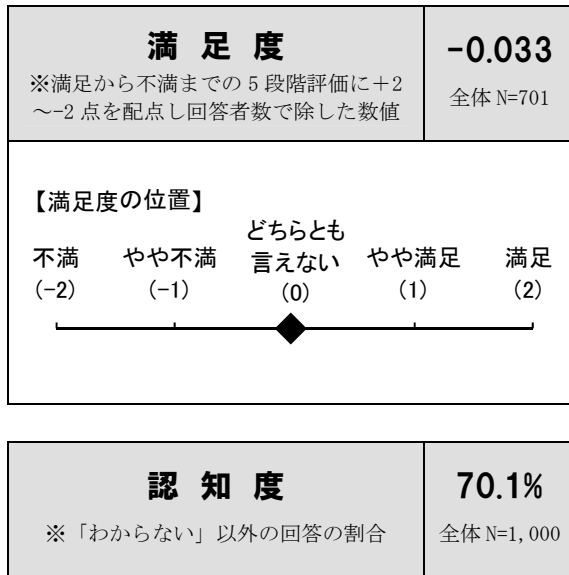
重点施策

4-2-1 青少年が将来の夢や希望を持ち、必要な知識や能力を身につけられるよう支援します。

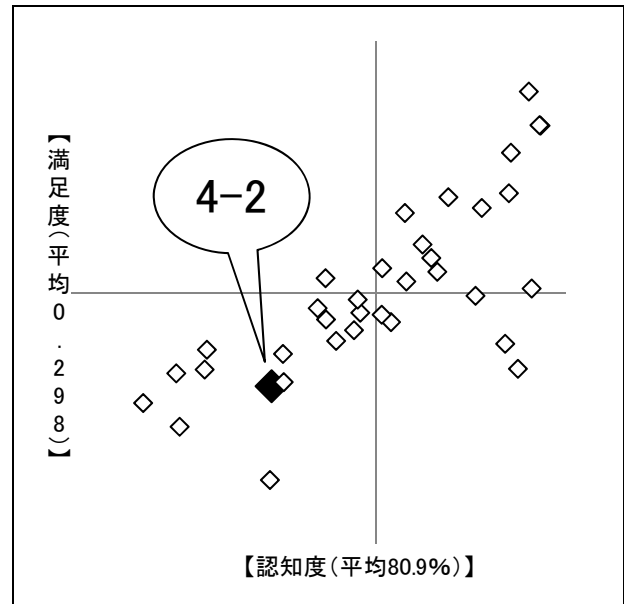
4-2-2 青少年の健やかな育成に努めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

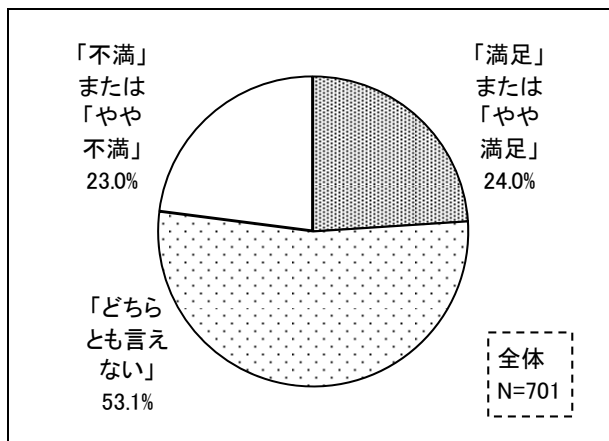


満足度と認知度から見た施策の評価

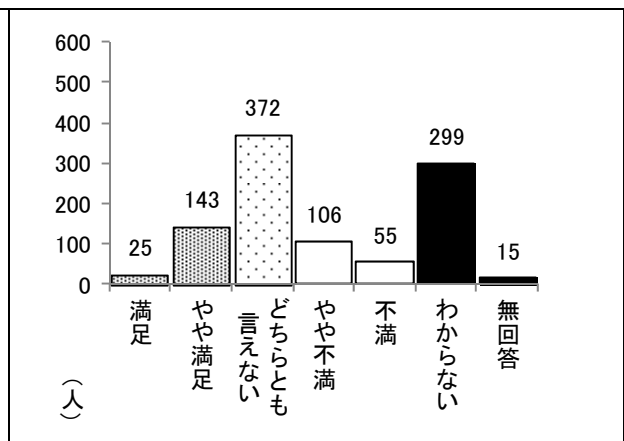


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

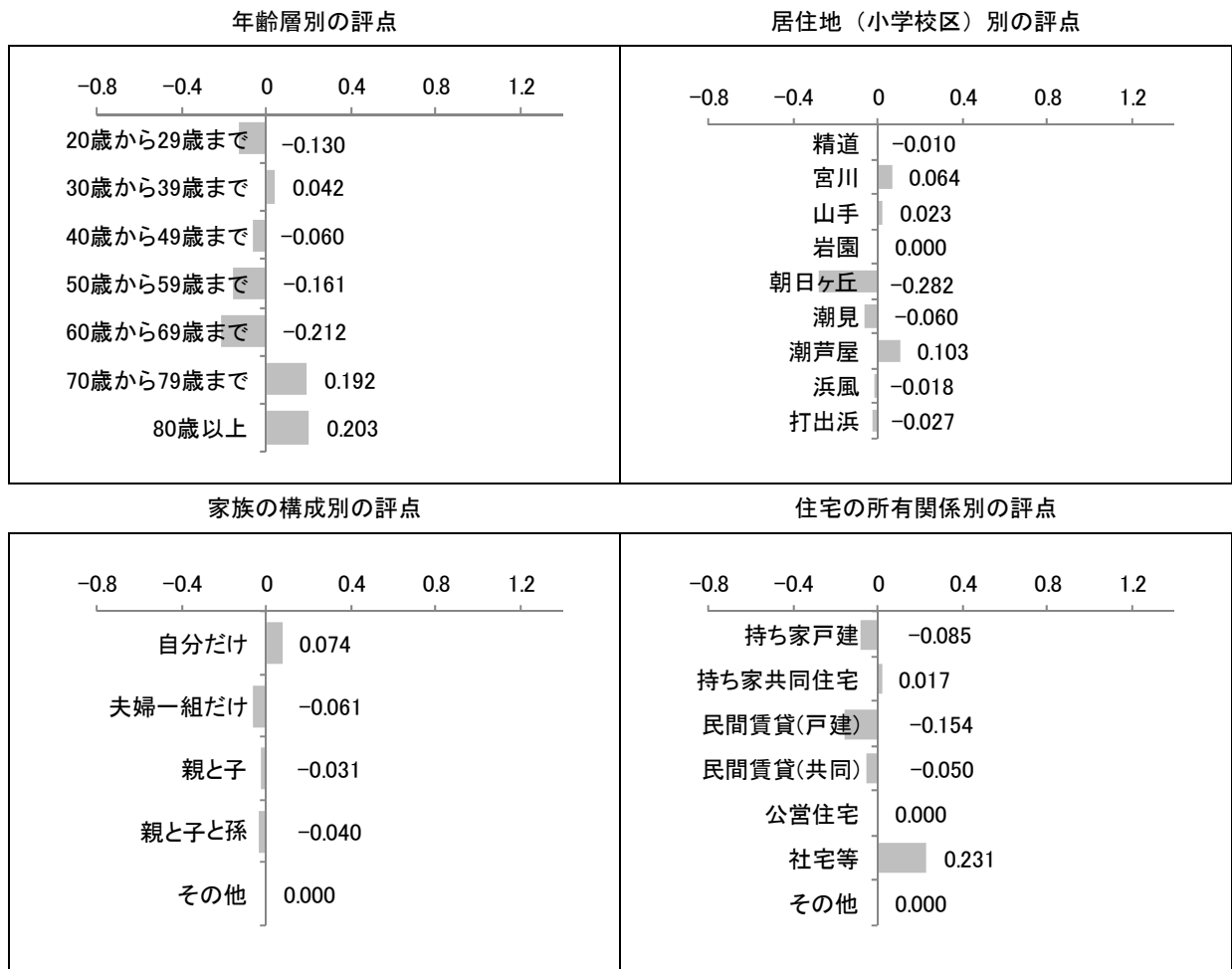


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

青少年の非行などに関すること（5件）

4-3 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

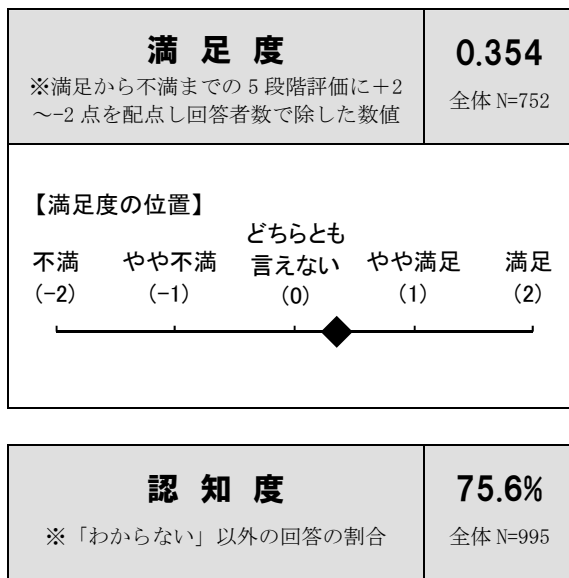
これまでの活動を活かし、家庭や地域と学校園との連携を更に強めるための仕組みをつくり、子どもたちの学びを支える取組を進めます。

重点施策

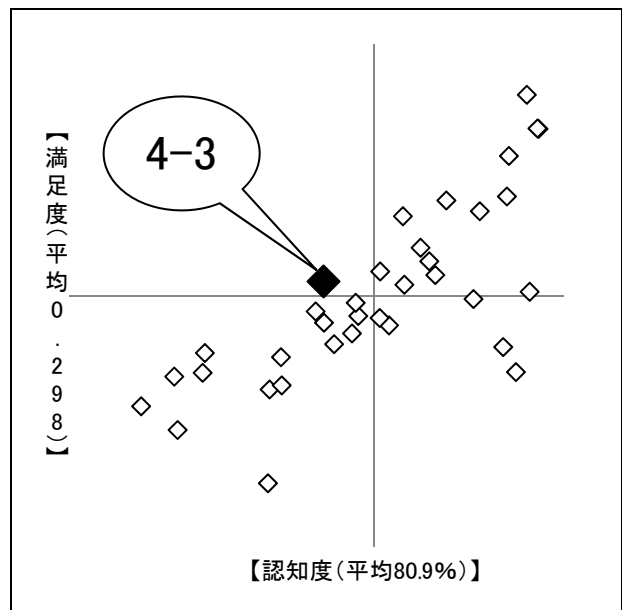
- 4-3-1 地域社会が一体となって子どもたちの学びを支えるため、学校に關係する諸団体をネットワークで結ぶ仕組みづくりを拡充します。
- 4-3-2 子どもたちが安全に安心して活動できる場として、学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などを提供します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

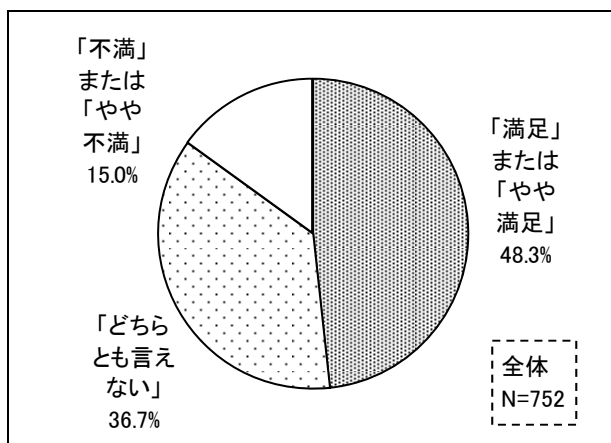


満足度と認知度から見た施策の評価

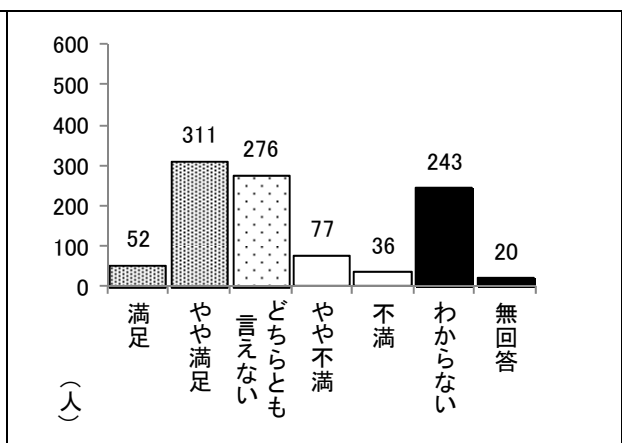


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

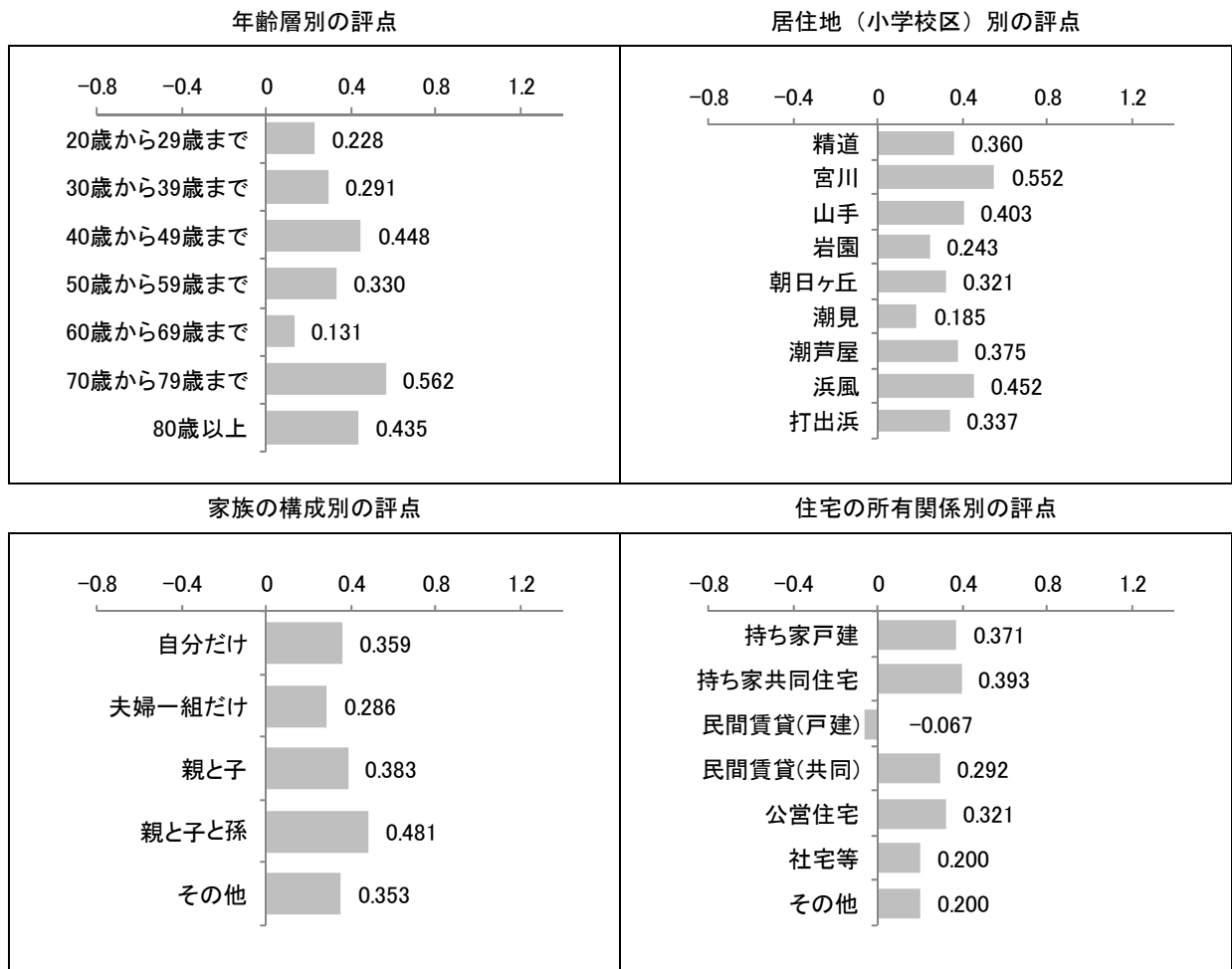


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 地域と学校との交流・協力に関すること（3件）
- 健全な青少年育成に資する生活環境に関すること（2件）
- その他学校園に関すること（2件）

5-1 世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている

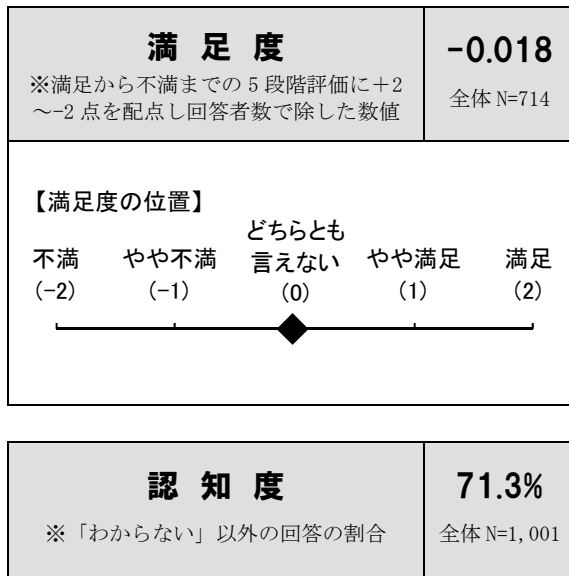
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

公的な支援やサービスを提供するとともに、地域で子どもの成長を支えていけるよう、世代を超えた多様なつながりを活かした子育て環境や、地域で気軽に相談できる場づくりを進め、家庭の教育力が向上していくための取組を進めます。

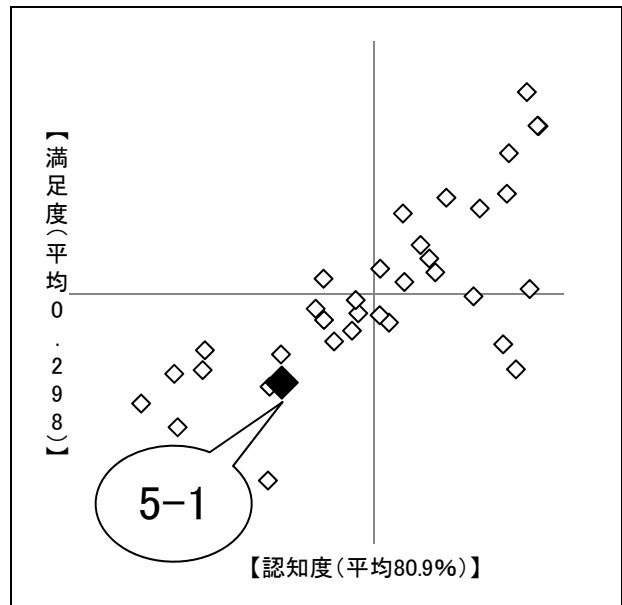
重点施策	5-1-1 地域で子育てについて気軽に相談できる環境を整えます。
	5-1-2 家庭の教育力を向上させるため、様々なサポートを実施します。
	5-1-3 要保護家庭の自立や要保護児童の支援に努めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

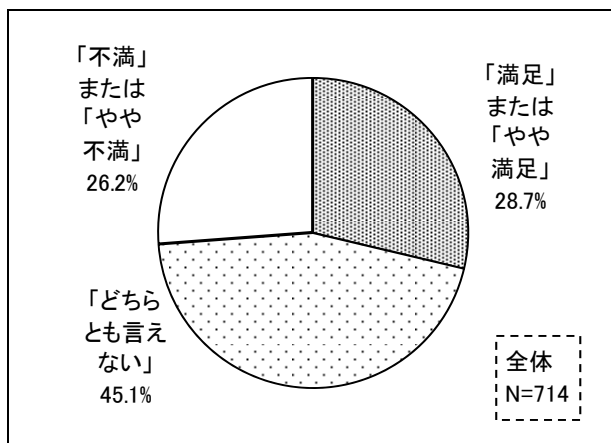


満足度と認知度から見た施策の評価

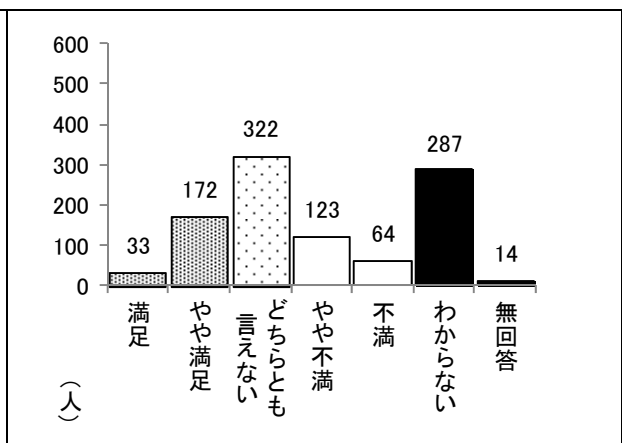


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

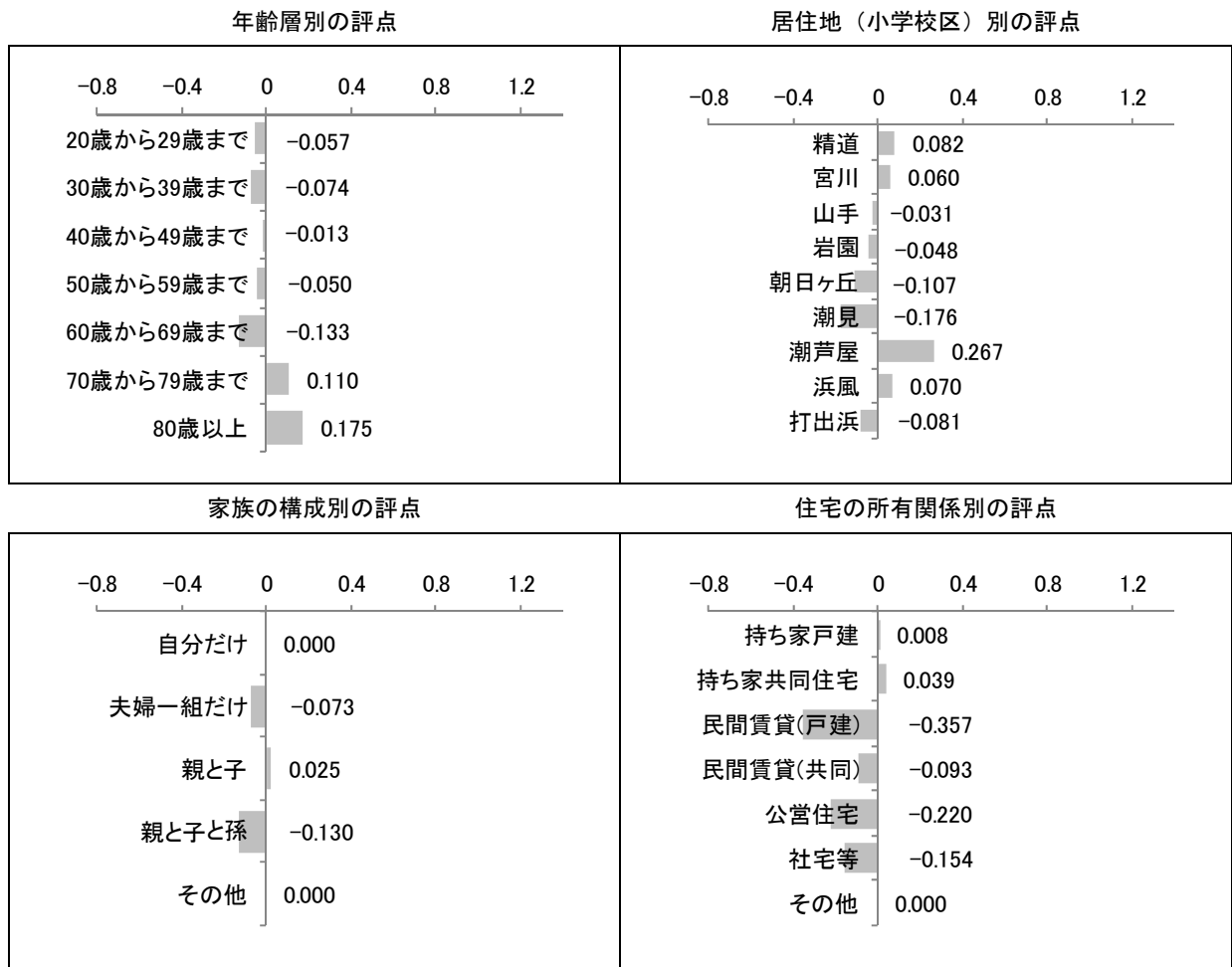


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 子育て支援の体制に関すること（16件）
- 子育て世帯の負担軽減に関すること（7件）

5-2 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

子育てと仕事の両立を可能にする環境を整えるため、既存の施設を活用するなど様々な方法を検討しながら、必要とするときに適切な保育サービスを受けられるための取組を進めるとともに、仕事と子育てのバランスについての意識が向上するための取組もあわせて進めていきます。

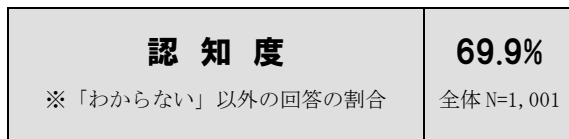
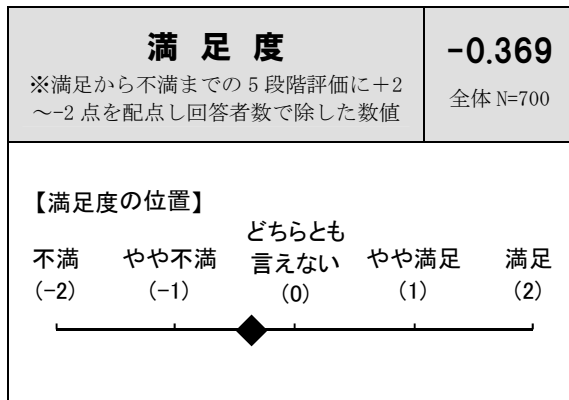
重点施策

5-2-1 必要とするときに適切な保育サービスを提供します。

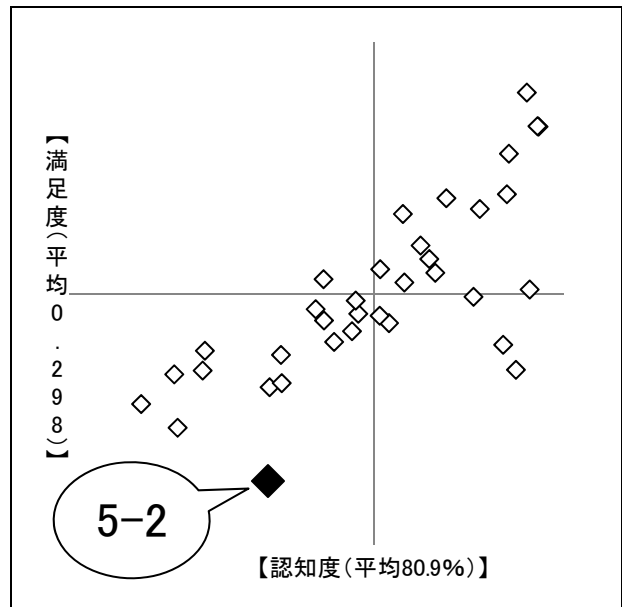
5-2-2 ワークライフバランスの理念の普及、啓発に努めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

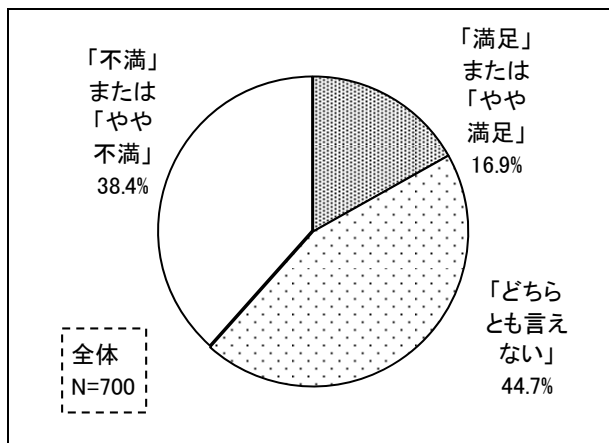


満足度と認知度から見た施策の評価

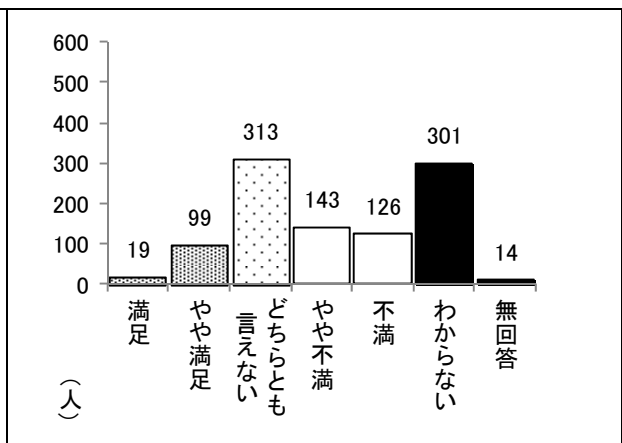


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

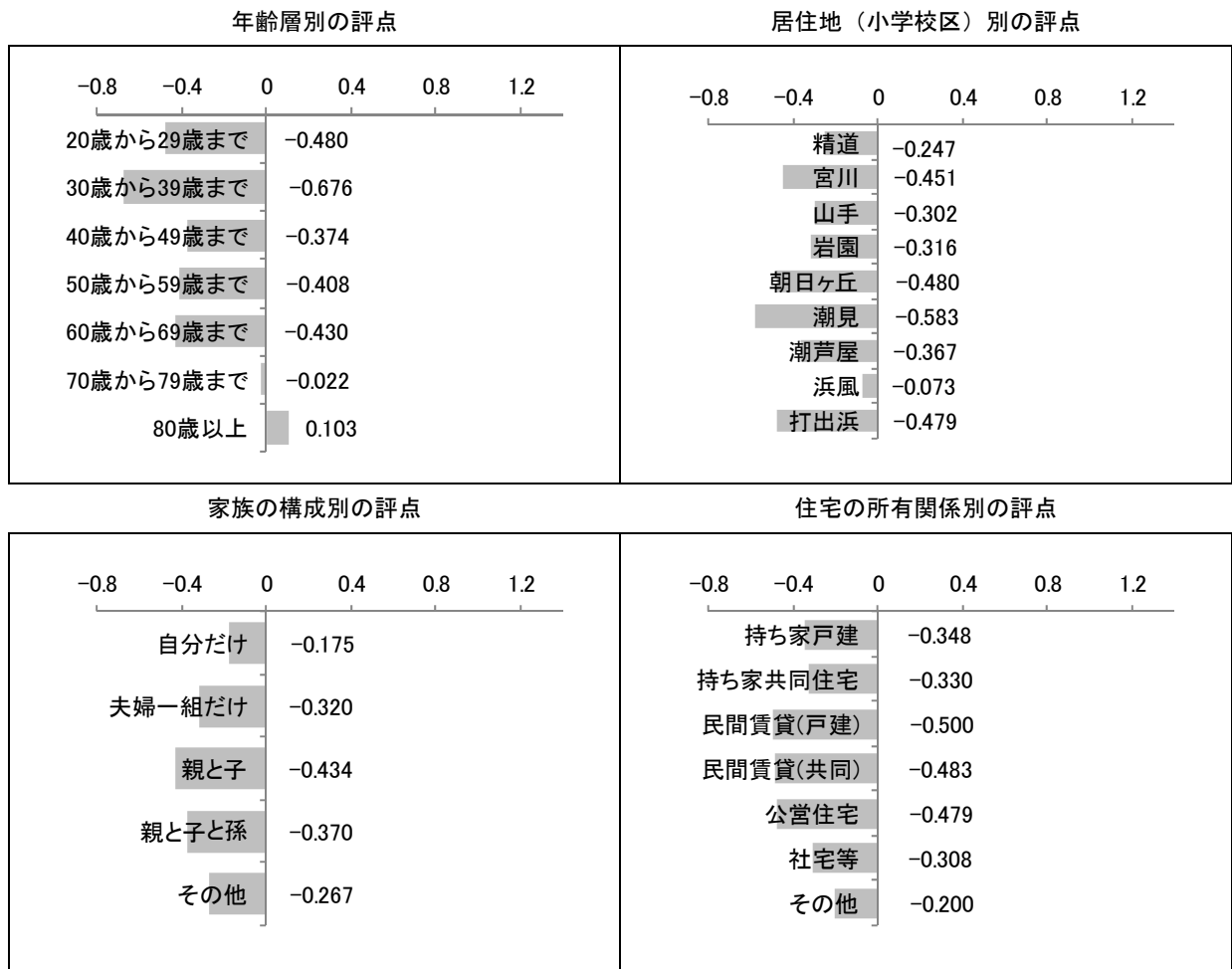


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 待機児童の解消に関すること（32件）
- 安心して子育てができる生活環境に関すること（6件）
- その他子育てと仕事の両立に関すること（1件）

6-1 市民が健康づくりに取り組んでいる

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民が心身を良好な状態にしていけるよう、継続して健康教育を行うとともに、生活習慣病の予防やがんの早期発見のために健康診査や検診の受診率を高め、予防接種を促進して感染症の拡大を防ぐ取組を進めます。

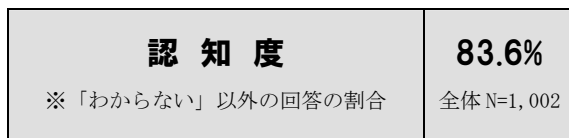
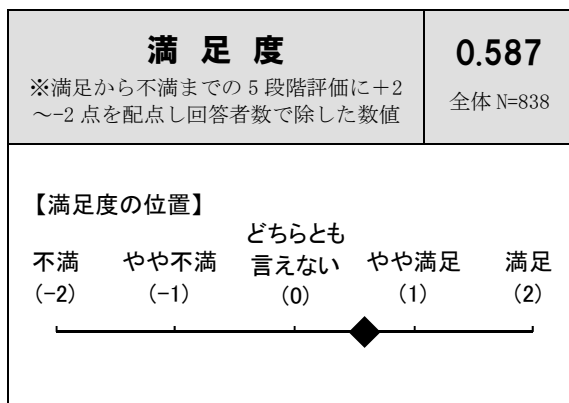
また、近年、対策を必要としている食育やこころの健康についても取り組んでいきます。

重点施策

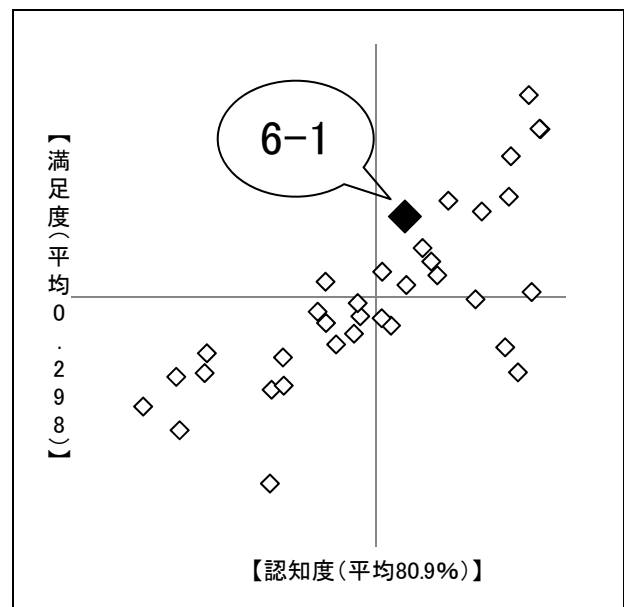
- 6-1-1 定期的な健診の受診や予防接種を促進します。
- 6-1-2 食育や食事バランスについての情報提供を行います。
- 6-1-3 こころの健康について気軽に相談できるよう関係機関と連携し支援します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

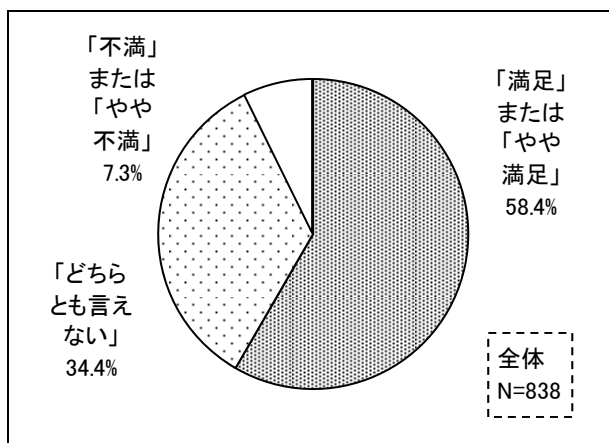


満足度と認知度から見た施策の評価

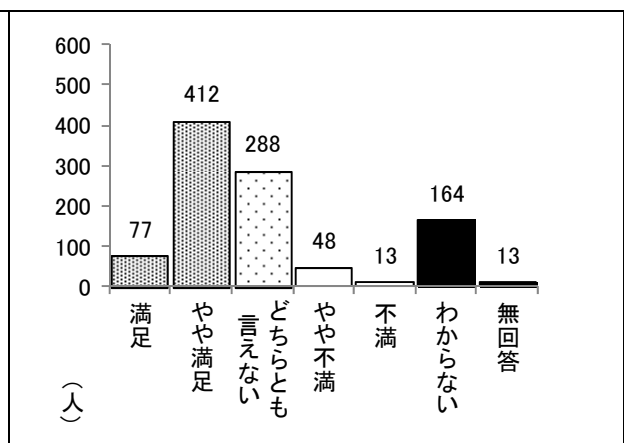


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

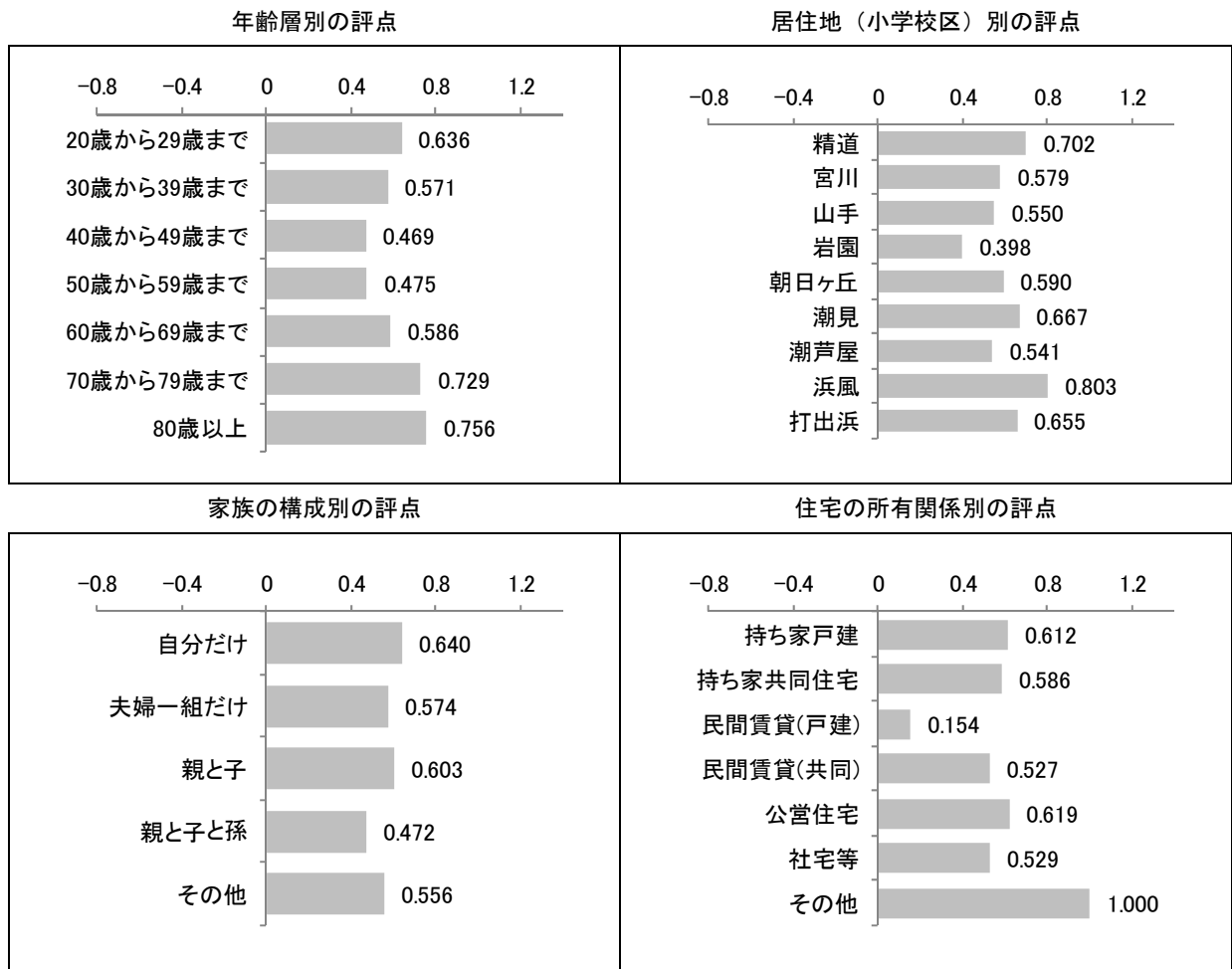


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

疾病予防の充実に関すること (1件)

6-2 市民が適切な診療を受けられる

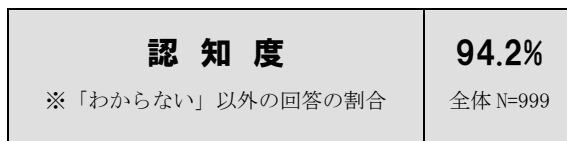
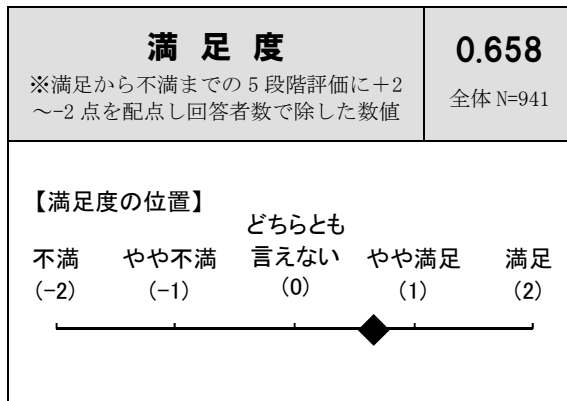
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

地域医療の核となる市立芦屋病院が安定した運営を行いながら他の医療機関と連携して医療を提供していくことや、市民が安心できる救急医療体制を整えていくとともに、安心して医療を受けられるために、保険医療制度の適切な運営に取り組んでいきます。

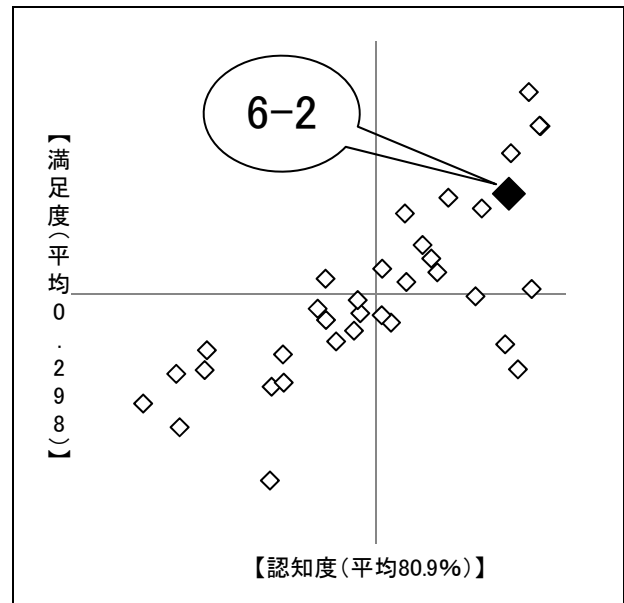
重点施策	6-2-1 市立芦屋病院と地域の医療機関が連携して、安心できる地域医療を提供します。
	6-2-2 適切な対処ができる救急医療体制を充実させます。
	6-2-3 保険医療制度を適切に運営します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

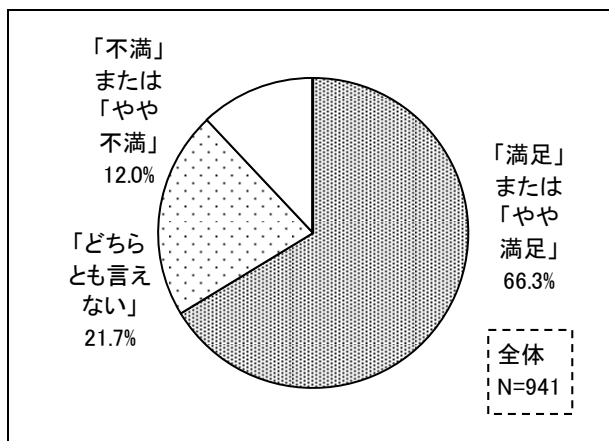


満足度と認知度から見た施策の評価

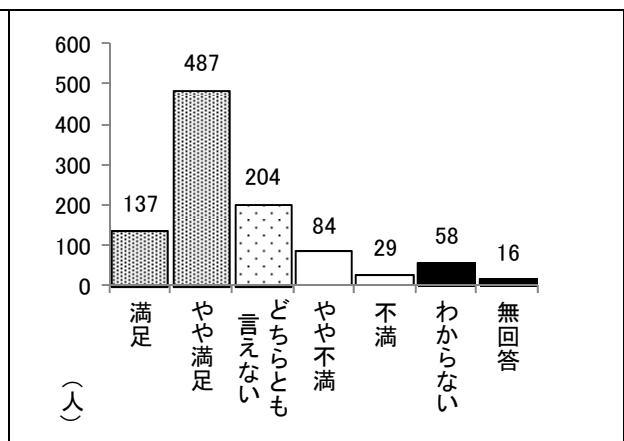


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

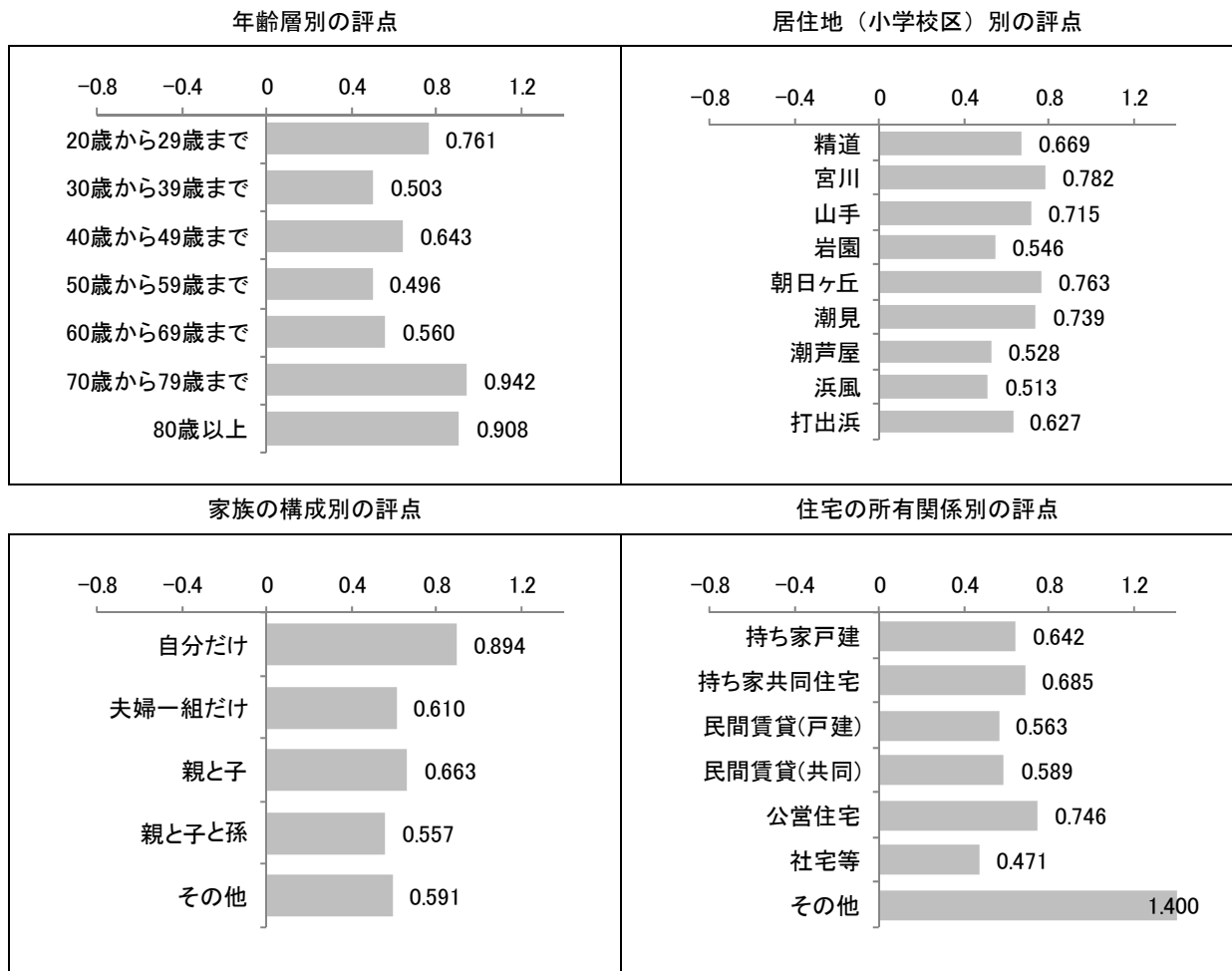


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 病院の機能・サービス向上に関すること（14件）
- 医療負担の軽減に関すること（10件）
- その他医療に関すること（4件）

7-1 地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している

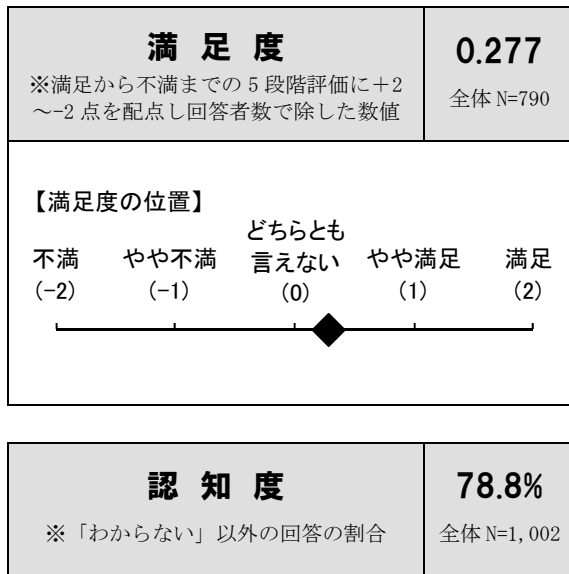
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

安心して暮らせる地域づくりのためには、より利用者に近い視点を持つ地域で活動する人たちの力が必要不可欠であることから、これらの人たちと保健・医療・福祉の関係者とが連携し、様々な情報や支援、サービスを身近に得ることができる環境の整備を進めます。

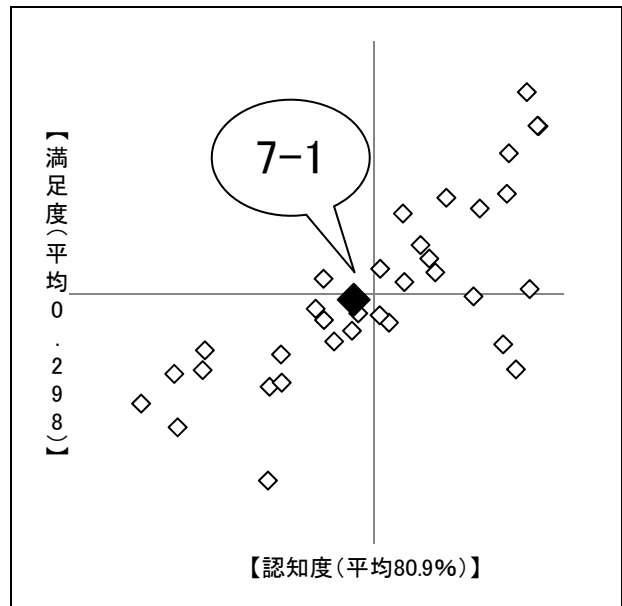
重点施策	7-1-1 地域の住民や、ボランティア、自治会、民生委員・児童委員、福祉推進委員などと保健・医療・福祉との連携を充実させます。
	7-1-2 保健・医療・福祉に関する情報を分かりやすく提供します。
	7-1-3 様々な制度やサービスを連携させて、生活困窮者の自立を支援します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

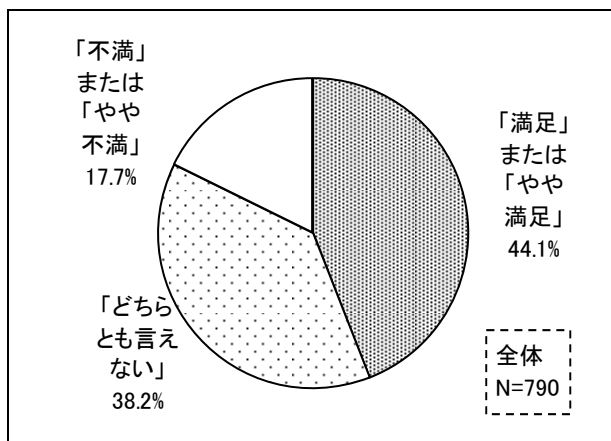


満足度と認知度から見た施策の評価

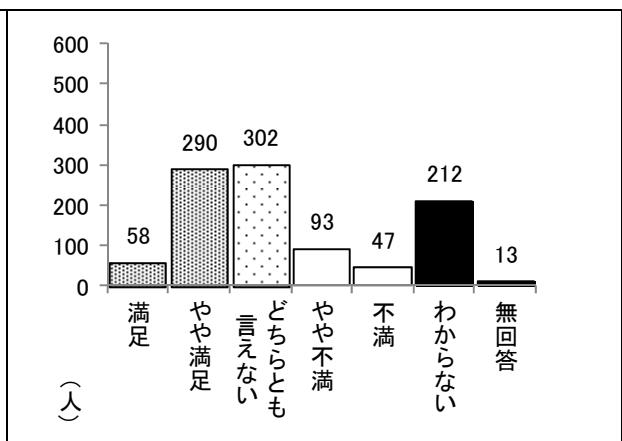


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

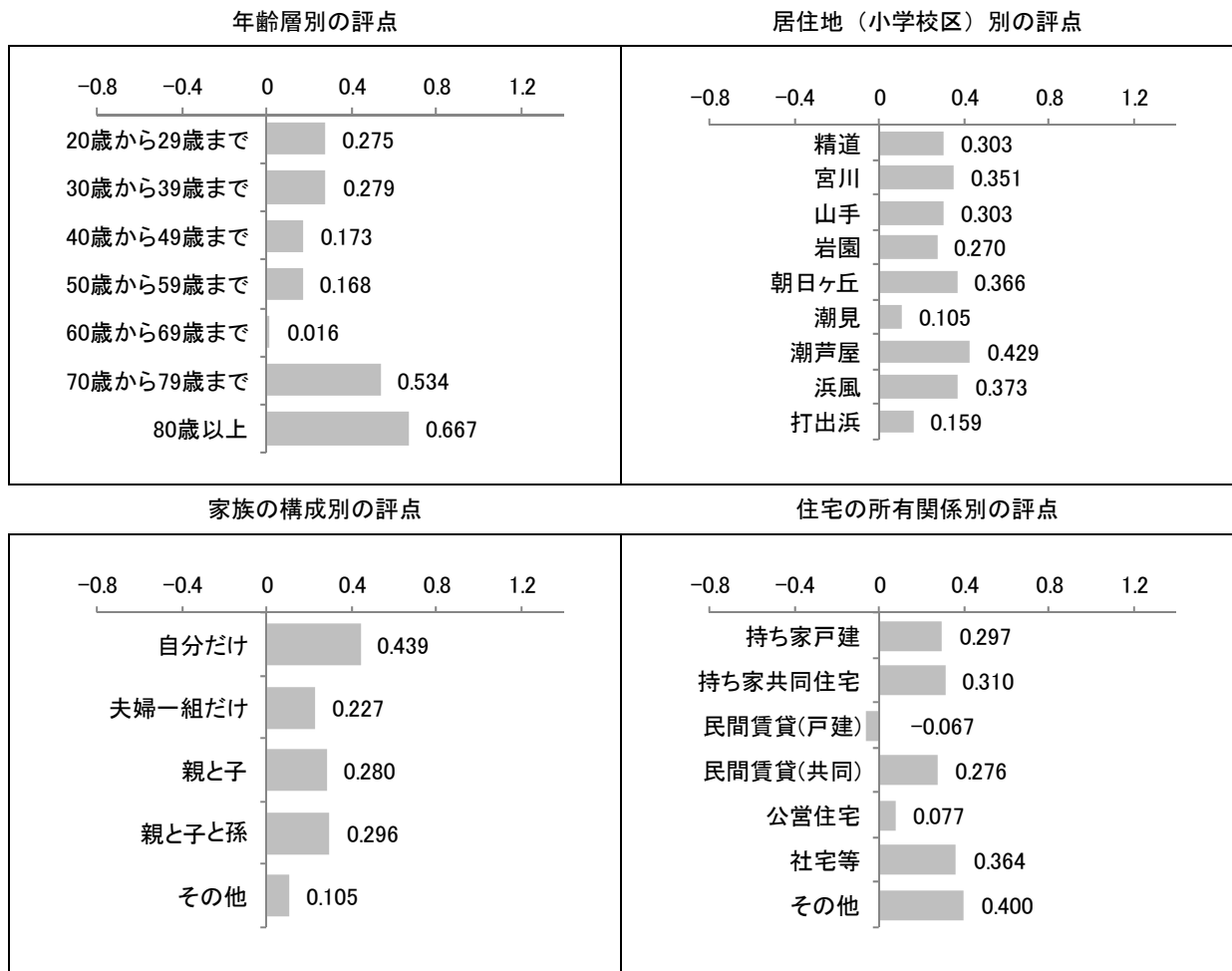


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 保健福祉連携体制の構築に関すること（11件）
- 生活困窮者の自立支援に関すること（7件）
- 情報の分かりやすい提供に関すること（1件）

7-2 高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らせている

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

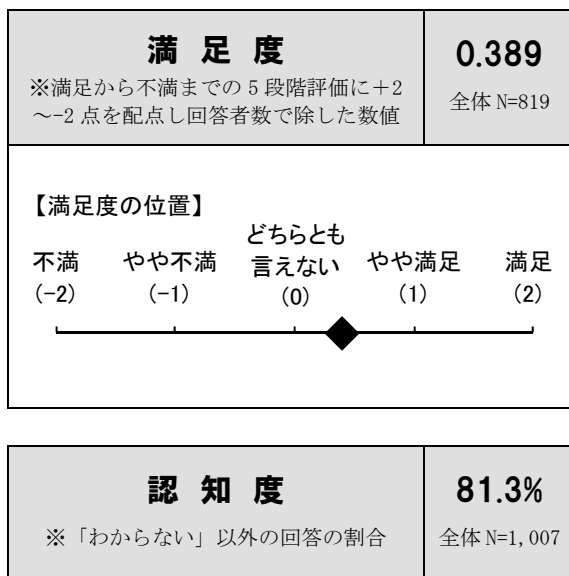
高齢者が生きがいを持って、自らの経験や知識、技能を生かしながら主体的に社会の一員としての役割を果たして自分らしくいきいきとした生活を送り、また、介護や支援が必要となった場合でも尊厳を持って住み慣れた地域での生活を送ることができるよう、適切なサービスや地域での支えがある地域ケアの確立のための取組を進めます。

重点施策

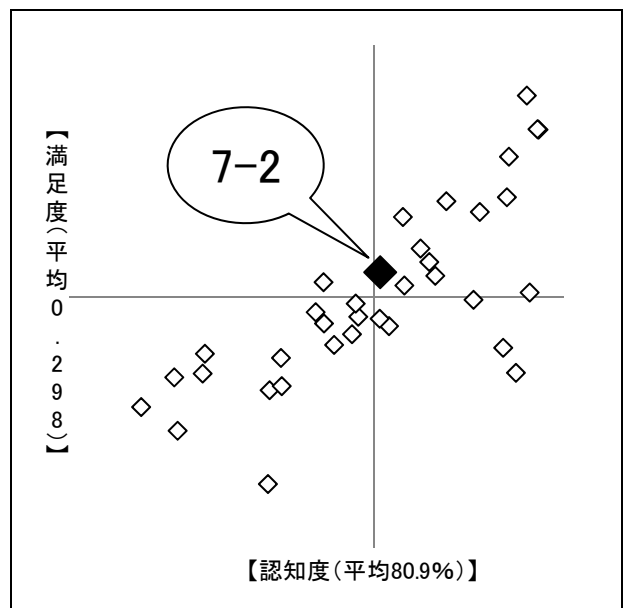
- 7-2-1 高齢者を地域とともに支援できる体制づくりを行います。
- 7-2-2 高齢者の生きがいをづくりを推進します。
- 7-2-3 高齢者が自分の経験や知識や技能を生かせるよう就労の機会を拡充します。
- 7-2-4 総合的な介護予防を推進します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

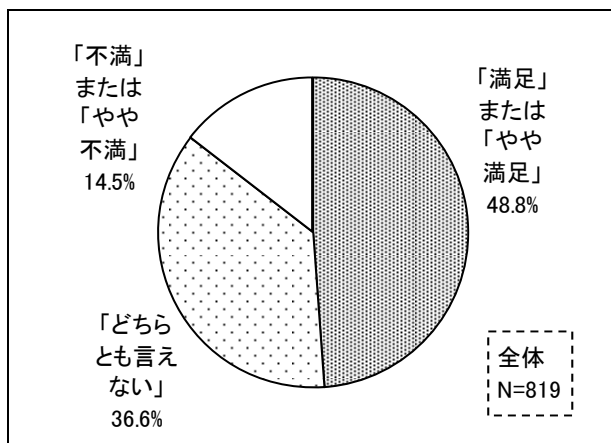


満足度と認知度から見た施策の評価

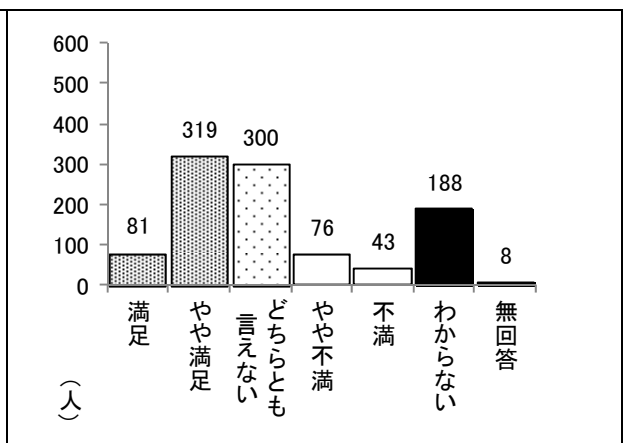


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

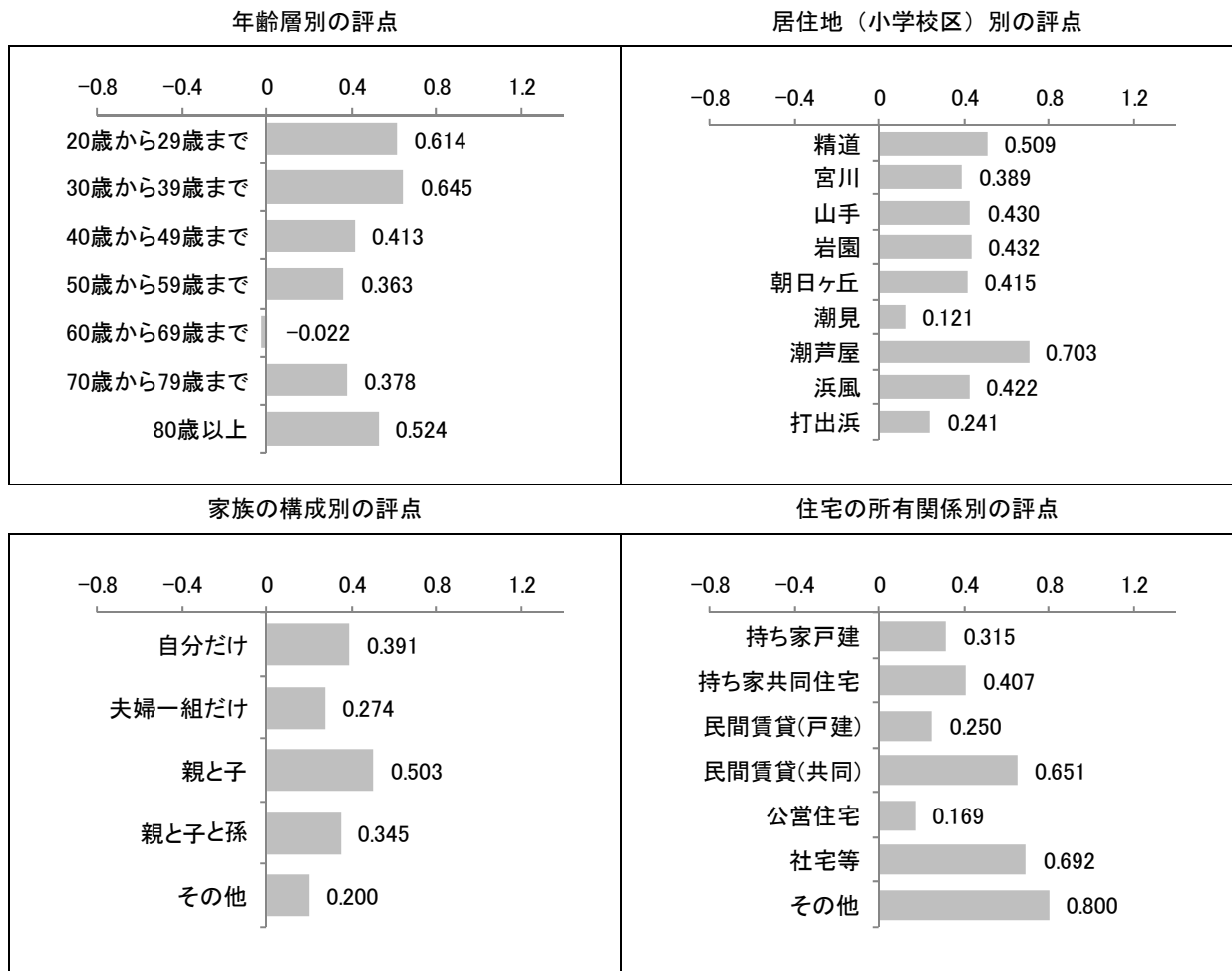


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 高齢者への支援体制に関すること (14 件)
- 高齢者の生きがいつくりに関すること (7 件)
- 高齢者の就労機会に関すること (4 件)
- 介護予防の推進に関すること (3 件)
- その他高齢者施策に関すること (3 件)

7-3 障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる

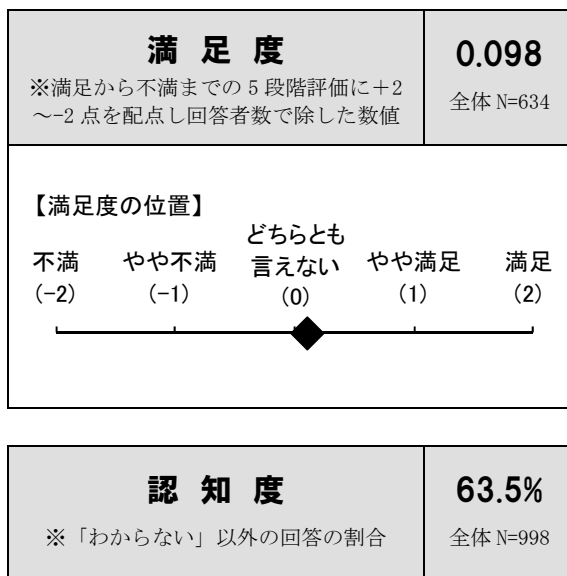
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できるよう、障がいへの正しい理解を促進する取組を進めるとともに、相談窓口、障がい福祉サービスの提供基盤や就労支援など、サービスの充実に取り組んでいきます。

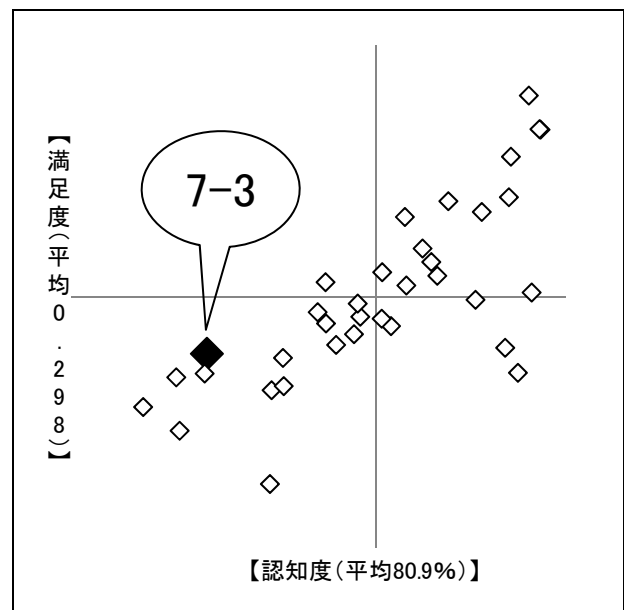
重点施策	7-3-1 障がいへの理解を深めるため、普及、啓発活動を行います。
	7-3-2 相談窓口体制や相談拠点の充実に図ります。
	7-3-3 障がい福祉サービスの提供基盤の整備を進めます。
	7-3-4 障がいのある人の就労支援を行います。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

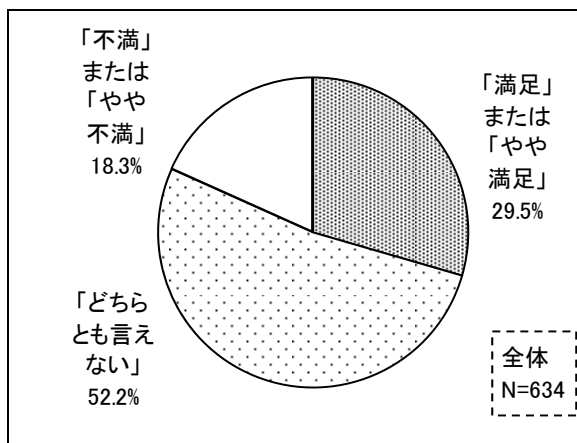


満足度と認知度から見た施策の評価

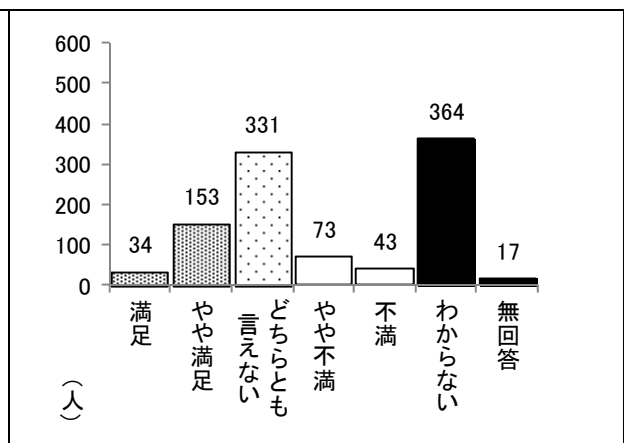


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

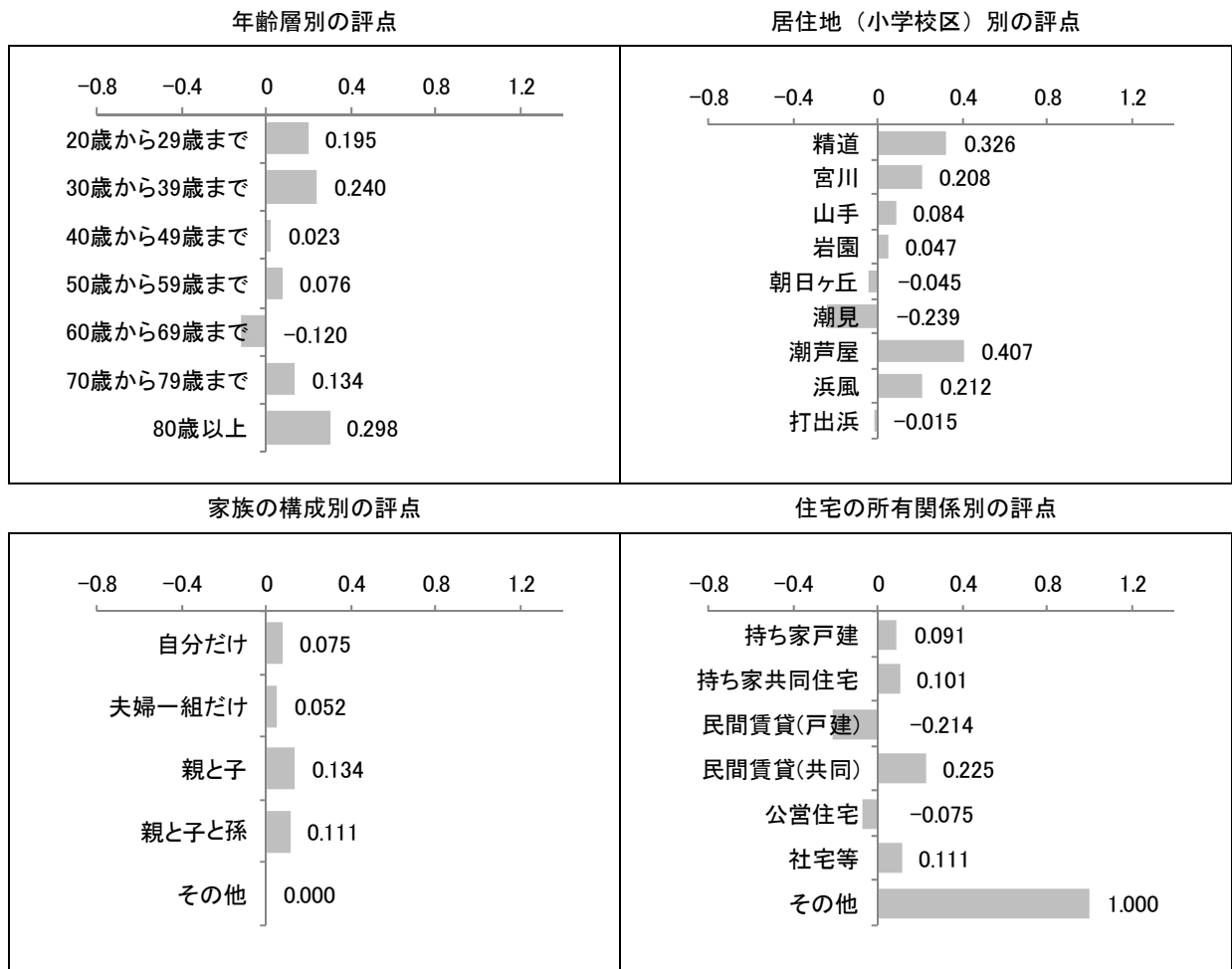


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 障がい福祉サービスの提供基盤に関すること (3件)
- その他障がいのある人への施策に関すること (1件)

8-1 市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている

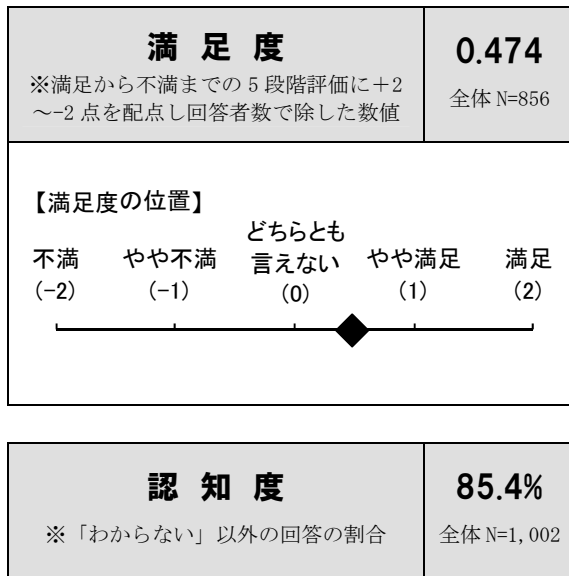
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

暮らしの安全・安心への意識が高まるよう、引き続き、学校での安全教育に取り組むとともに、正確な犯罪情報、消費者安全情報等を入手して情報提供や啓発を行い、防犯協会や自治会などの団体や警察などの関係機関と連携し、防犯意識を向上させる取組を進めます。

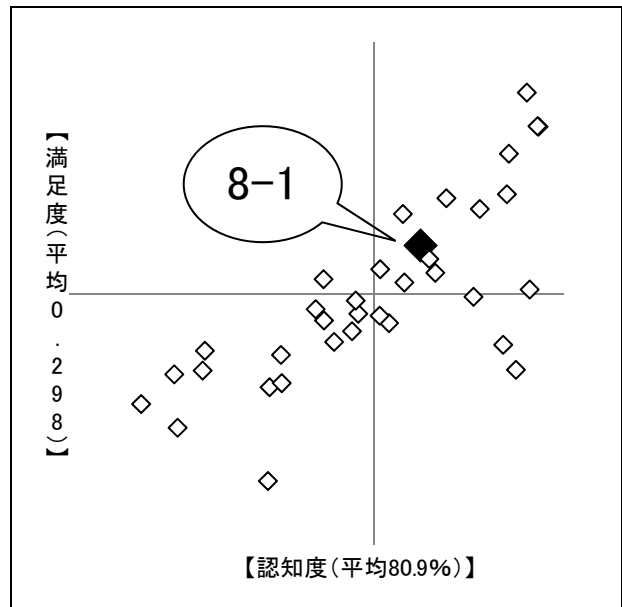
重点施策	8-1-1 犯罪から身を守る方法の周知、啓発に努めます。
	8-1-2 消費生活に関する情報を分かりやすく提供するとともに、相談業務の充実を図ります。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

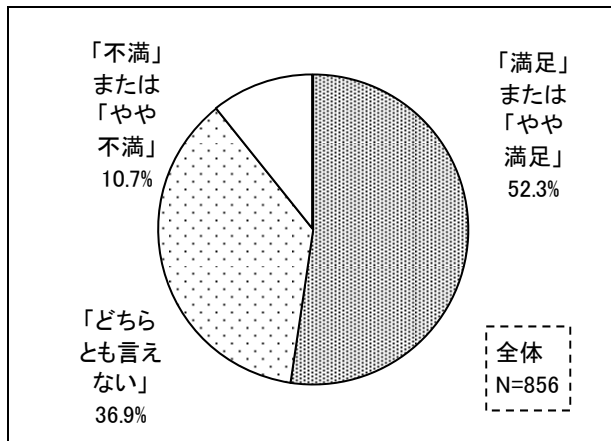


満足度と認知度から見た施策の評価

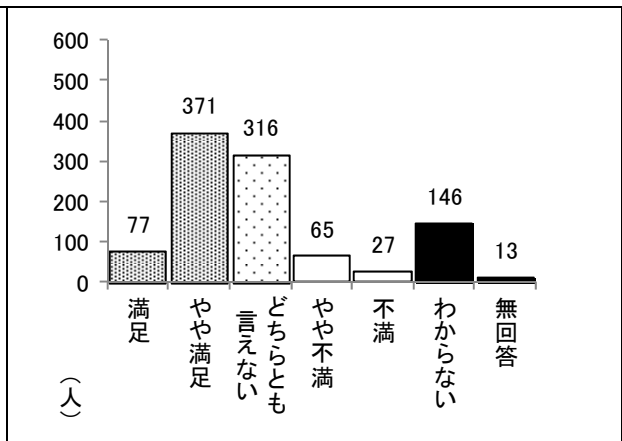


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

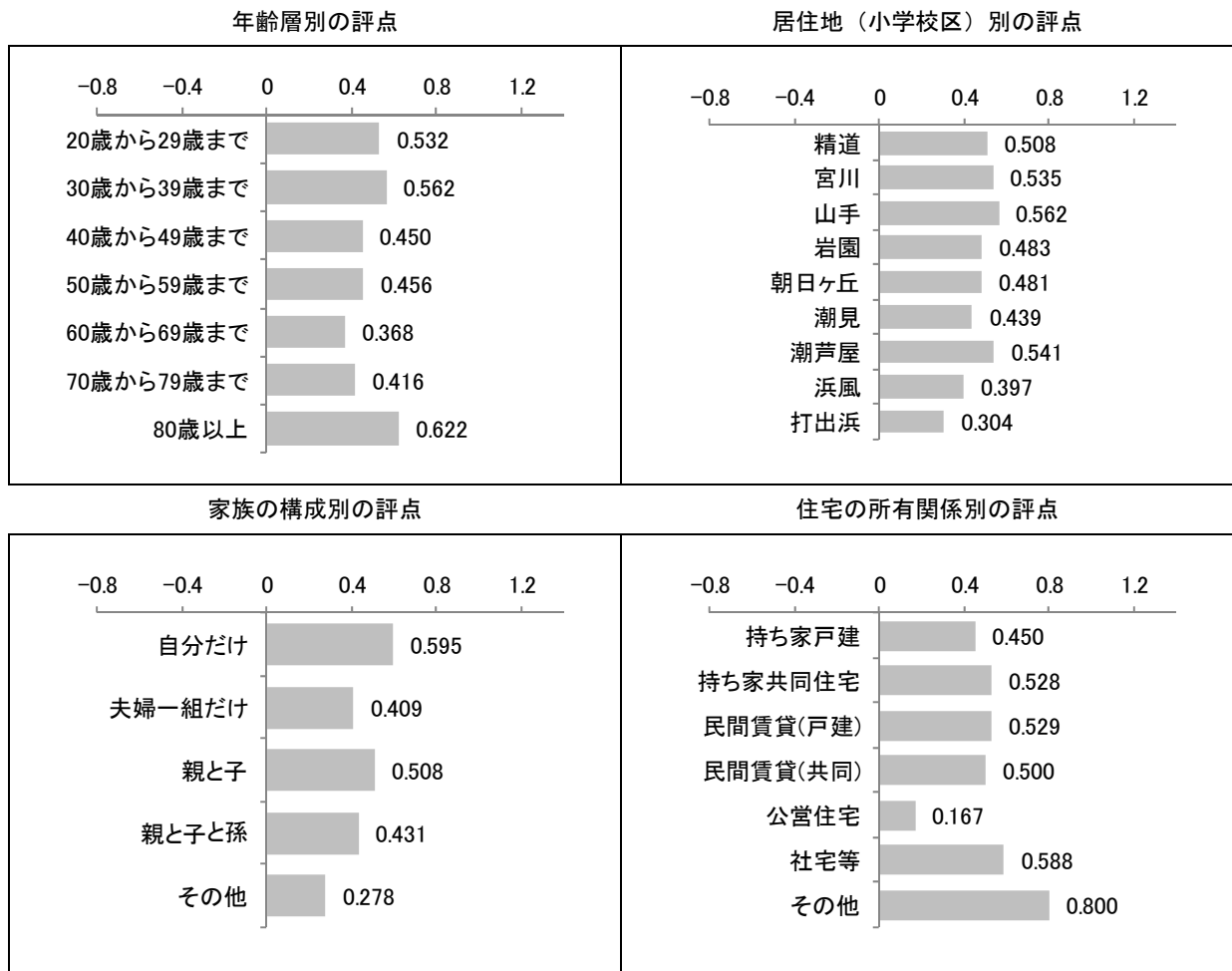


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

消費者意識に関すること（1件）

8-2 犯罪が起きにくいまちになっている

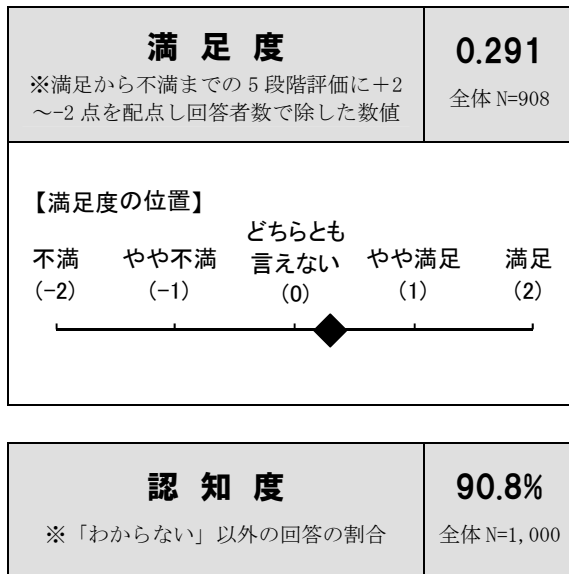
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

犯罪が起きにくいまちになるよう、引き続き、地域の防犯活動への支援に取り組み、防犯協会などの関係団体、警察などの関係機関と連携するとともに、地域と協力して夜に暗がりになる場所を減らすなど、安全・安心なまちへの取組を進めます。

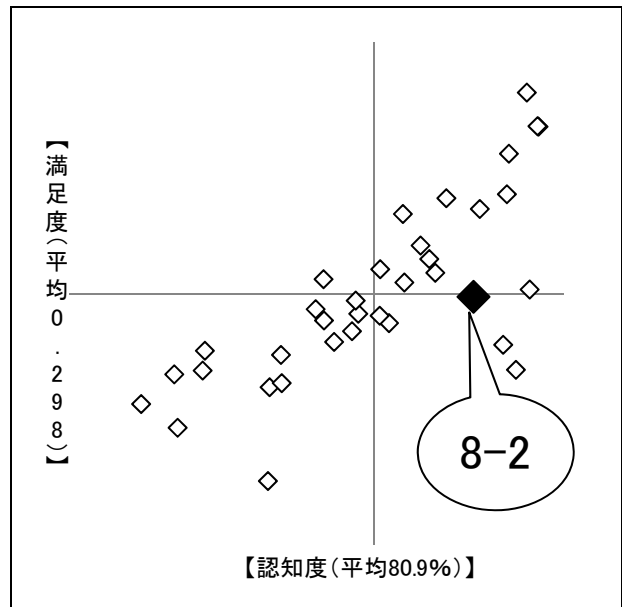
重点施策	8-2-1 犯罪を防ぐための活動を促進します。
	8-2-2 夜間でも安心して市内を通行できるようにします。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

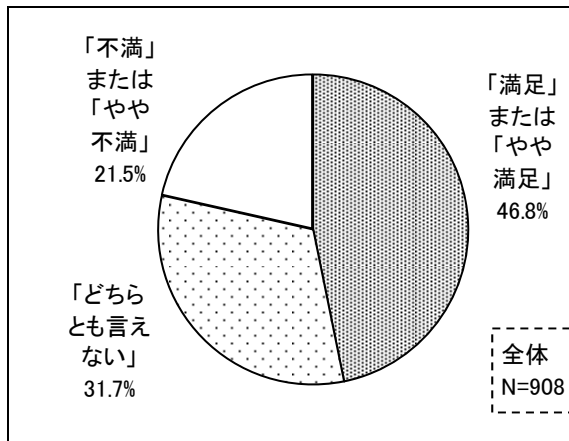


満足度と認知度から見た施策の評価

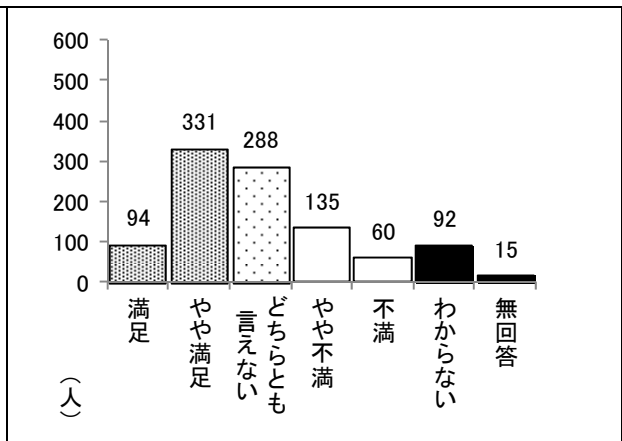


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

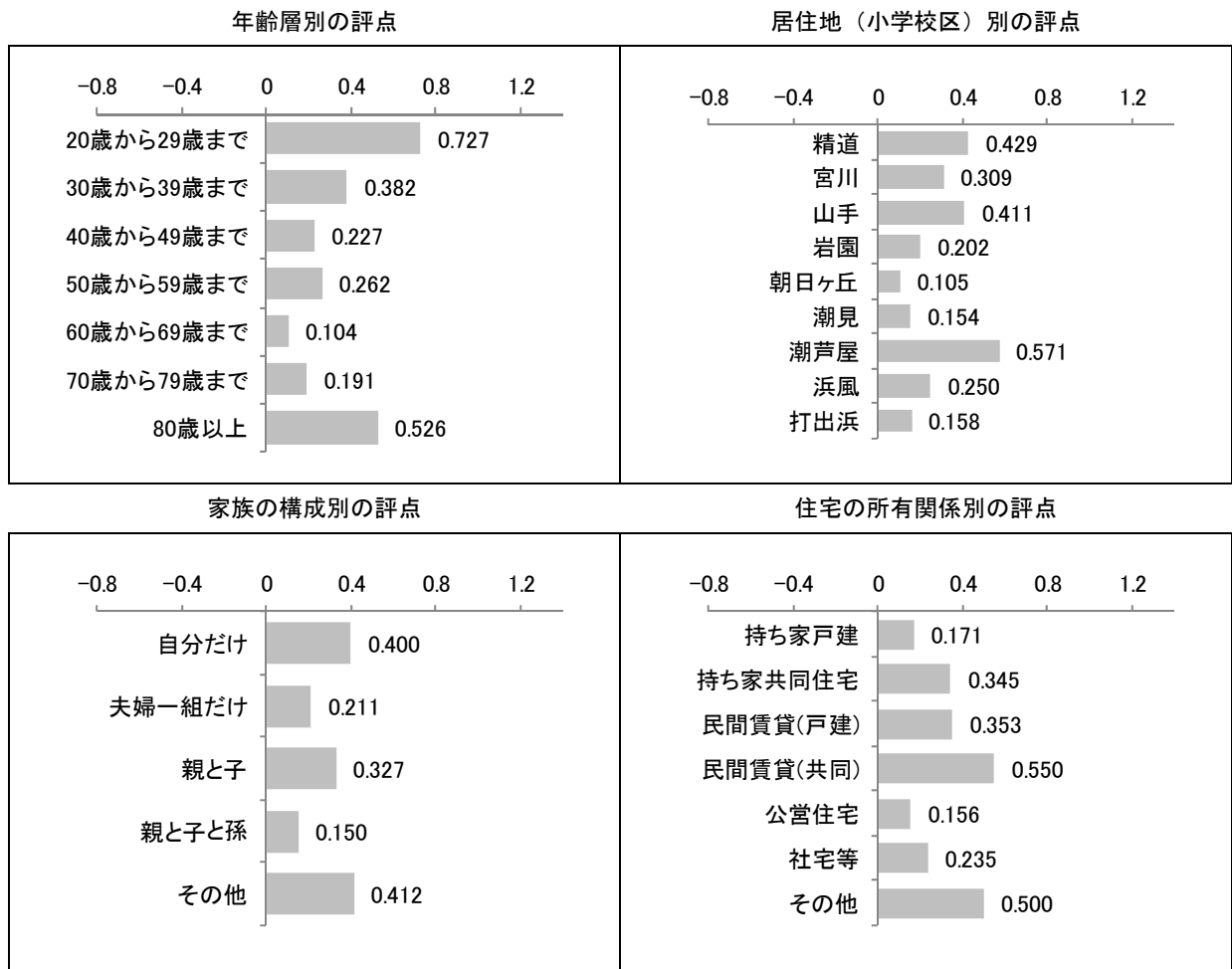


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 公益灯の設置など安全・安心なまちづくりに関すること（22件）
- 地域の防犯活動に関すること（12件）

9-1 家庭や地域、行政の防災力が向上している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

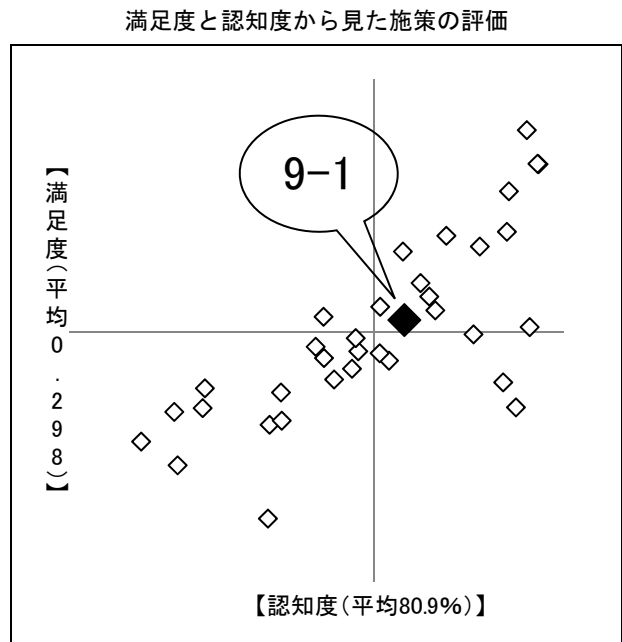
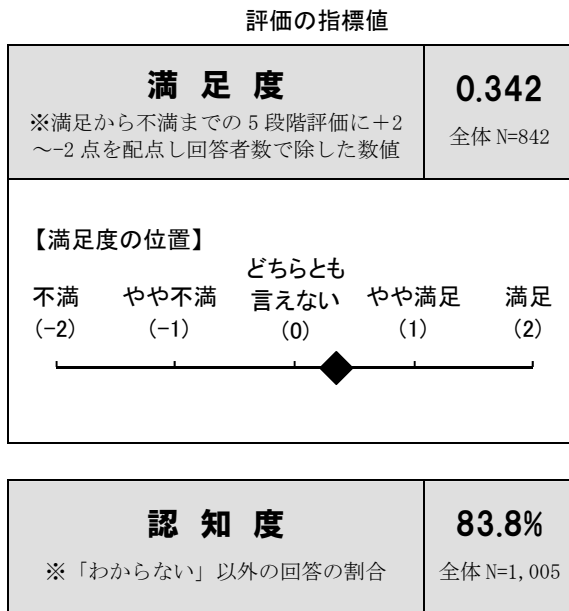
家庭や地域の防災力を高めるため、市民一人一人が自分の身は自分で守ることができるよう日頃からの心がけを促すことや、地域で被害を最小限に抑える活動や災害時要援護者を支援できる仕組みを整えていくための取組を支援するとともに、災害の経験や教訓を風化させることなく、次の世代へ様々な場で語り継いでいくための取組も継続して行います。

また、行政においても、火災や交通事故などの日常起こりうる災害に対する消防・救急救助体制の充実を図るとともに、地震等の大規模な自然災害に対する防災体制を充実させていきます。

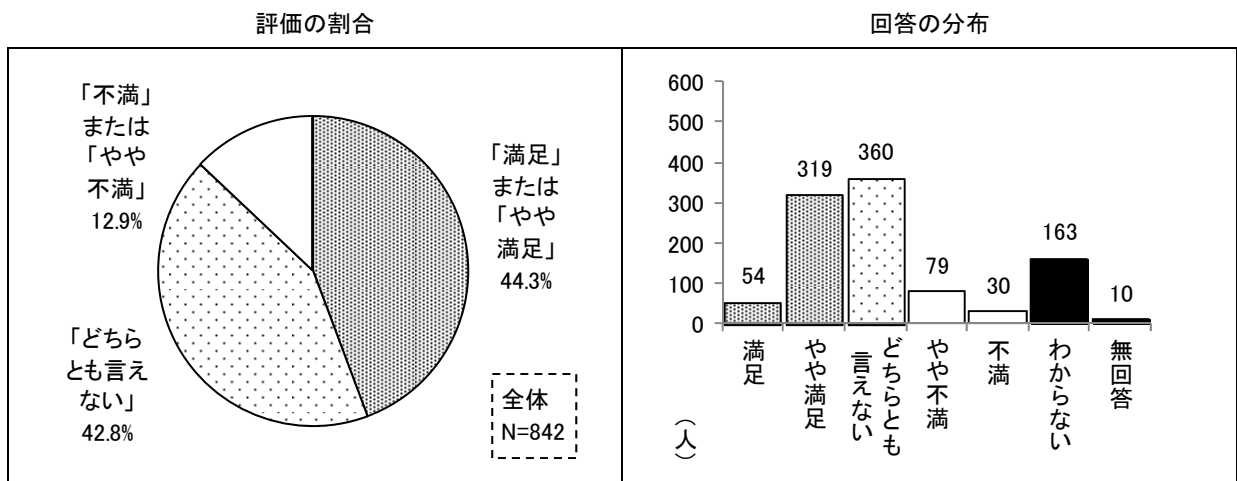
さらに、近年のゲリラ豪雨などの浸水被害については住民避難の考え方も変わってきており、最新の防災に関する調査や研究に注目しつつ、本市としての対応に取り組みます。

重点施策	9-1-1 災害時に地域の人たちが自主的に行動できるための活動を促進します。
	9-1-2 火災や交通事故などの日常的な災害に迅速に対応できる体制を充実させます。
	9-1-3 大規模な災害に対応できる体制を充実させます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

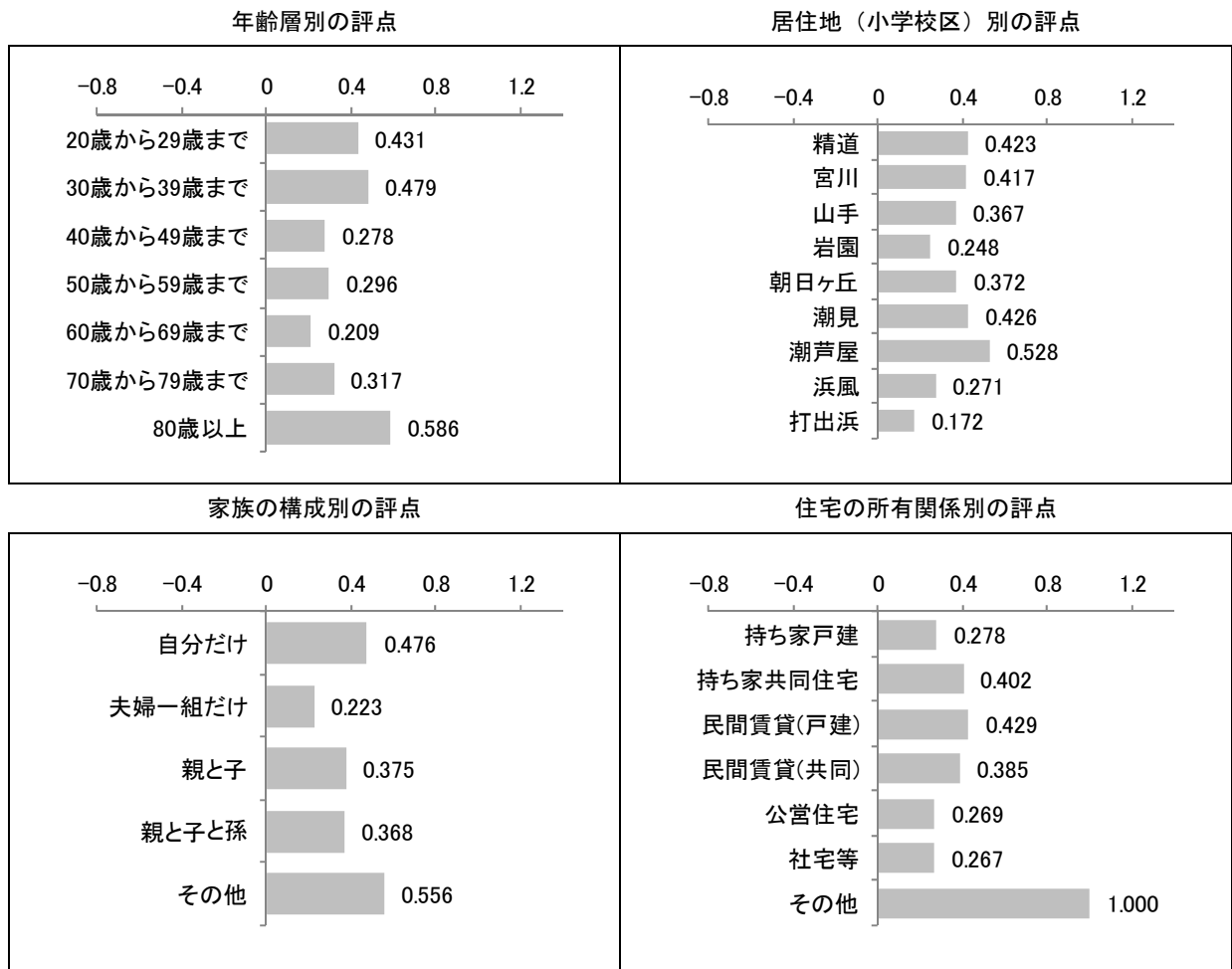


(2) 評価の割合、分布状況



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 自主的避難活動への支援に関すること（6件）
- 大規模災害への対応体制に関すること（6件）

9-2 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる

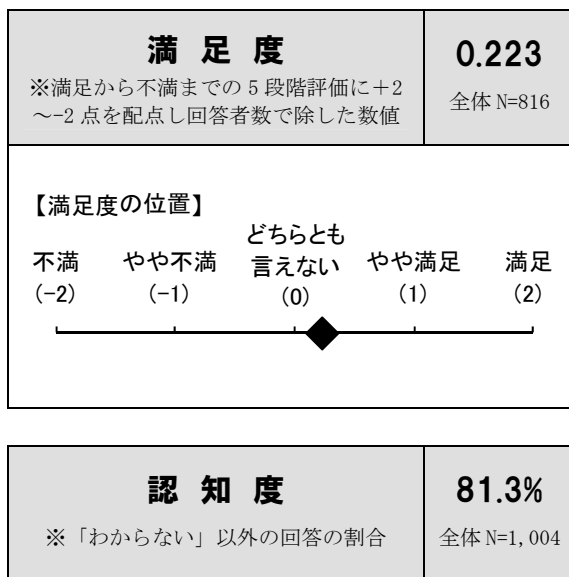
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

災害に強い安全なまちとなるため、引き続き、国や県とも連携しながら六甲山麓や芦屋川、宮川などの安全性を自然環境に配慮しながら高めていくとともに、住宅などの建物や上・下水道などの都市基盤施設の防災・減災機能を向上していくための取組を進めます。

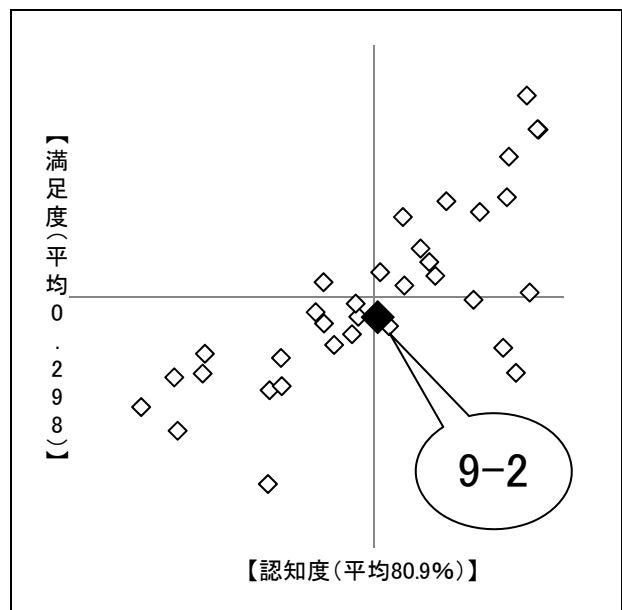
重点施策	9-2-1 住宅などの防災・減災機能の向上を促進します。
	9-2-2 建物や施設の防災・減災機能の向上を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

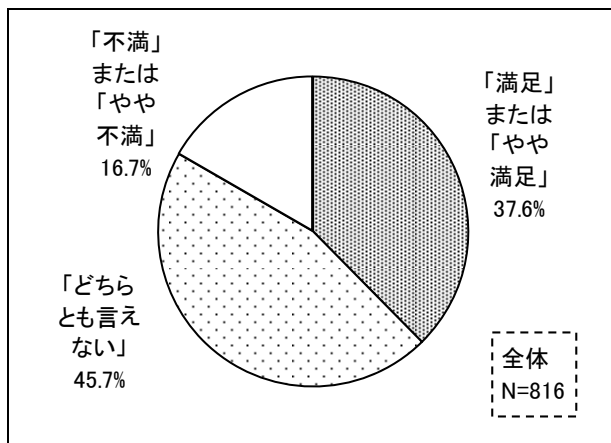


満足度と認知度から見た施策の評価

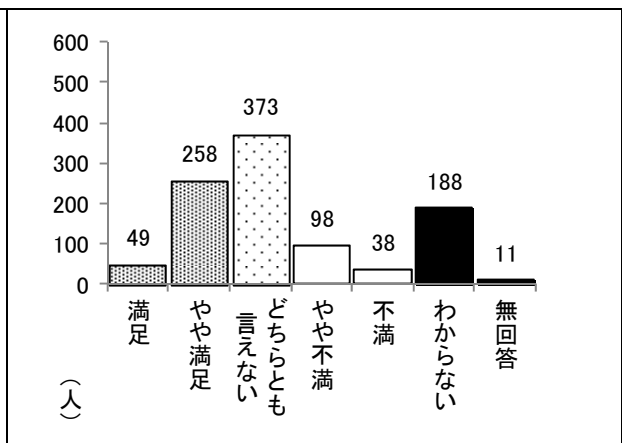


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

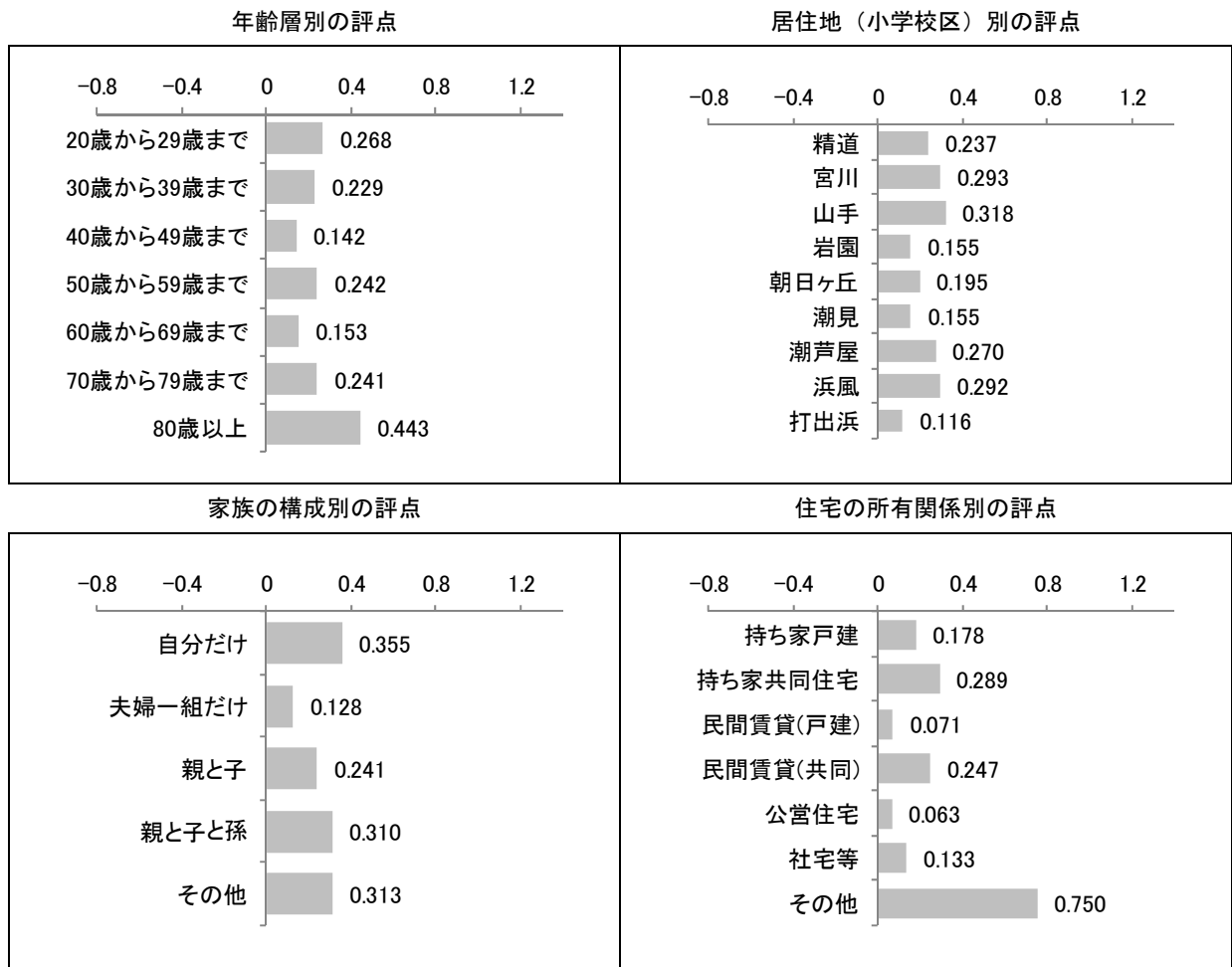


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 避難しやすい・災害を広げないまちづくりに関すること（4件）
- 地震・津波被害の抑制に関すること（3件）

10-1 自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

自然と緑を守り、創り、育てる文化が継承されていくため、六甲山など芦屋市域よりも広い範囲の緑を守るとともに、芦屋川や宮川などの河川沿い、道路、公園、広場などの公共空間や、市域の大部分を占める住宅地に花や緑を増やす取組を進めます。

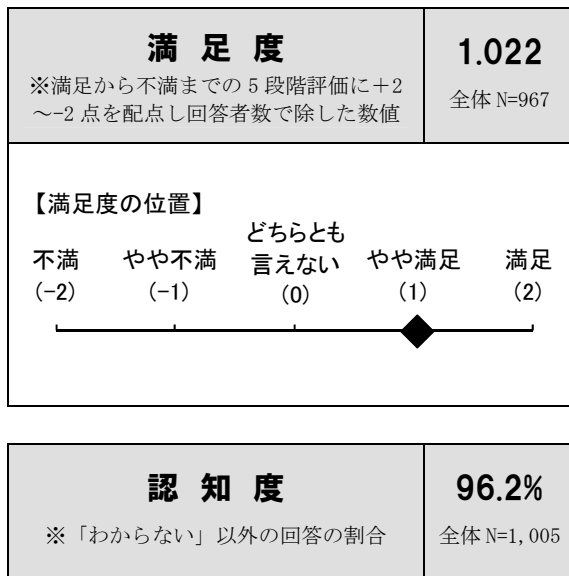
また、自然環境を守るため、自然とふれあう環境を整え、自然を大切にすることを醸成するための取組を進めます。

重点施策

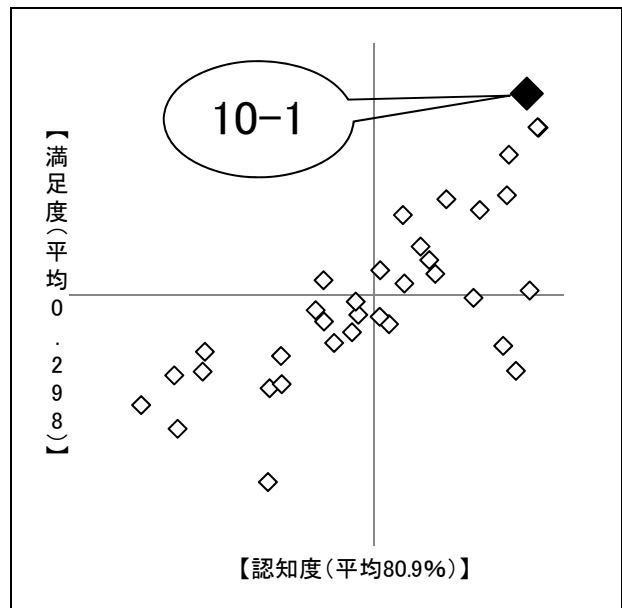
- 10-1-1 まちなかを花と緑で彩り、道路や河川沿いの緑を守り育てます。
- 10-1-2 安全に芦屋の自然と親しむことができる環境を保全します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

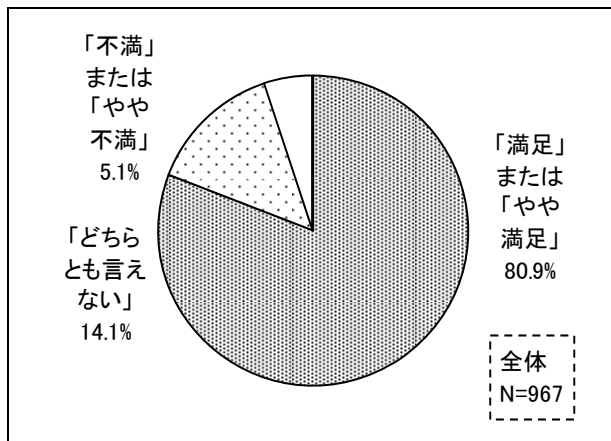


満足度と認知度から見た施策の評価

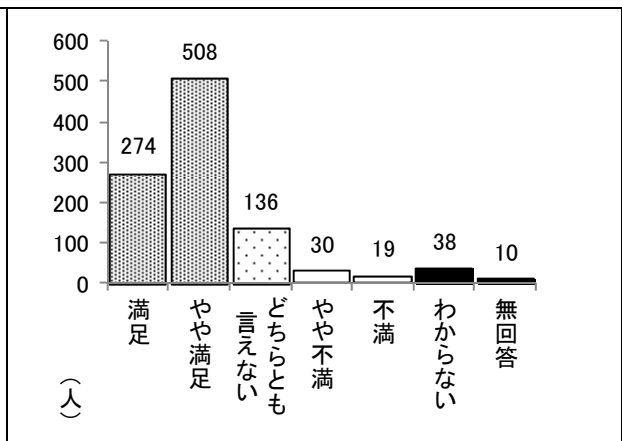


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

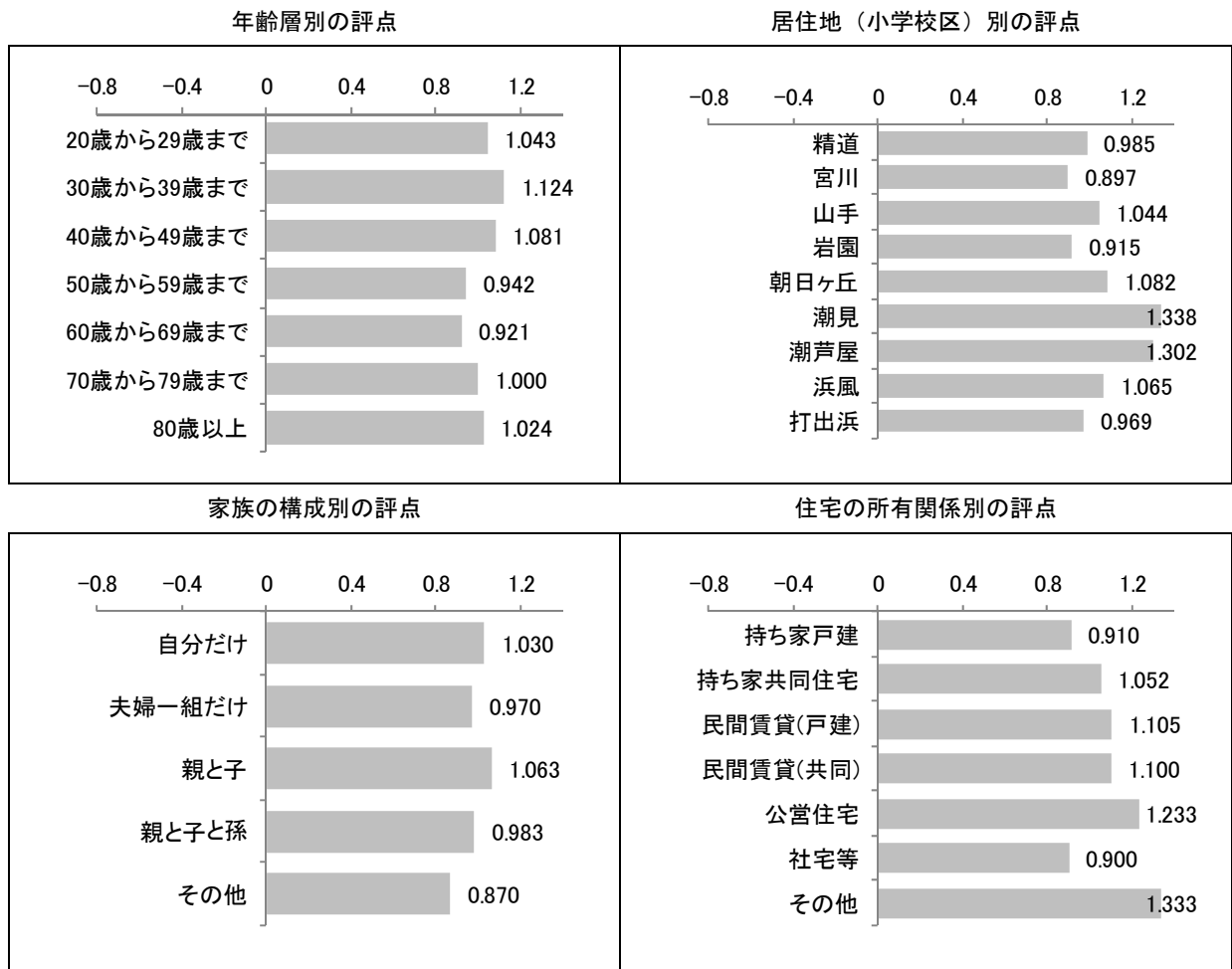


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 街路樹などに関する事（14件）
- 市民による花と緑のまちなみづくりに関する事（11件）
- 自然と親しむ施設の整備・管理に関する事（5件）

10-2 建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している

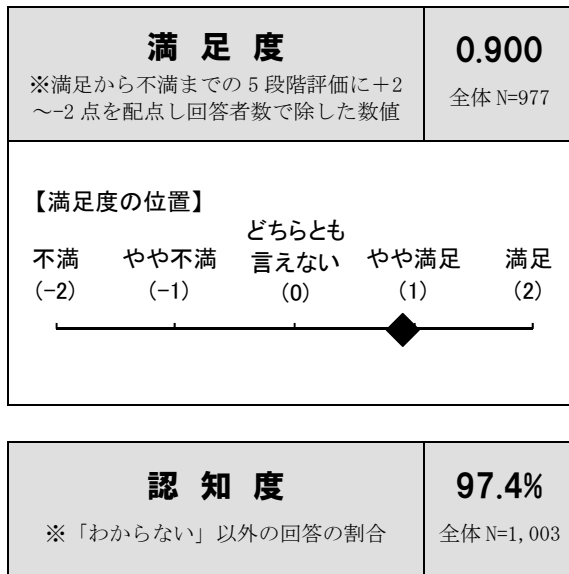
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和していくためには、これまでの成果を更に確実にしていくための取組を進めていくとともに、建築物だけでなく屋外広告物を含む工作物についても周辺の景観と調和した美しいまちなみとなる取組を進めます。

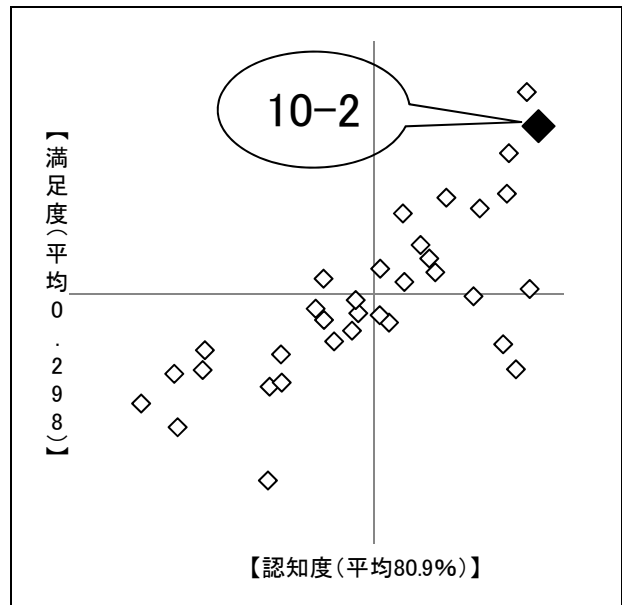
重点施策 10-2-1 芦屋らしい美しい景観となるよう景観誘導施策を進めていきます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

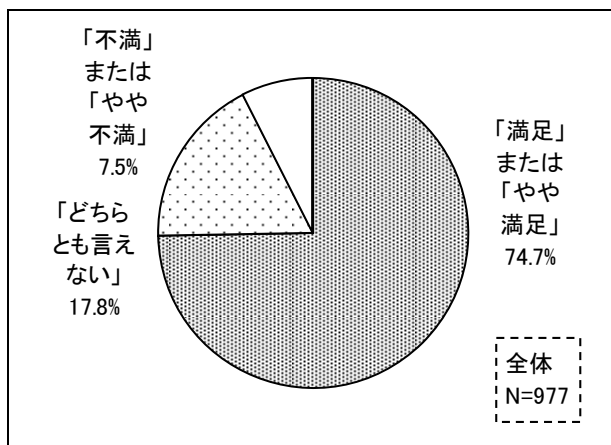


満足度と認知度から見た施策の評価

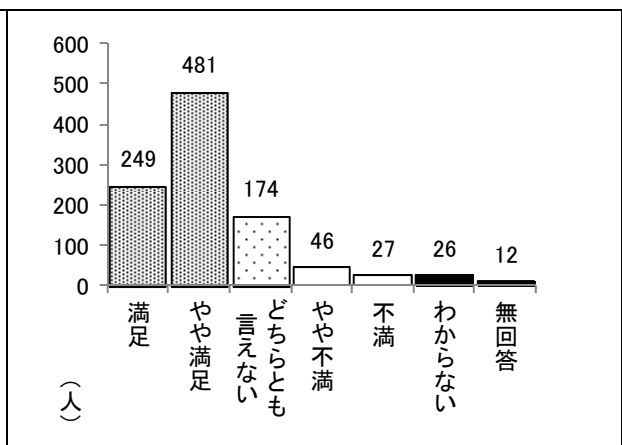


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

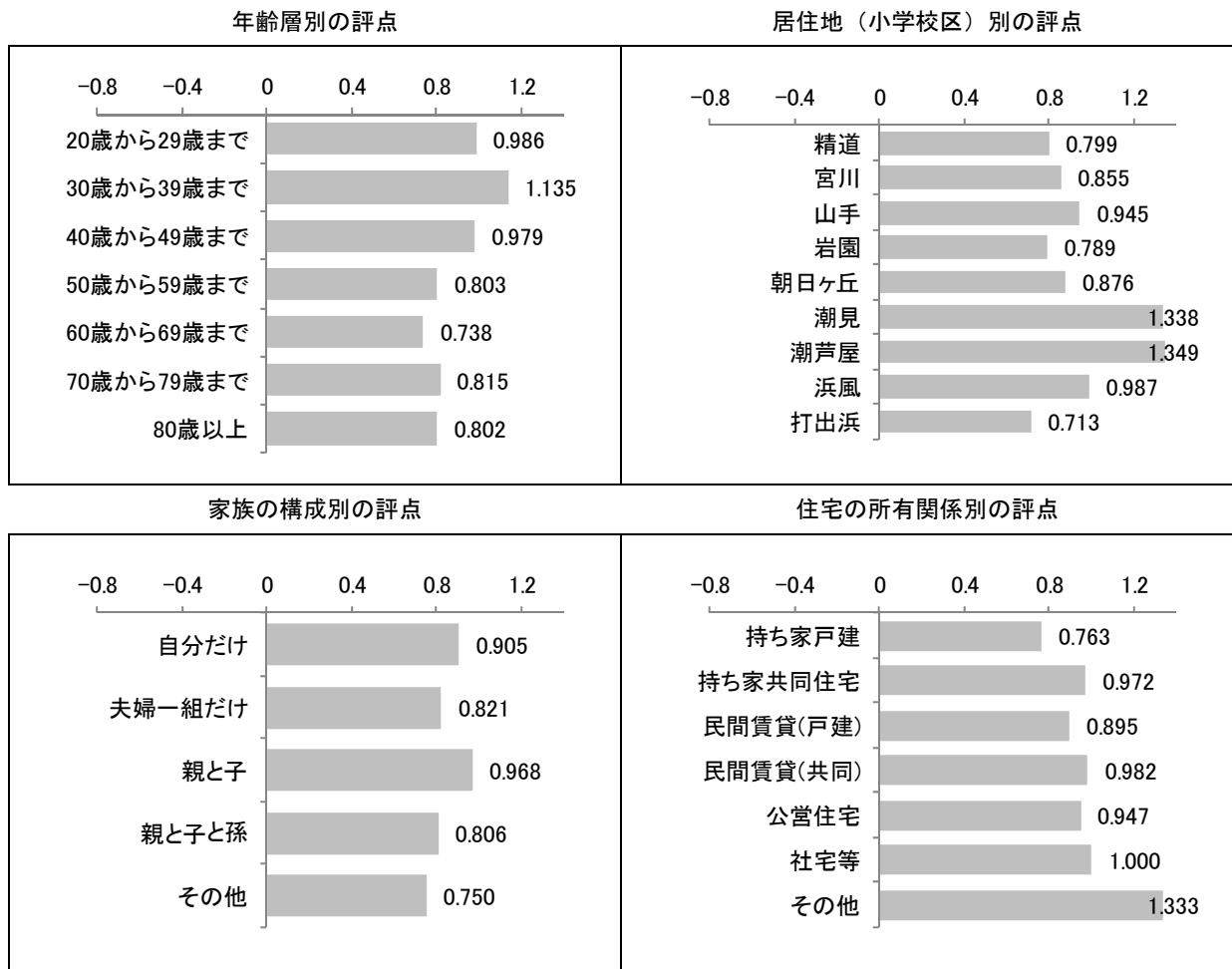


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

景観に配慮した建築に関すること (5件)

11-1 環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる

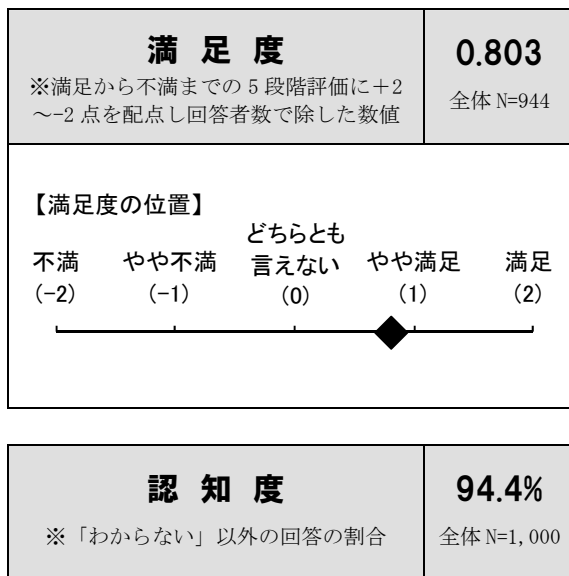
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民が環境に配慮した暮らしをし、環境にやさしいまちとなるよう、自然環境を守り、まちなかの緑を増やす取組を進めるとともに、環境への負荷を低減するため、ごみの減量化、再資源化及び太陽光発電などの省エネルギーの推進などに取り組んでいきます。

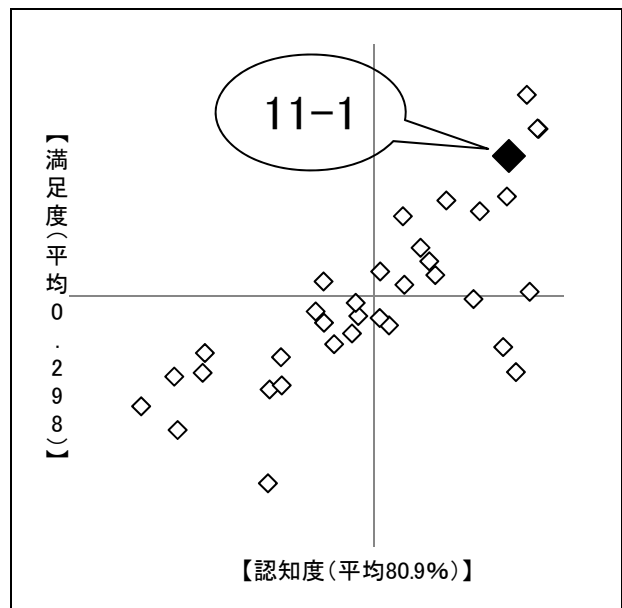
重点施策	11-1-1 市民が省エネルギーやリサイクルの推進など環境に配慮した生活ができるよう周知、啓発に努めます。
	11-1-2 行政も事業者として適切な廃棄物の処理や公共用水域の水質保全など、環境に配慮した取組を推進します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

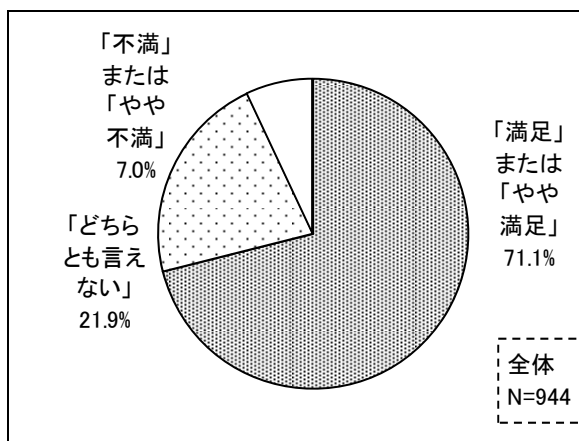


満足度と認知度から見た施策の評価

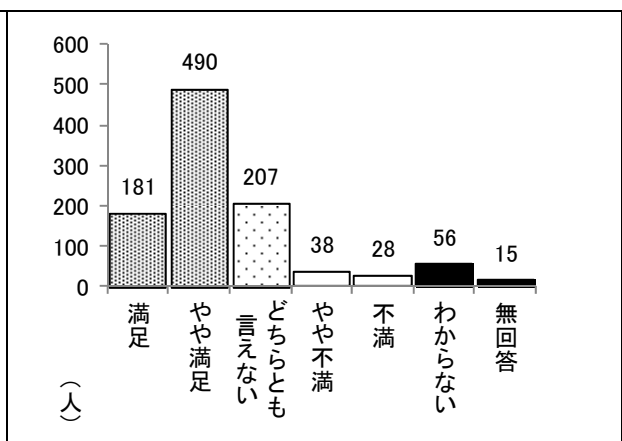


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

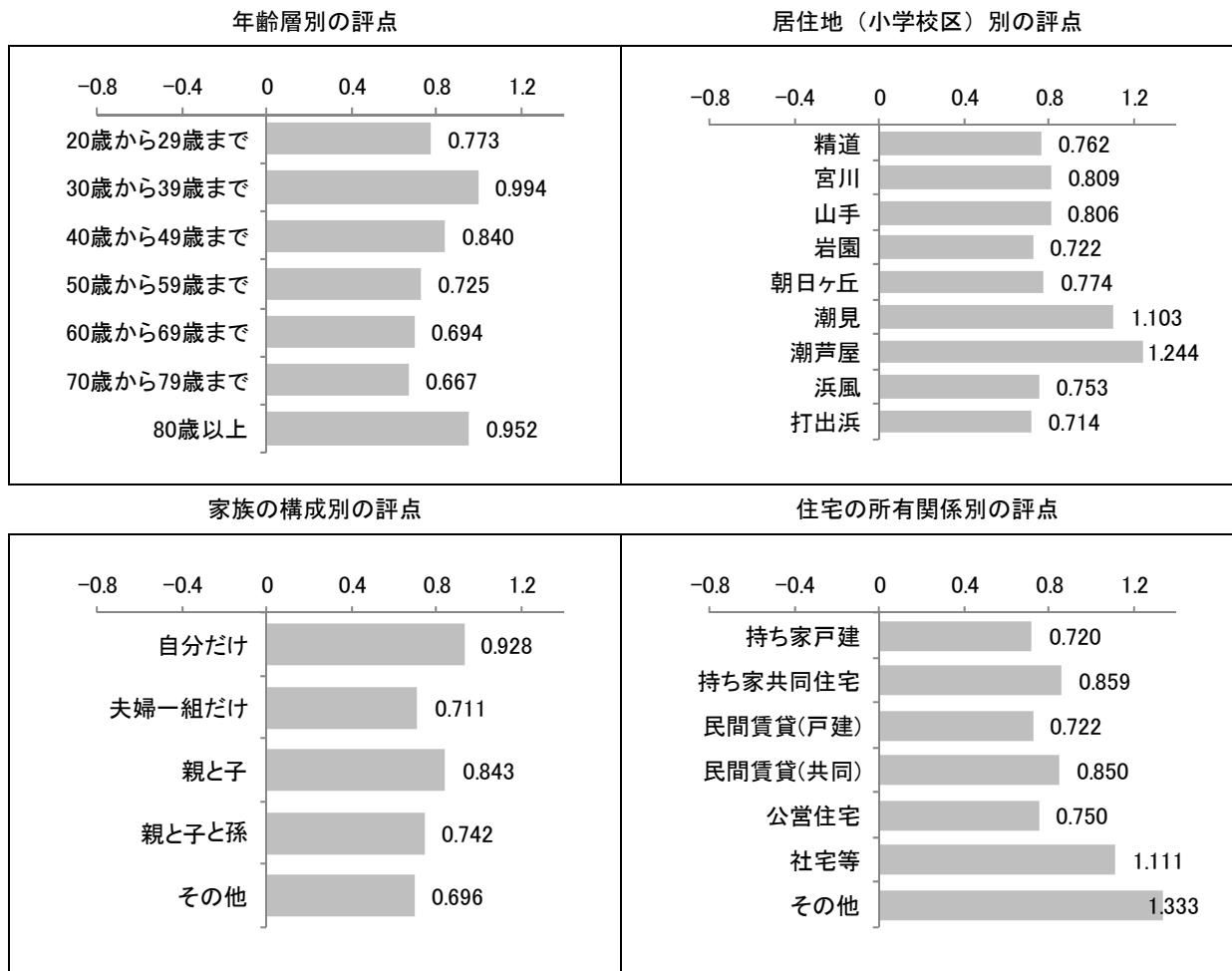


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 公共空間の美化衛生に関すること (19件)
- カラス・野良猫対策に関すること (8件)
- ゴミ収集に関すること (6件)
- ごみの分別に関すること (4件)
- エネルギー創出に関すること (3件)
- 省エネルギーに関すること (1件)

11-2 清潔なまちづくりが進んでいる

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

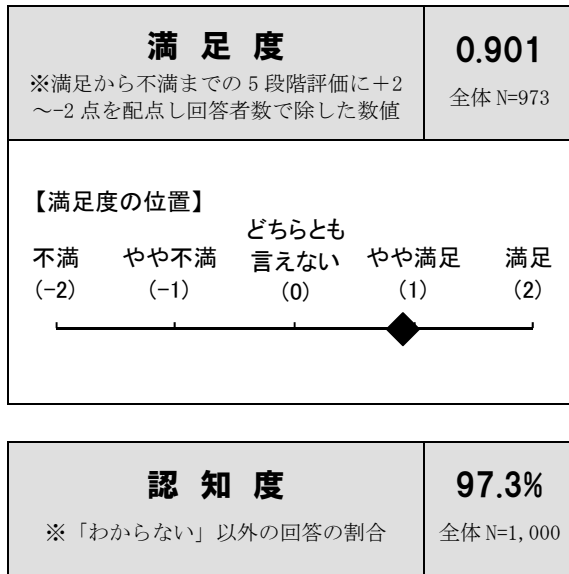
清潔なまちとなるよう、(通称)市民マナー条例の取組を更に進め、市外から来られる方への周知とともに、市民一人一人のマナーが向上し、ごみの散乱や投げ捨て、落書きなど他人の迷惑になるような行為ができないようなまちの雰囲気にしていくよう取り組みます。

重点施策

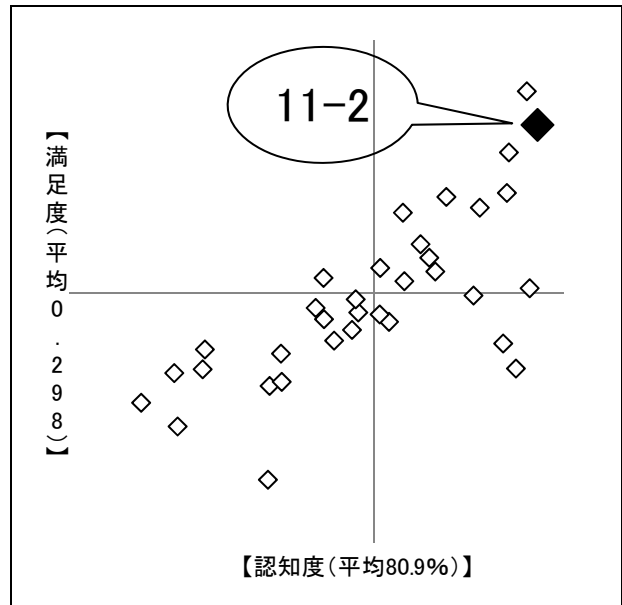
11-2-1 清潔で安全・快適な生活環境の確保に関する条例（通称：市民マナー条例）の周知、啓発、誘導に努めるなど清潔なまちづくりを進めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

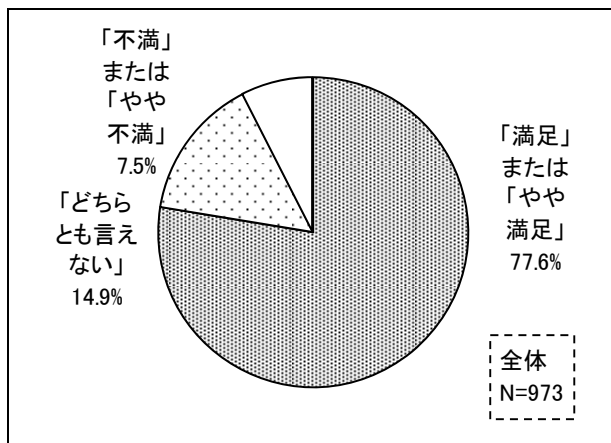


満足度と認知度から見た施策の評価

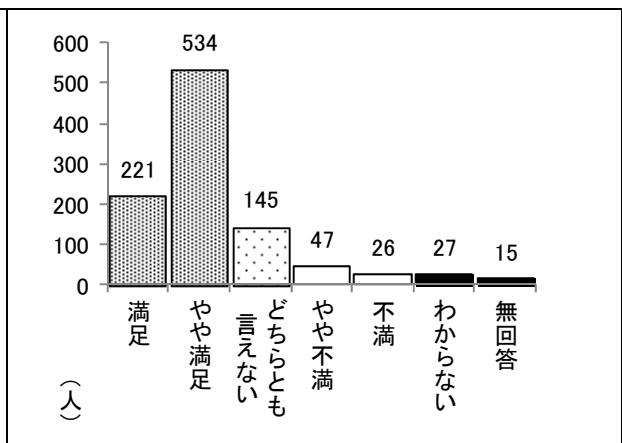


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

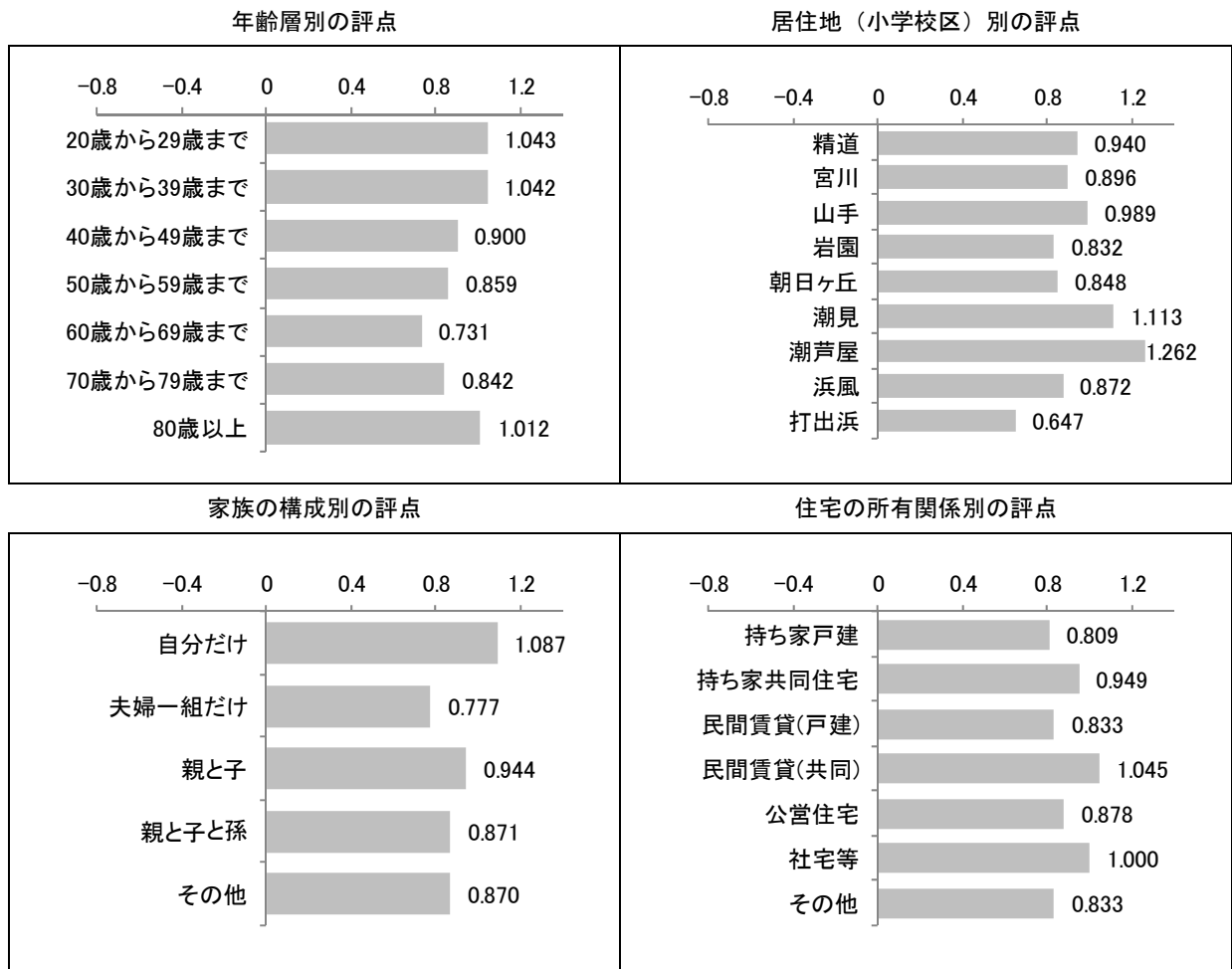


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- ペットのマナーに関すること（23件）
- 路上喫煙に関すること（22件）
- その他生活のマナーに関すること（8件）

12-1 交通ルールやマナーに関する意識が高まっている

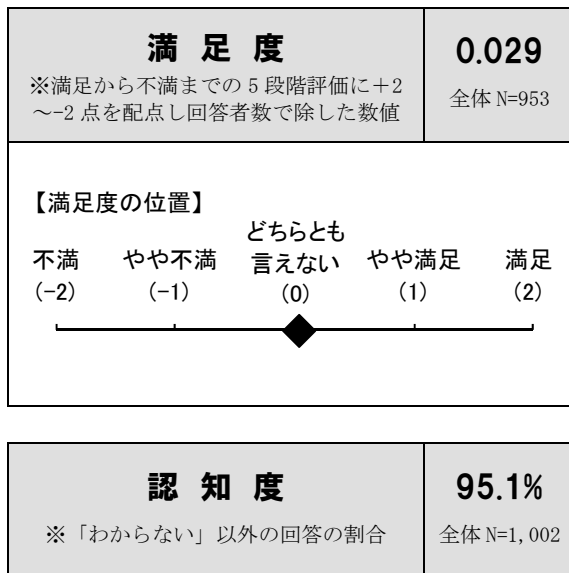
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

これまでの取組を充実するため、警察や交通安全協会などの関係機関との連携を強化しながら、自動車や自転車などに乗る人や歩行者一人一人の交通ルールとマナーの向上を目指して取り組みます。

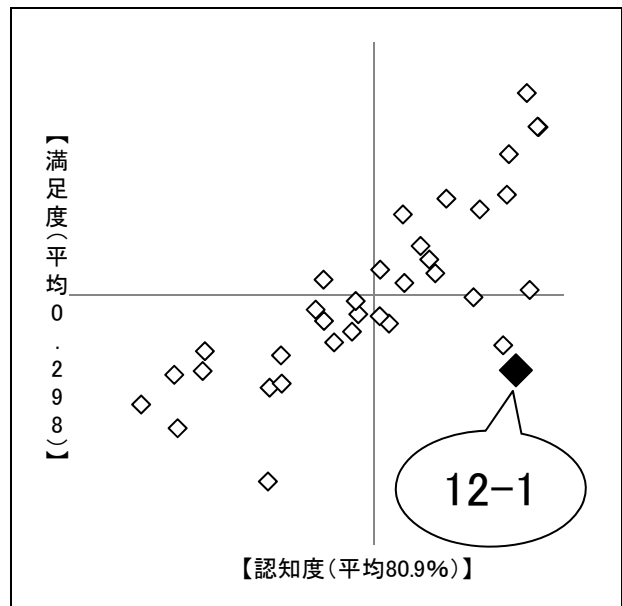
重点施策 12-1-1 交通に関するルールとマナーの周知、啓発に努めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

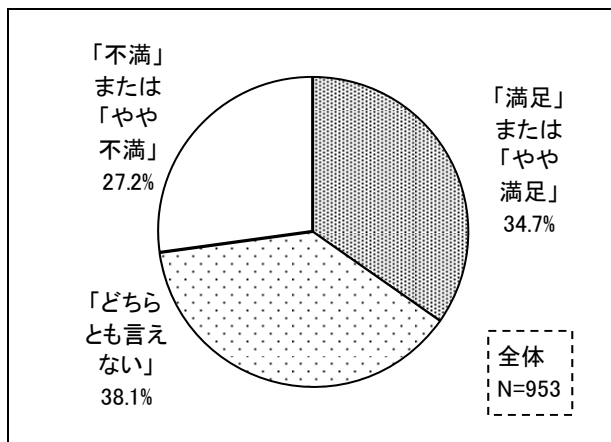


満足度と認知度から見た施策の評価

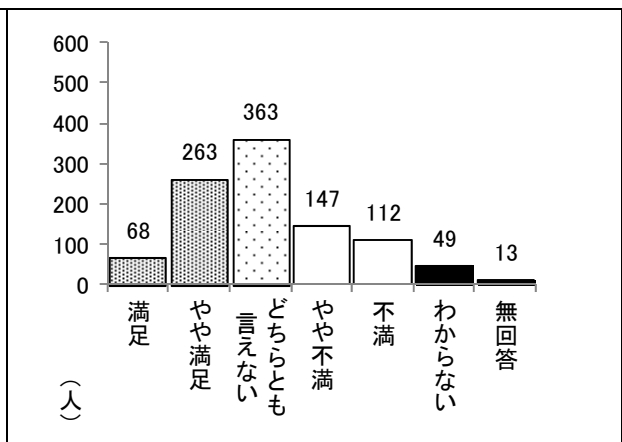


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

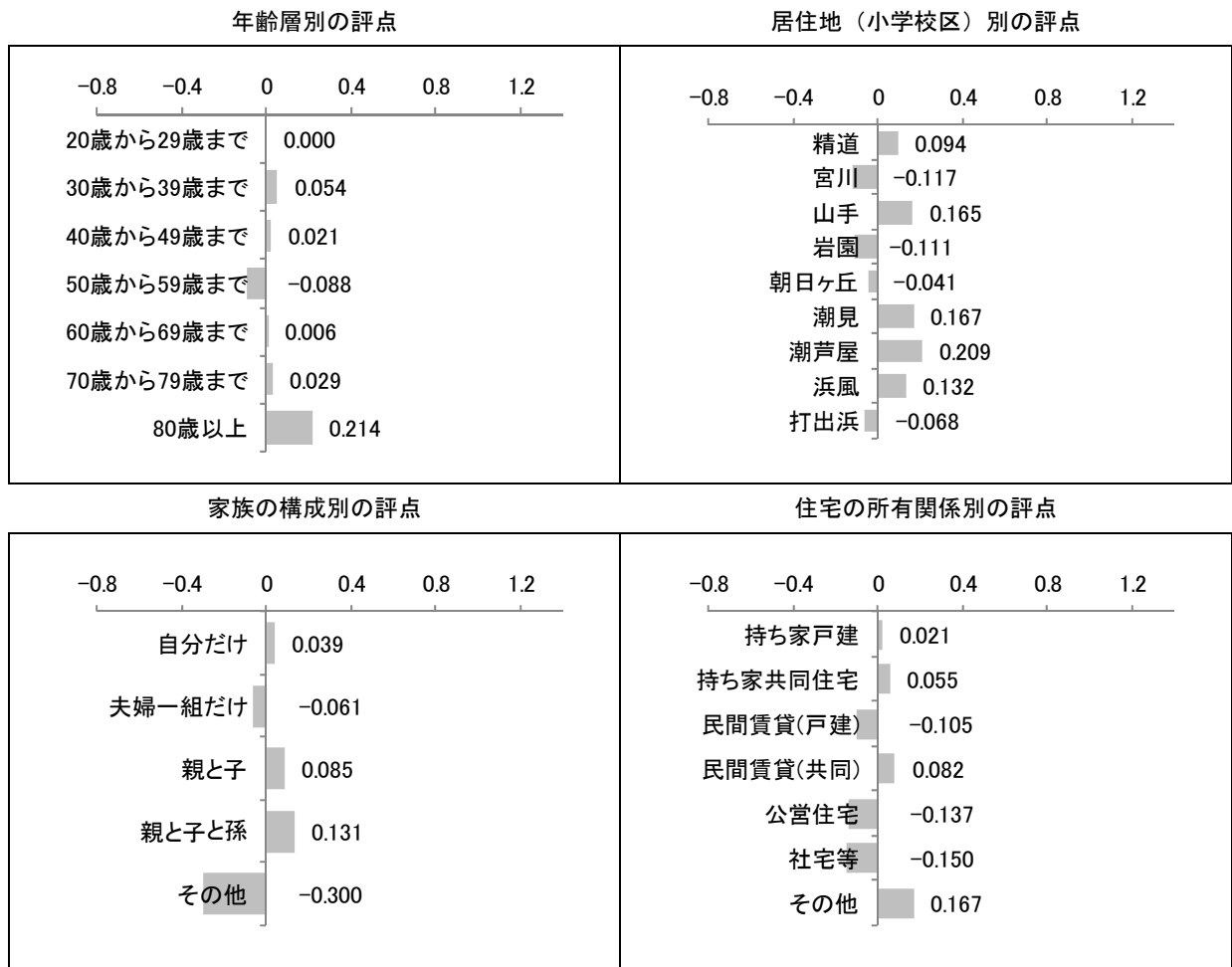


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 自転車に関すること（24件）
- 自動車・バイクに関すること（17件）

12-2 公共施設などのバリアフリー化が進んでいる

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

重点整備地区で長期的に実施する取組を進めるとともに、その他の道路や公園などの公共空間や様々な人が利用する建物などのバリアフリー化についても優先順位をつけながら進めていきます。

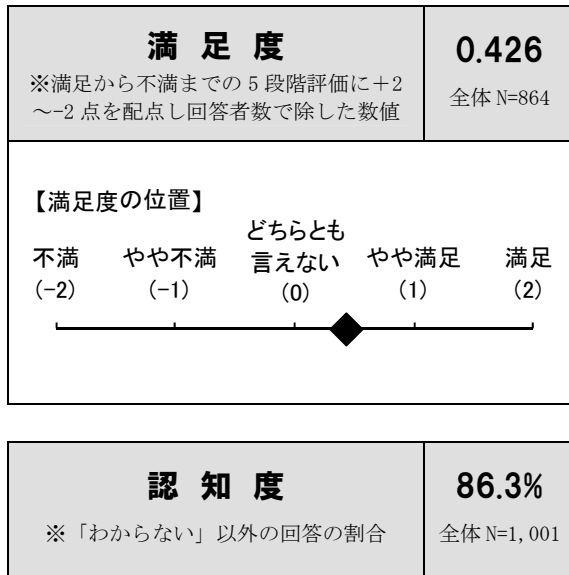
重点施策

12-2-1 道路や公園などの公共空間のバリアフリー化を進めます。

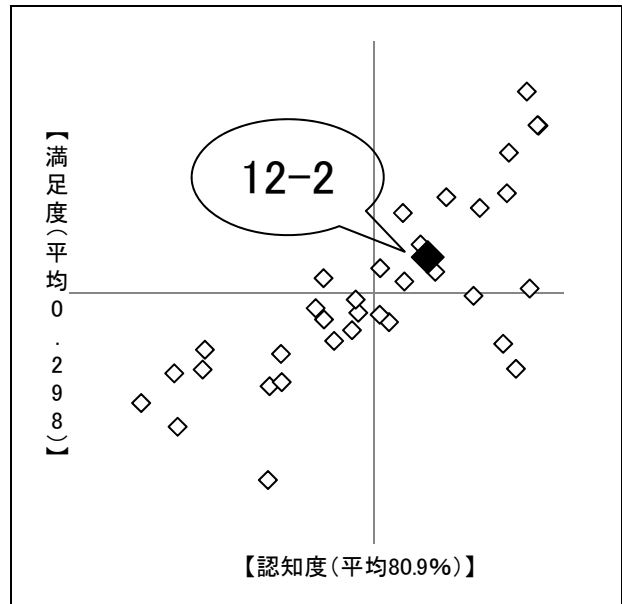
12-2-2 様々な人が利用する建物のバリアフリー化を推進、促進します。

（１） 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

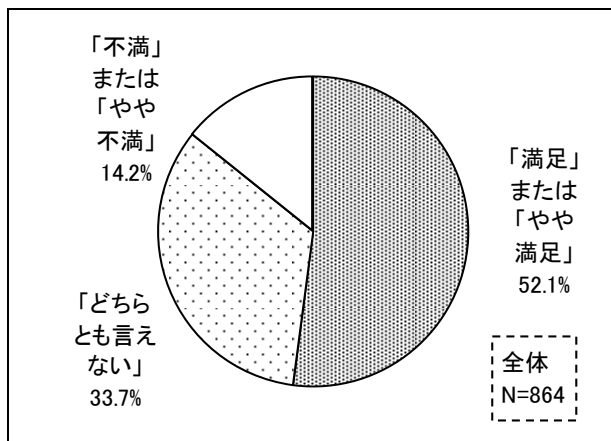


満足度と認知度から見た施策の評価

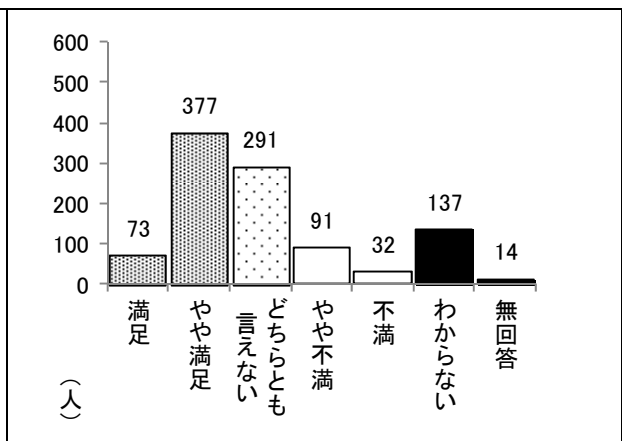


（２） 評価の割合、分布状況

評価の割合

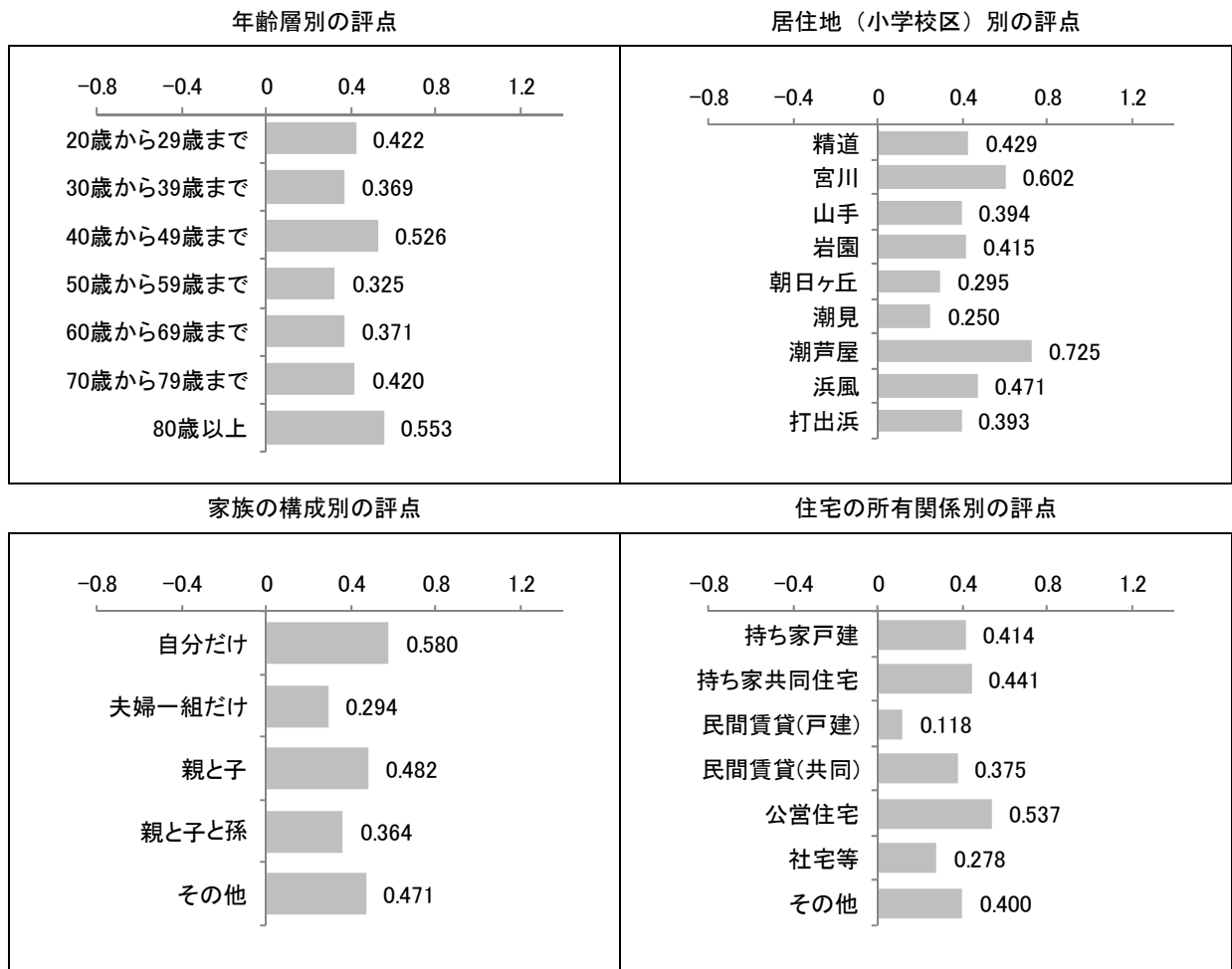


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 駅周辺の移動や利便性の向上に関すること（16件）
- 各種施設のバリアフリーに関すること（3件）

12-3 市内を安全かつ快適に移動できる

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

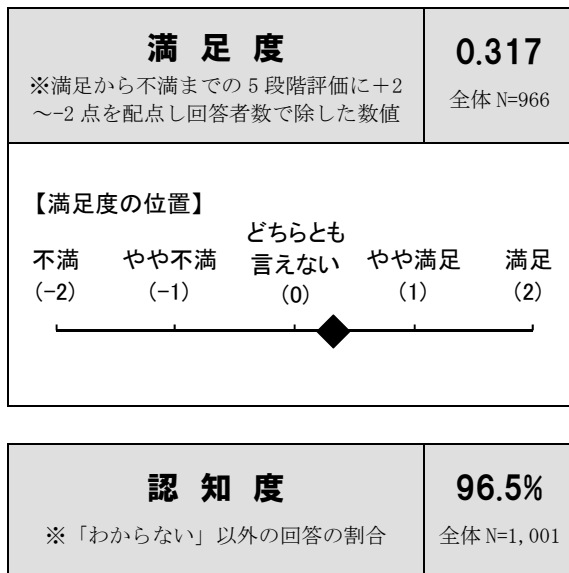
誰もが安全かつ快適に移動できるよう、道路や交通安全施設を適切に整備・維持管理し、歩道を整備できない道路については、引き続き歩行者の安全を確保するための工夫を進めるとともに、バスや鉄道といった公共交通を利用しやすくするための取組を検討します。

また、歩行者の安全確保のために違法駐車・駐輪がなくなるよう、市内の店舗や鉄道駅周辺の駐車場や駐輪場を利用しやすくするための取組を進めます。

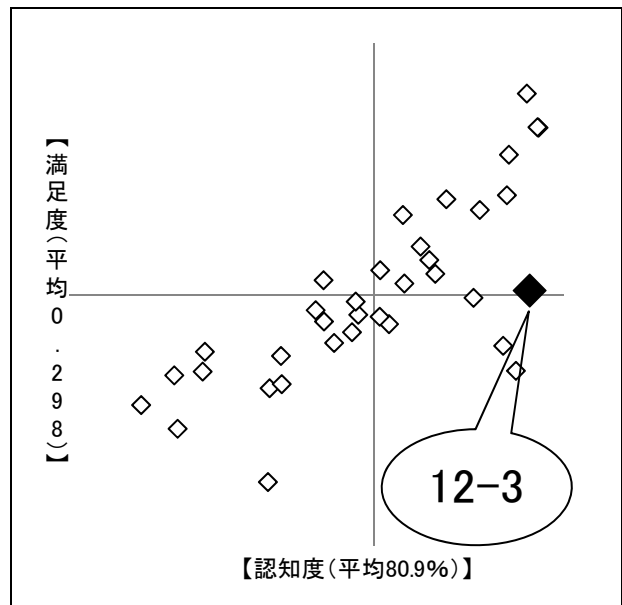
重点施策	12-3-1 道路や交通安全施設の整備・維持管理を適切に行います。
	12-3-2 駅周辺の交通機能を高めるための取組を検討します。
	12-3-3 公共交通や道路網を含めた市内交通の円滑化に向けて取り組みます。
	12-3-4 店舗や駅周辺での違法駐車や違法駐輪を減らす取組を進めます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

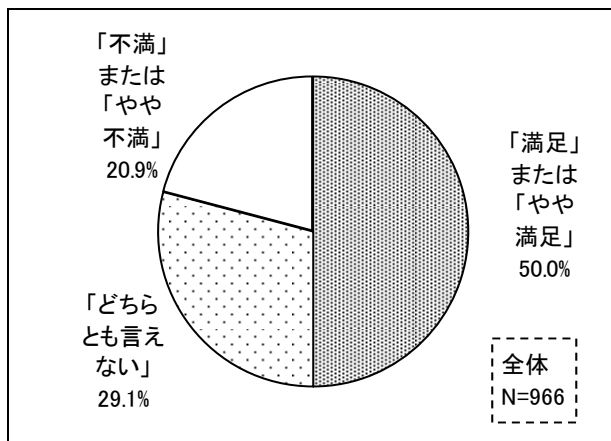


満足度と認知度から見た施策の評価

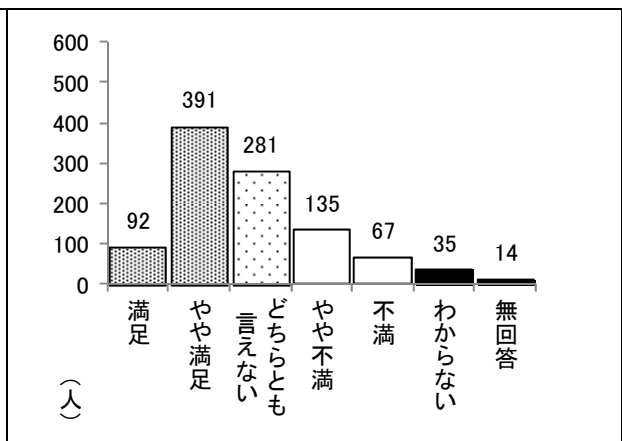


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

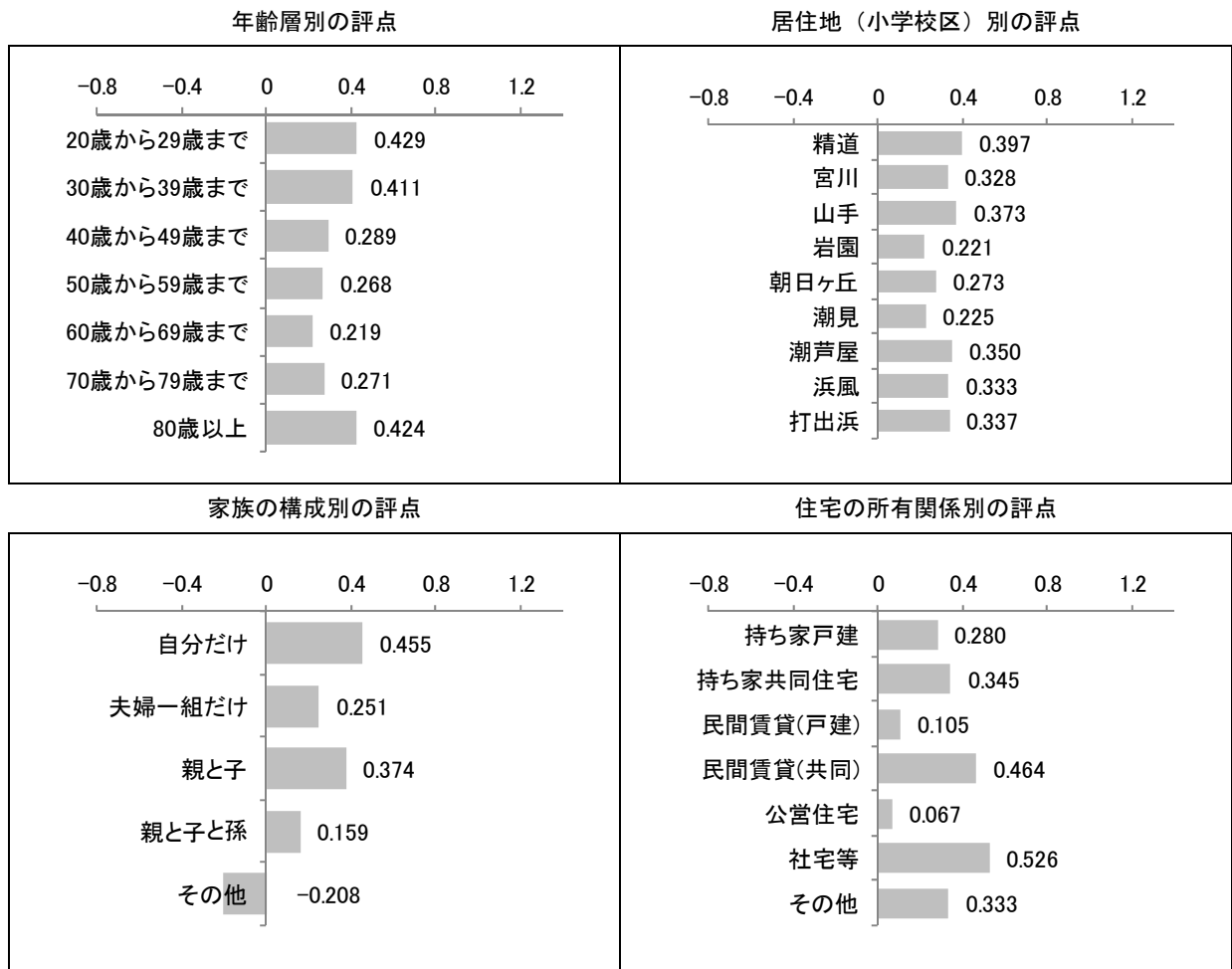


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 公共交通機関の充実に関すること（26件）
- 道路の整備に関すること（13件）
- 駅周辺等での駐停車マナーに関すること（8件）
- 施設間移動の円滑化に関すること（1件）
- その他交通施設等に関すること（3件）

13-1 良質なすまいづくりが進んでいる

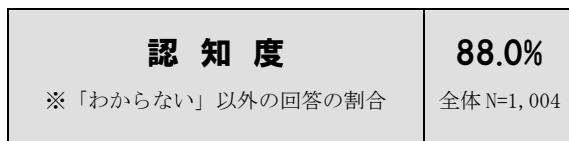
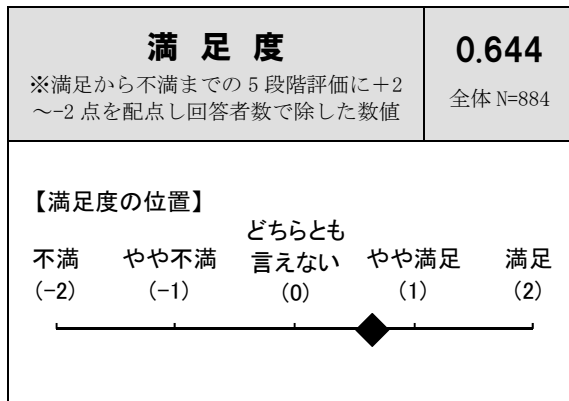
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

これまで取り組んできた良好な住環境の形成と、良質な住宅供給の促進や市営住宅等の耐震化とともに、既存の戸建住宅、集合住宅の耐震化やバリアフリー化の促進、維持管理のための相談体制や情報提供の充実などに取り組んでいきます。

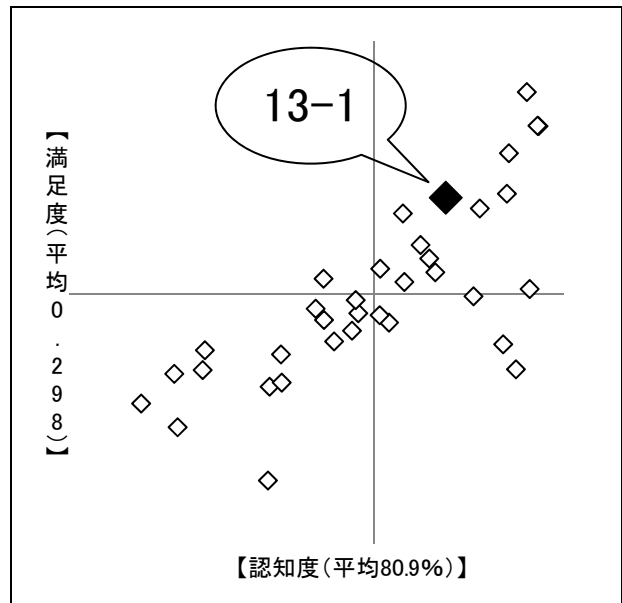
重点施策	13-1-1 良好な住環境の形成と良質な住宅供給を促進します。
	13-1-2 住宅の維持管理や改善に向けた相談や情報提供に努めます。
	13-1-3 市営住宅等の耐震化やバリアフリー化等を進め、ストックの維持管理を適切に行います。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

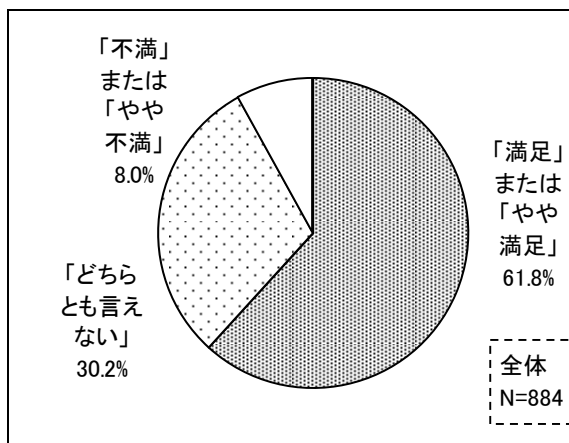


満足度と認知度から見た施策の評価

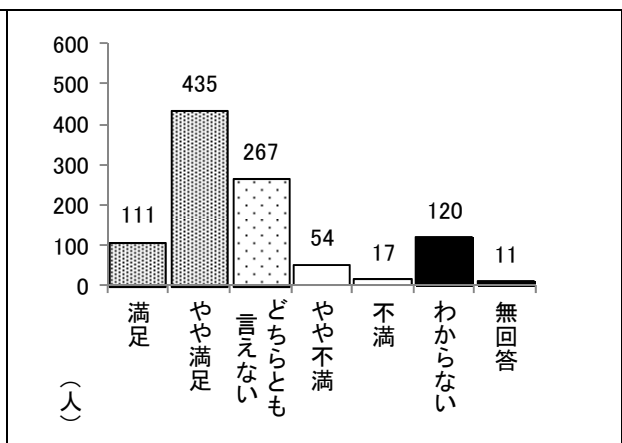


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

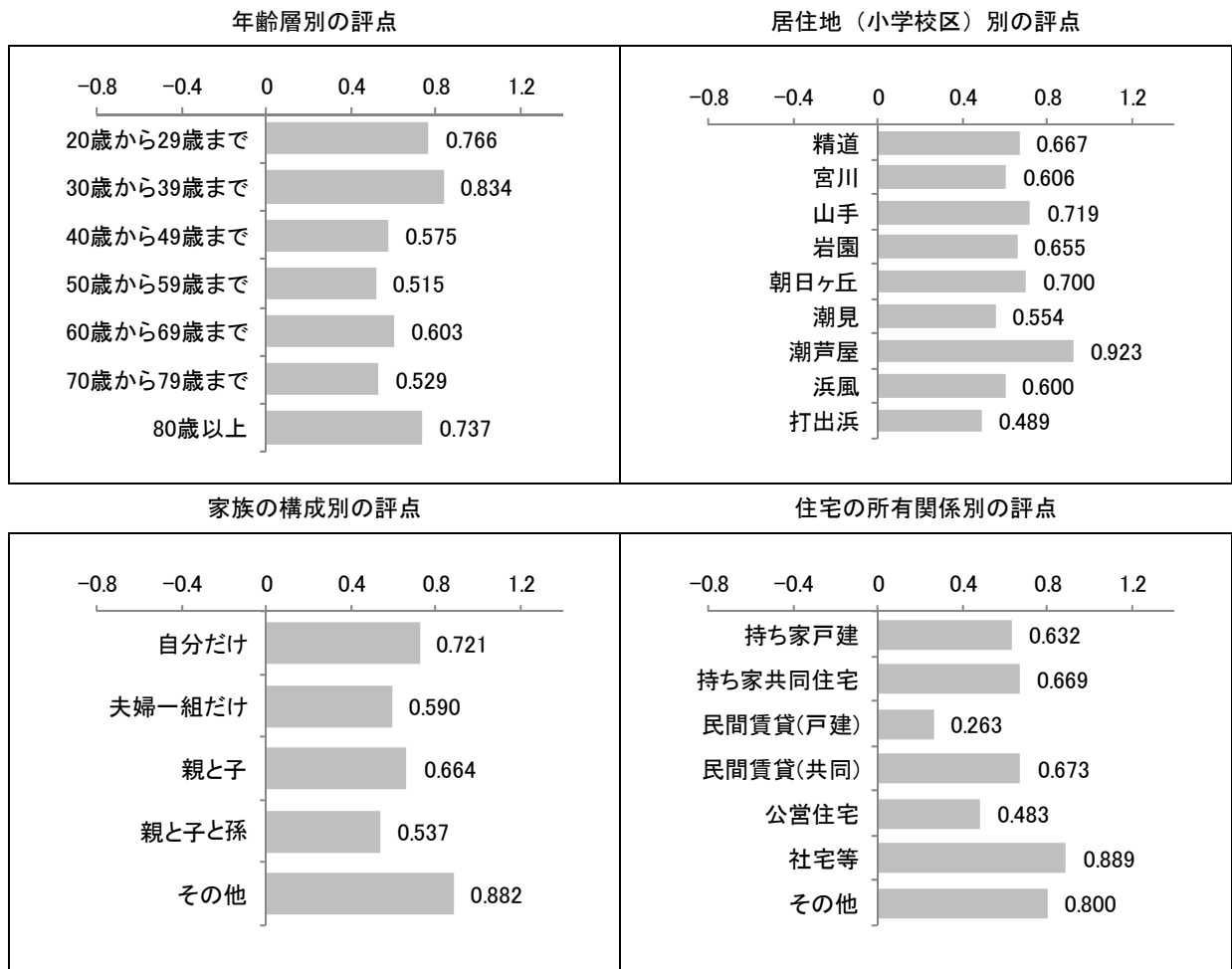


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 建築物のルールづくりに関すること（11件）
- 住宅・宅地の供給に関すること（1件）

13-2 住宅都市としての機能が充実している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

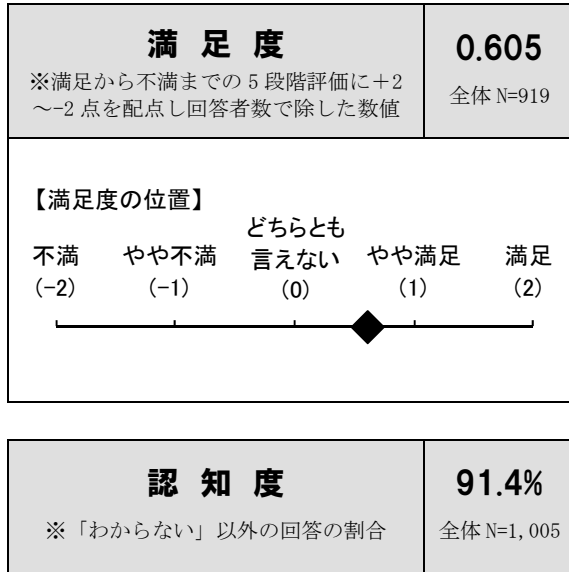
住宅都市としての機能を有効に活用できるよう、既存施設の状況把握や対処が必要な部分の洗い出しを行い、優先順位をつけながら、暮らしに必要な都市施設が安全で快適に利用できるよう、計画的な改良や維持管理に取り組んでいきます。

重点施策

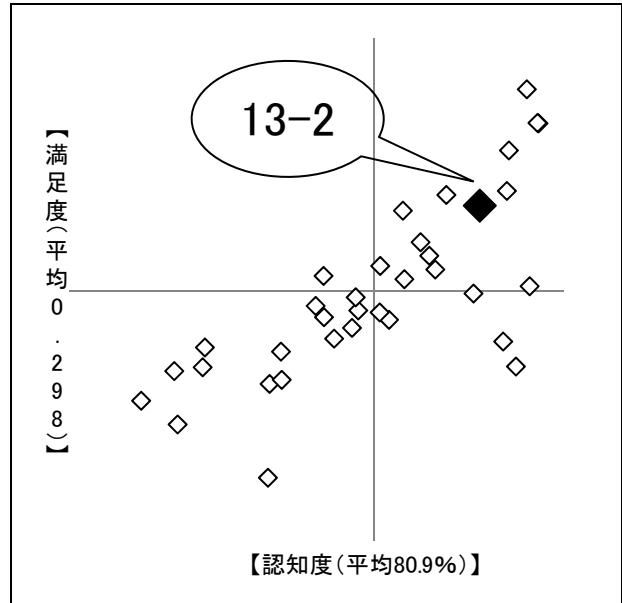
13-2-1 都市施設や設備の効率的な活用や長寿命化のための保全計画を策定し、適切な改修や維持管理を行います。

（１） 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

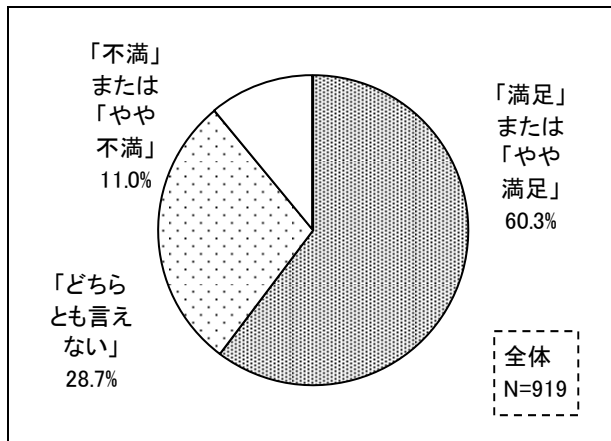


満足度と認知度から見た施策の評価

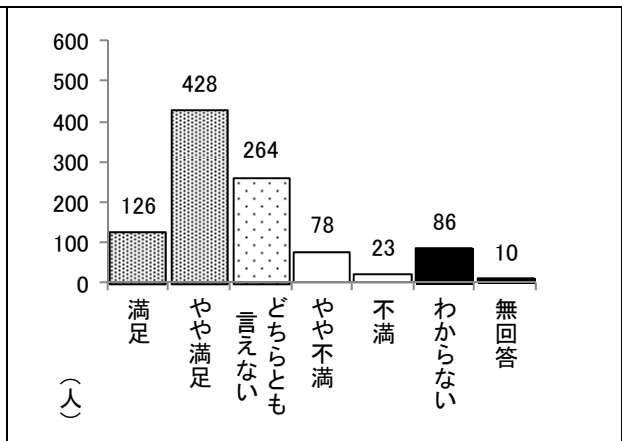


（２） 評価の割合、分布状況

評価の割合

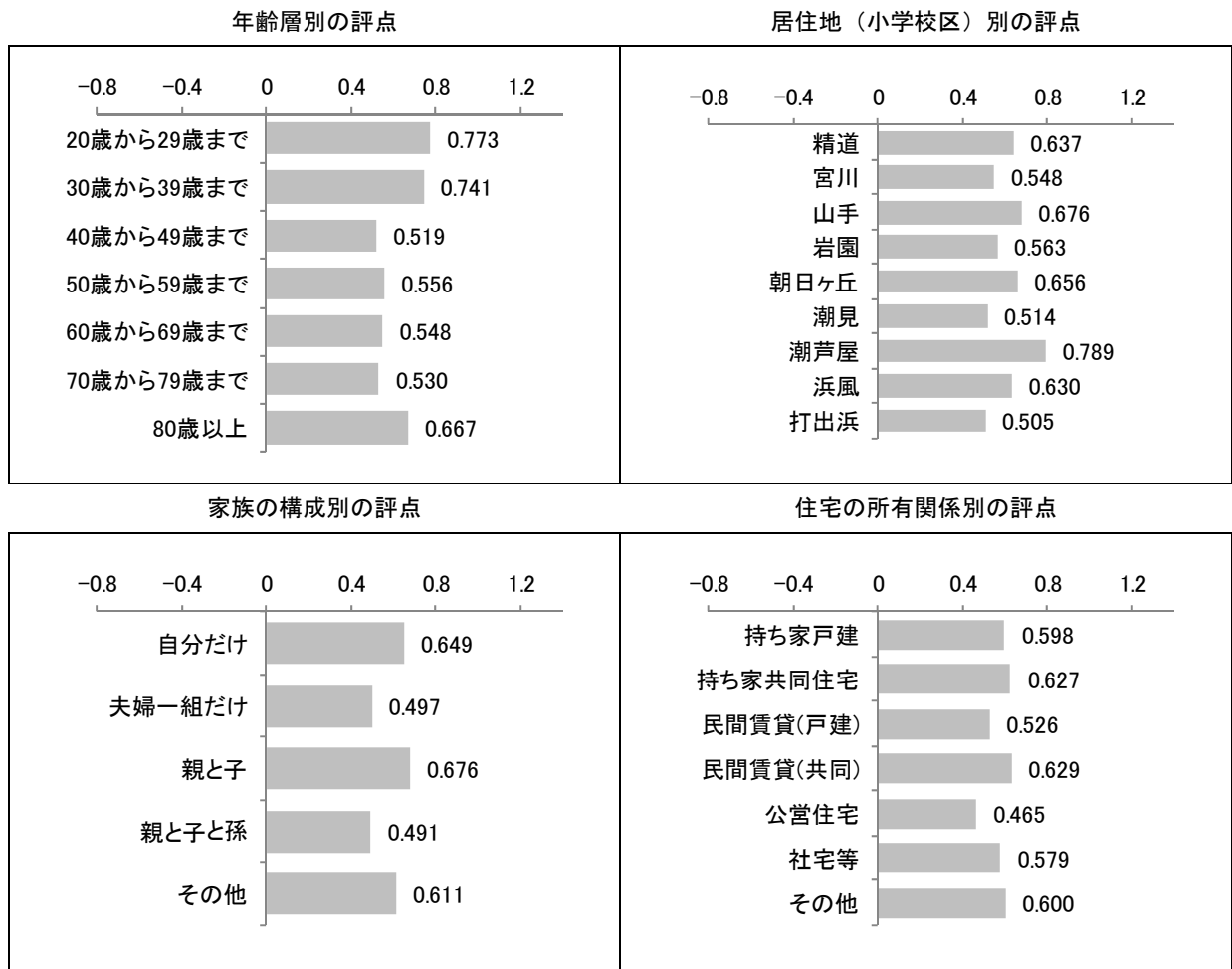


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 良好な住環境の維持・形成に関すること (27 件)
- 生活利便施設等に関すること (5 件)
- 公共施設の整備に関すること (1 件)

13-3 市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民が便利に買い物などの消費生活ができるように、商店街の空き店舗対策など商店の集積を促進するとともに、文化やスポーツ教室など商業以外の機能、休憩スペース、歩きやすく安全で快適な歩道などといった消費者ニーズに的確に応えていけるよう、公共空間や商業共同施設などの商業環境の整備に努め、商工会と連携して商店街や商業者を支援する取組を進めます。

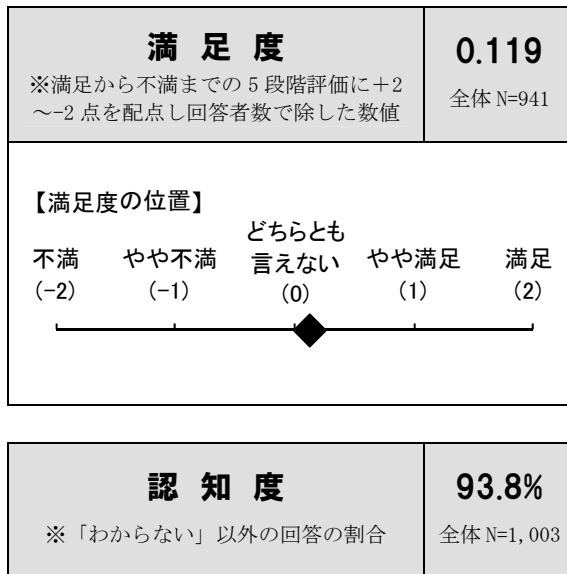
重点施策

13-3-1 魅力ある商店街づくりを推進し、生活の利便性の向上を目指します。

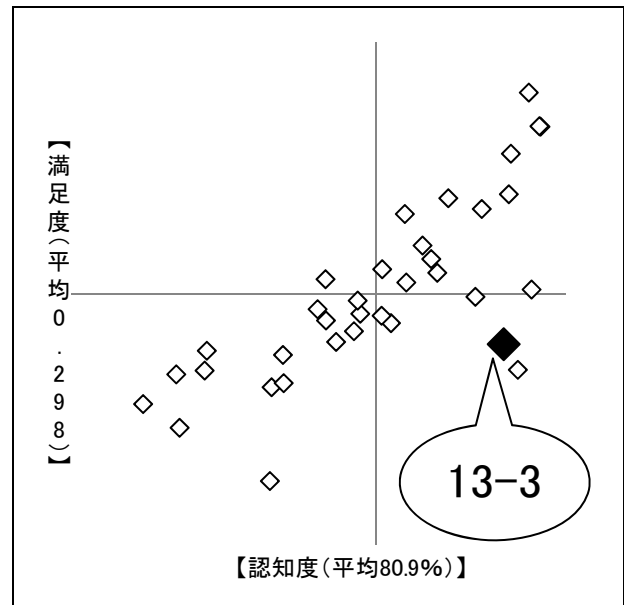
13-3-2 市民の利便性の向上のため、商業・業務施設の立地を検討します。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

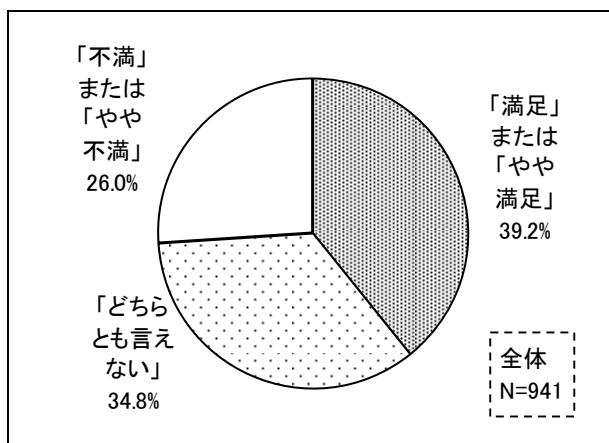


満足度と認知度から見た施策の評価

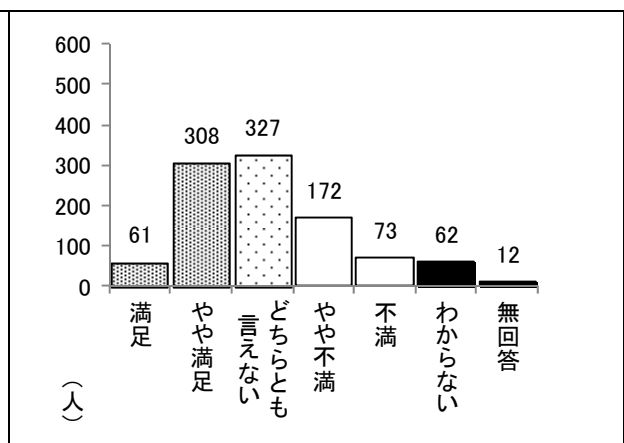


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

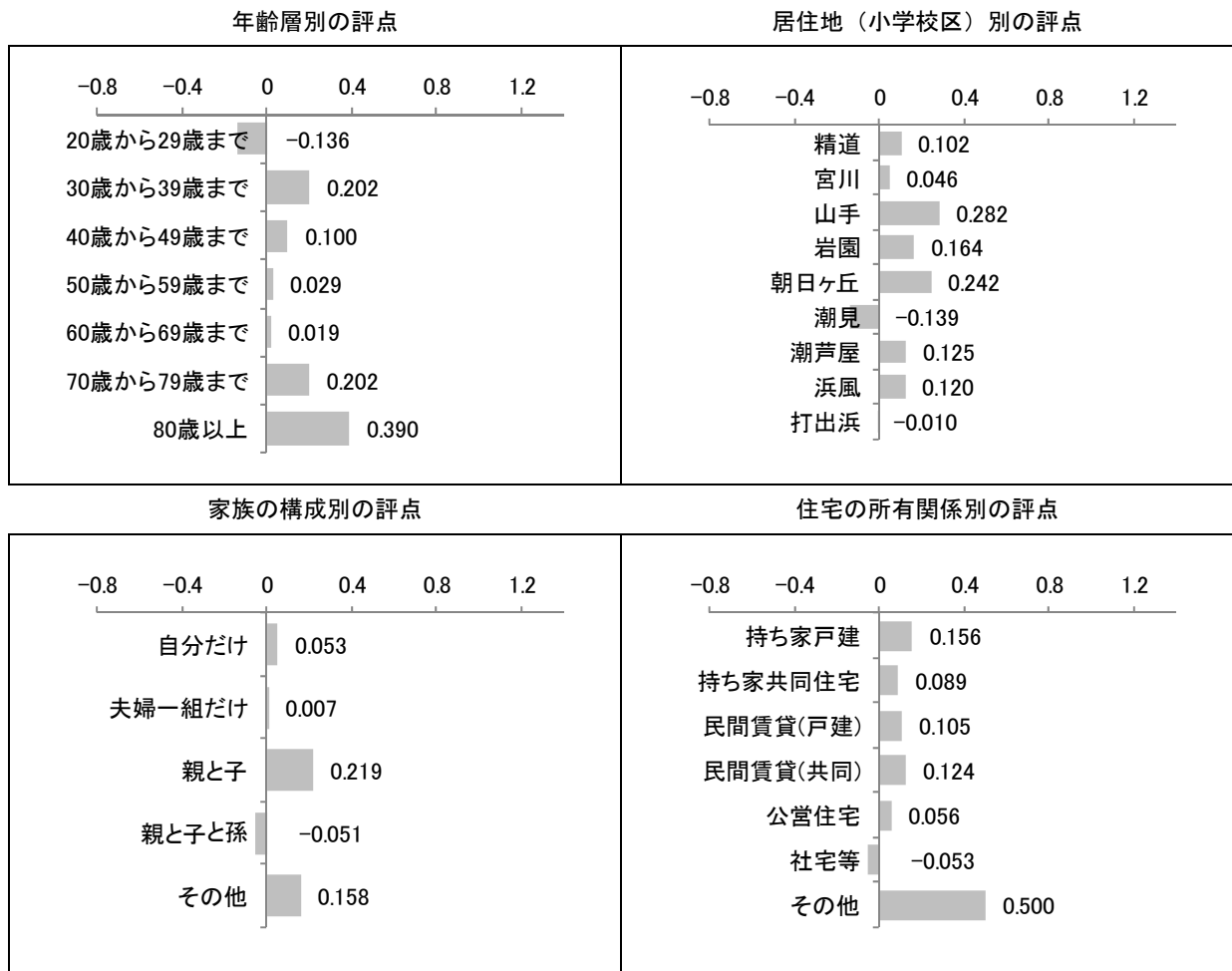


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 商業・業務施設に関すること（11件）
- 商店街（中心市街地）の活性化に関すること（9件）

14-1 市民参画による開かれた市政を運営している

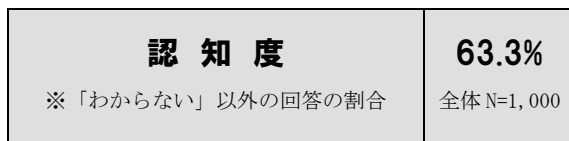
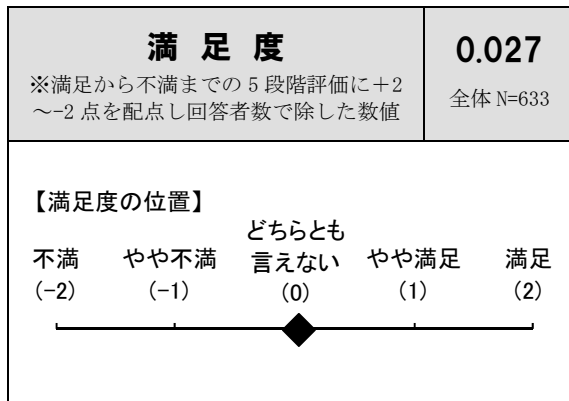
【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

市民参画による更に開かれた市政となるよう、市政に関する情報を市民に分かりやすいものとするための取組を進めるとともに、市政への参画のあり方や、施策を市民目線で見直すなどの取組を進めています。

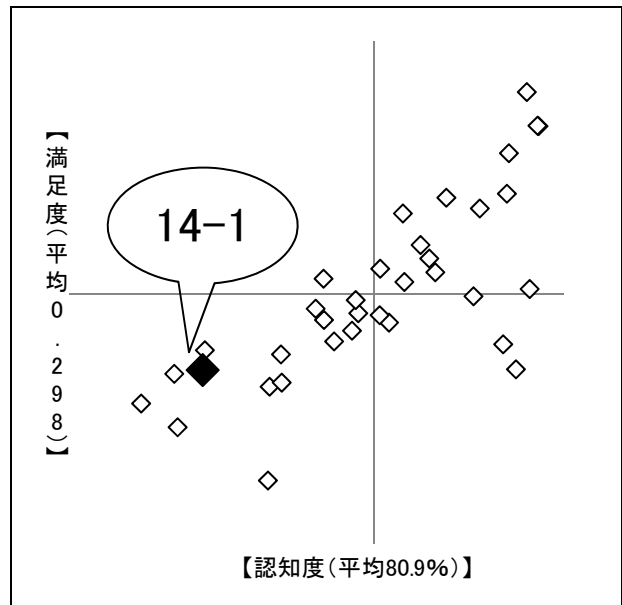
重点施策	14-1-1 市政に関する情報を適時に適切な方法で分かりやすく発信し、透明性の確保に努めます。
	14-1-2 市民参画の機会の充実に努めます。
	14-1-3 総合計画の取組の成果を市民目線で確認しながら、施策を改善していきます。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

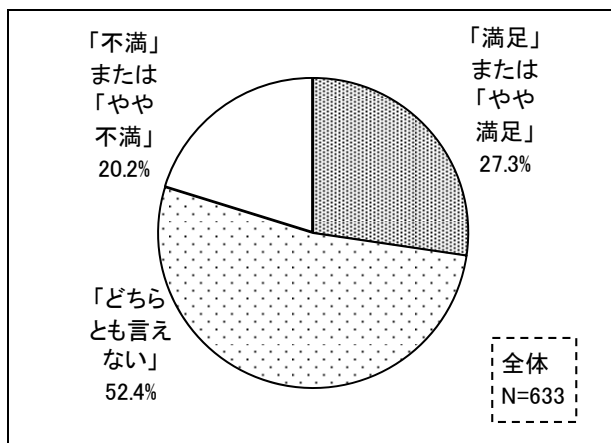


満足度と認知度から見た施策の評価

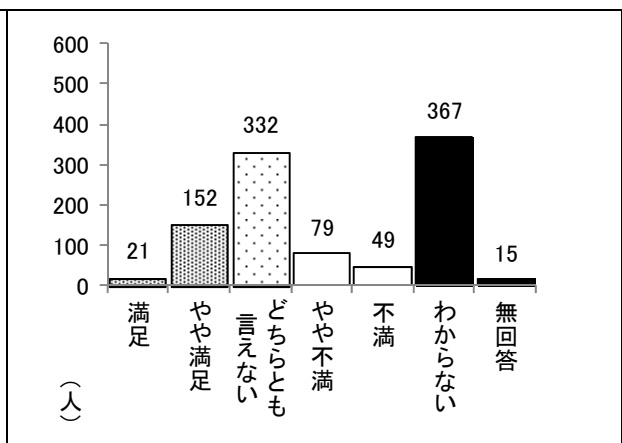


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

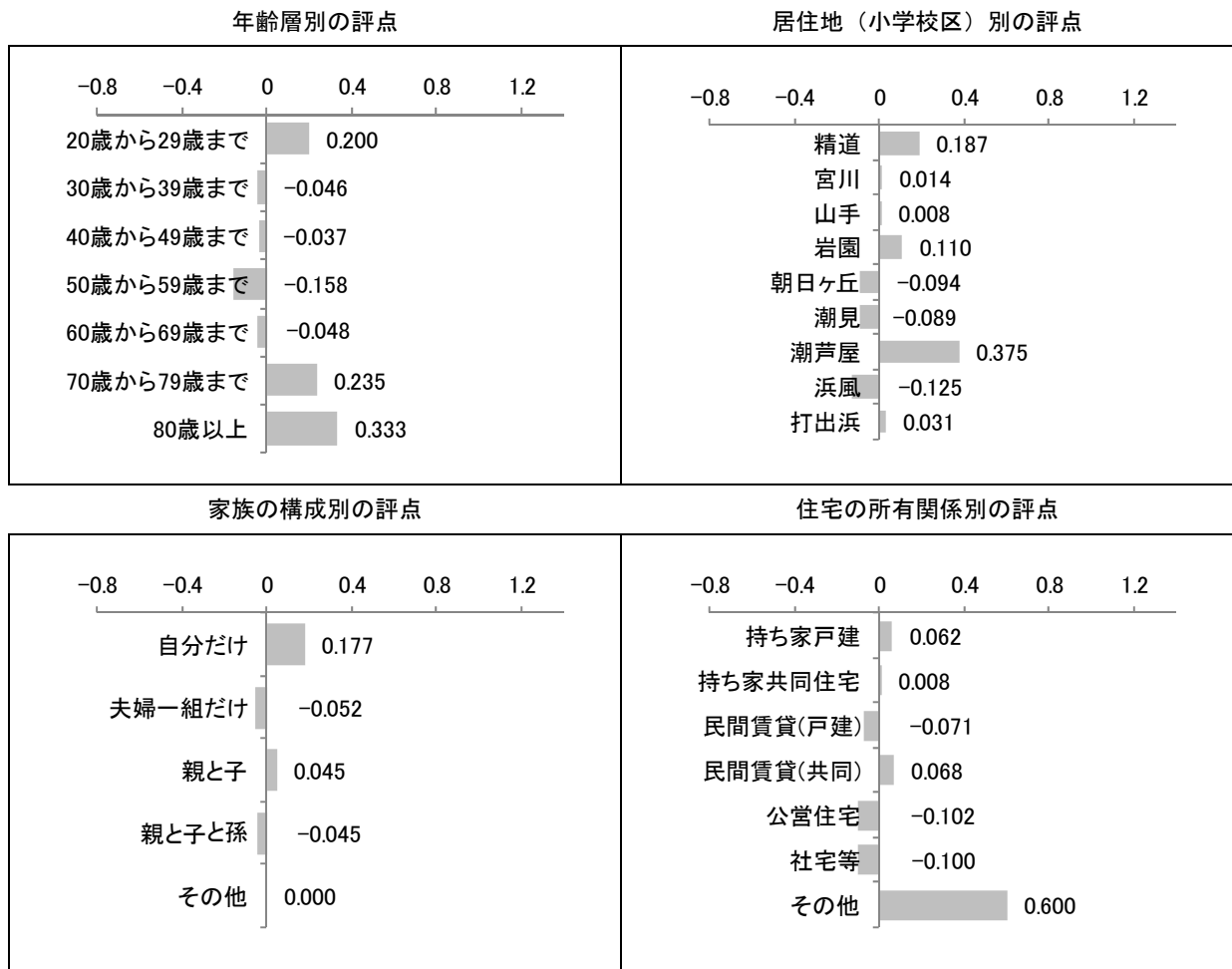


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 施策の継続的な改善に関すること（2件）
- 情報提供、市政の透明化に関すること（1件）

14-2 変化に対応できる柔軟な組織運営をしている

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

組織として変化に対応できる柔軟な運営ができるよう、時代の要請に応じた職員一人一人の能力を高めていくとともに、持てる力を十分に発揮することができる組織環境を整え、常に広い視野で横の連携を意識し、組織として柔軟かつ迅速に対応していけるよう取り組んでいきます。

重点施策

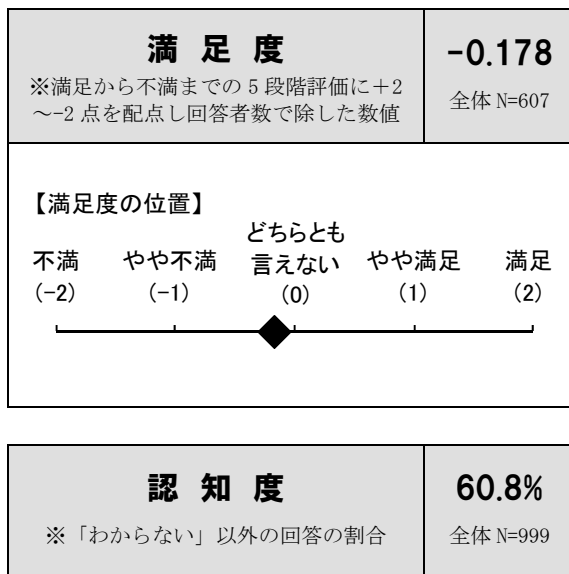
14-2-1 職員一人一人が能力の向上に努め、組織として行政サービスの向上を目指します。

14-2-2 職員一人一人が横の連携を常に意識し、組織として柔軟かつ迅速に対応します。

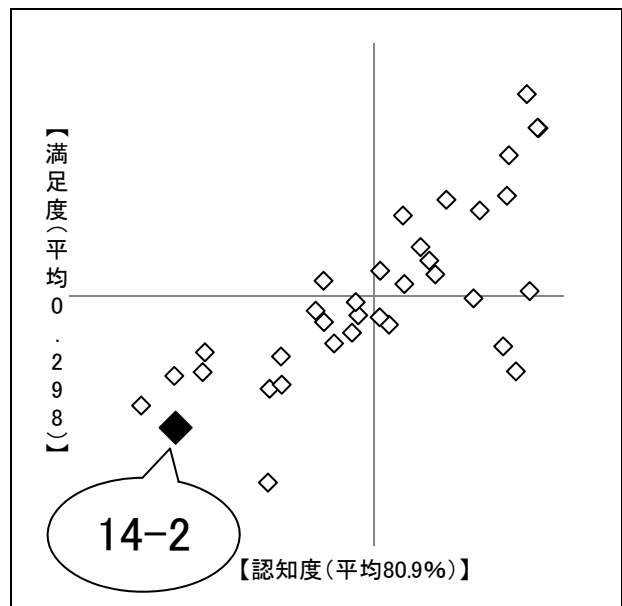
14-2-3 職員一人一人が公正の確保、法令遵守はもとより、危機管理意識の醸成を図りながら確実な組織運営を行います。

(1) 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

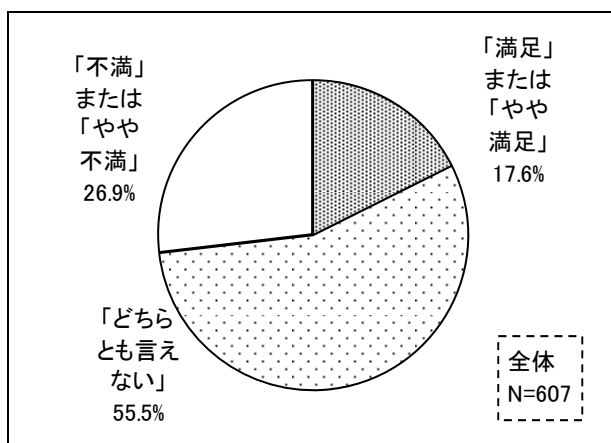


満足度と認知度から見た施策の評価

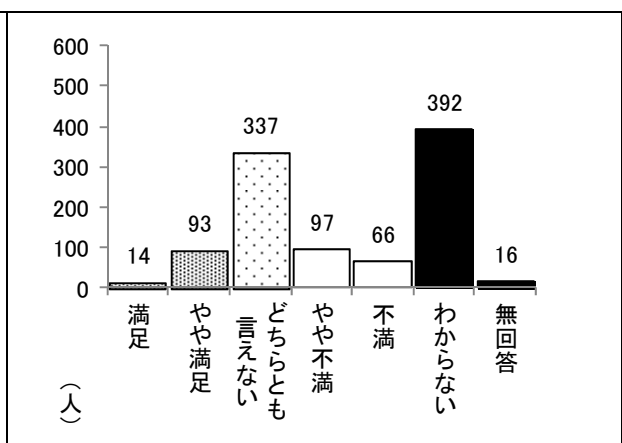


(2) 評価の割合、分布状況

評価の割合

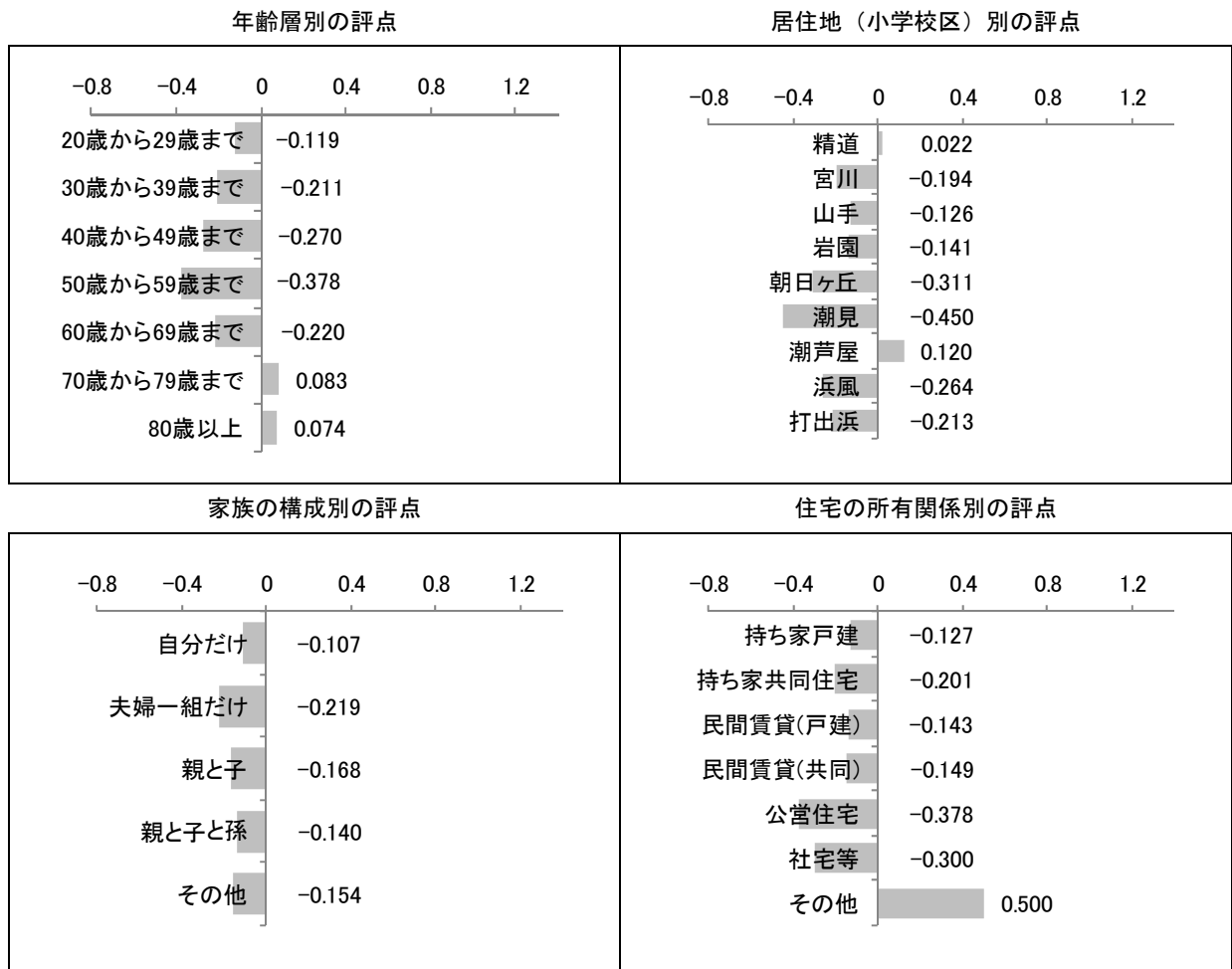


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 柔軟かつ迅速な住民対応に関すること（10件）
- 市職員の資質向上に関すること（10件）
- 公正かつ適切な事務の遂行に関すること（3件）
- 職員能力の向上と市民サービスへの反映に関すること（2件）

15-1 様々な資源を有効に活用している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

様々な資源を有効に活用していくため、芦屋の個性や魅力を生かし、高める取組を進めるとともに、市民の力、民間の力をまちづくりのために有効に取り込むための取組を進めます。

重点施策

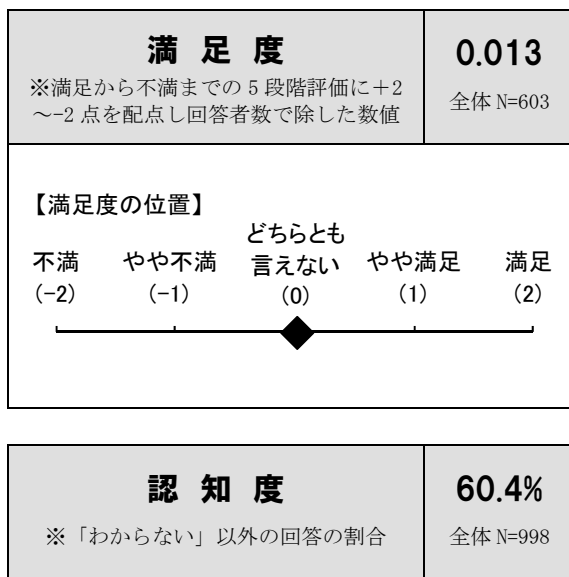
15-1-1 芦屋の個性や魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

15-1-2 市民力や民間の力を有効に取り込み、行政の活力の向上を目指します。

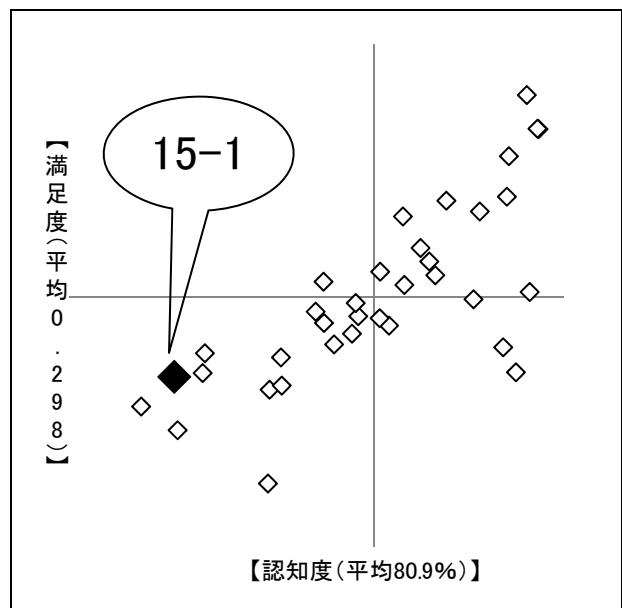
15-1-3 保有する施設や土地などの資産を有効に活用します。

（1）施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

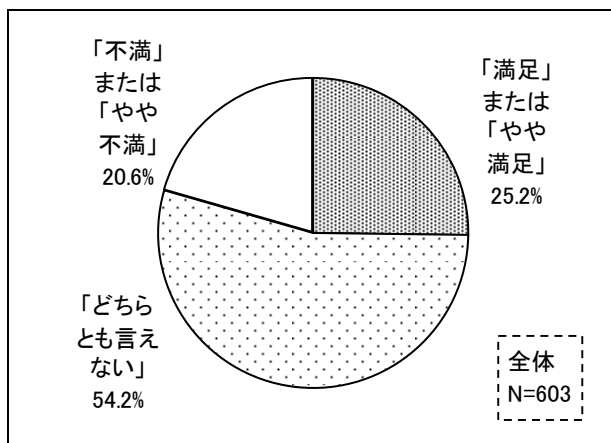


満足度と認知度から見た施策の評価

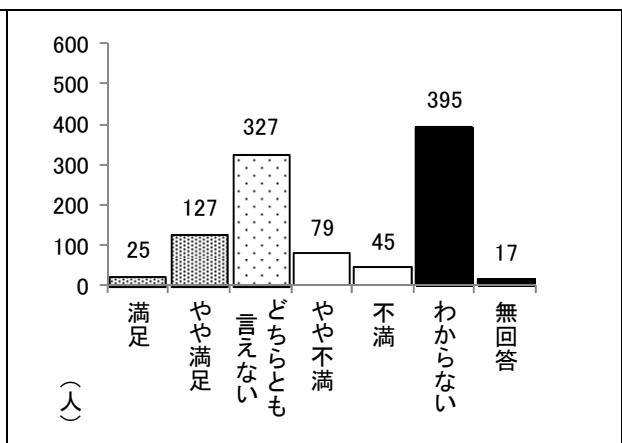


（2）評価の割合、分布状況

評価の割合

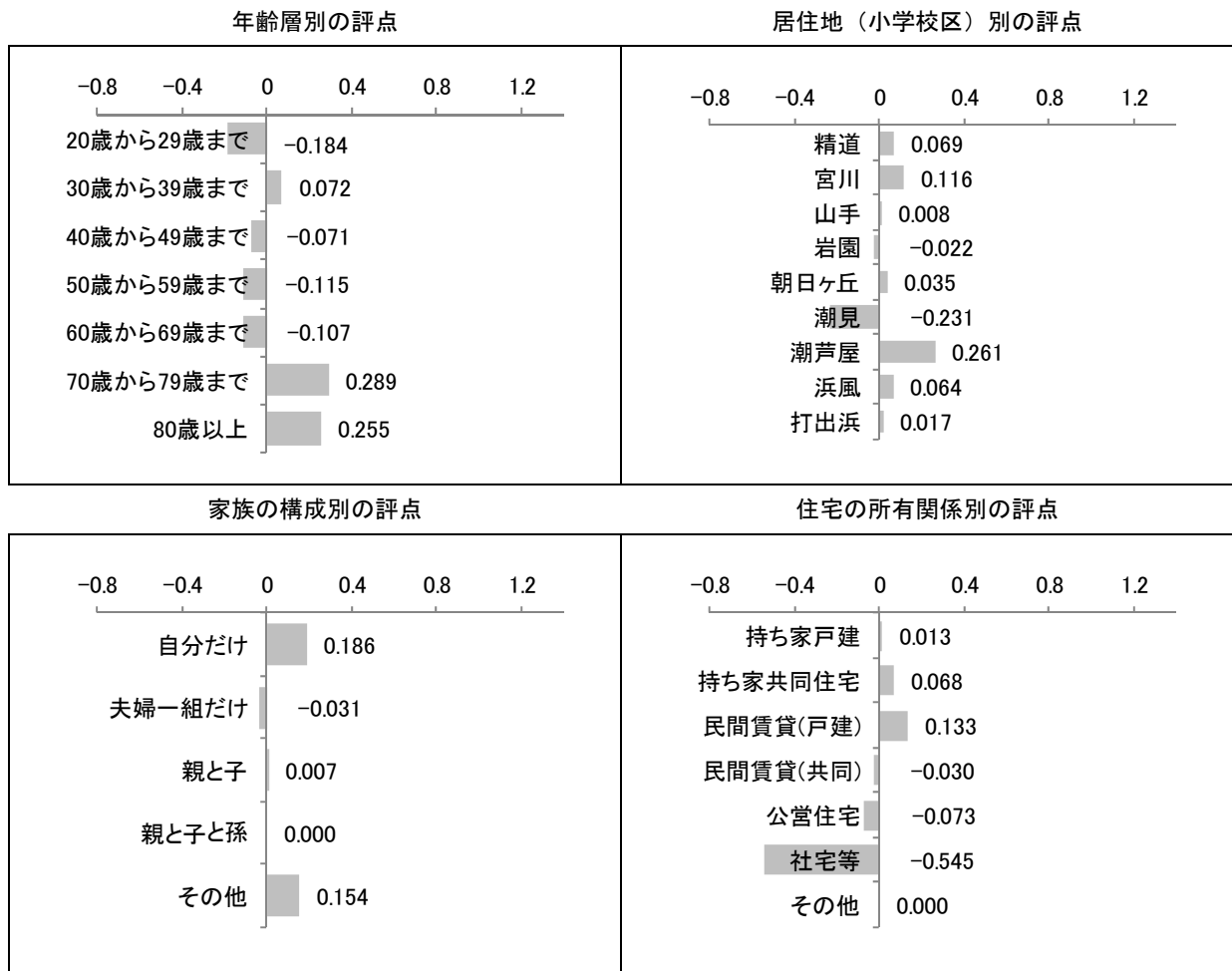


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

- 保有する資産の有効活用に関すること（5件）
- 個性や魅力の向上に関すること（2件）
- 市民や民間事業者の活力導入に関すること（1件）

15-2 歳入・歳出の構造を改善している

【参考】前期5年の取組の方向性（基本計画より）

歳入と歳出の構造を改善するよう、市としての仕事や役割を検証しながら公共サービスの再構築に取り組むとともに、様々な課題を解決しながら、歳入を確保し、歳出を削減するための取組を進めます。

重点施策

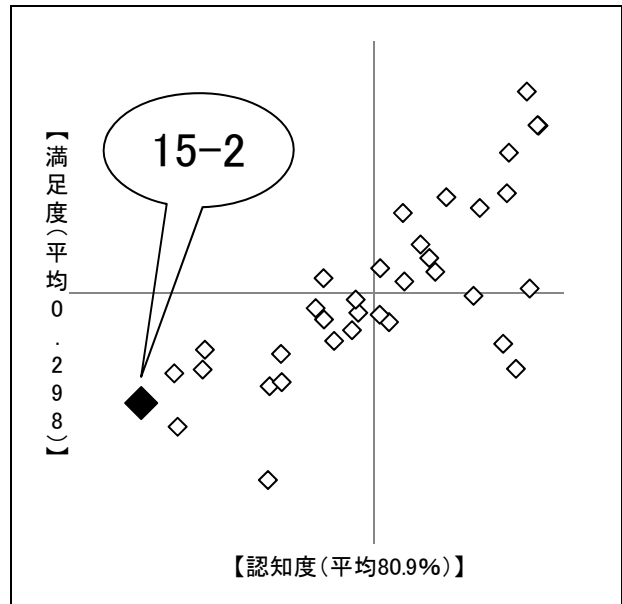
- 15-2-1 本来、市として果たすべき仕事や役割を検証し、公共サービスの再構築に取り組みます。
- 15-2-2 財政健全化のための取組を進めます。

（１） 施策のポジションと評価の指標値

評価の指標値

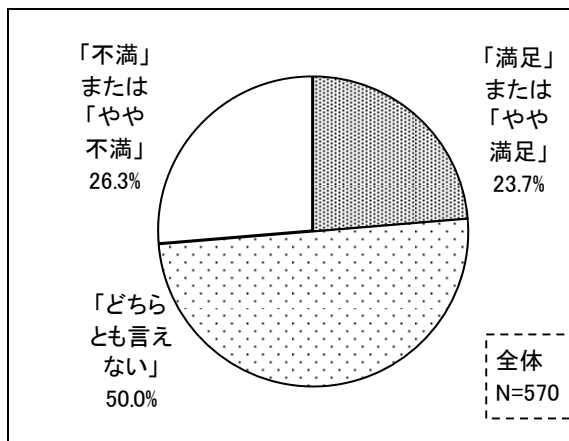


満足度と認知度から見た施策の評価

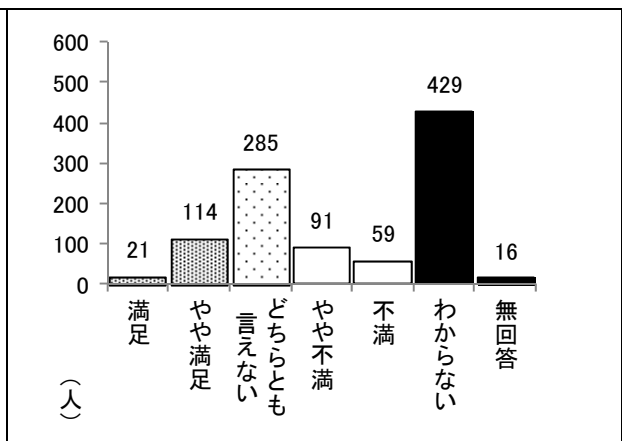


（２） 評価の割合、分布状況

評価の割合

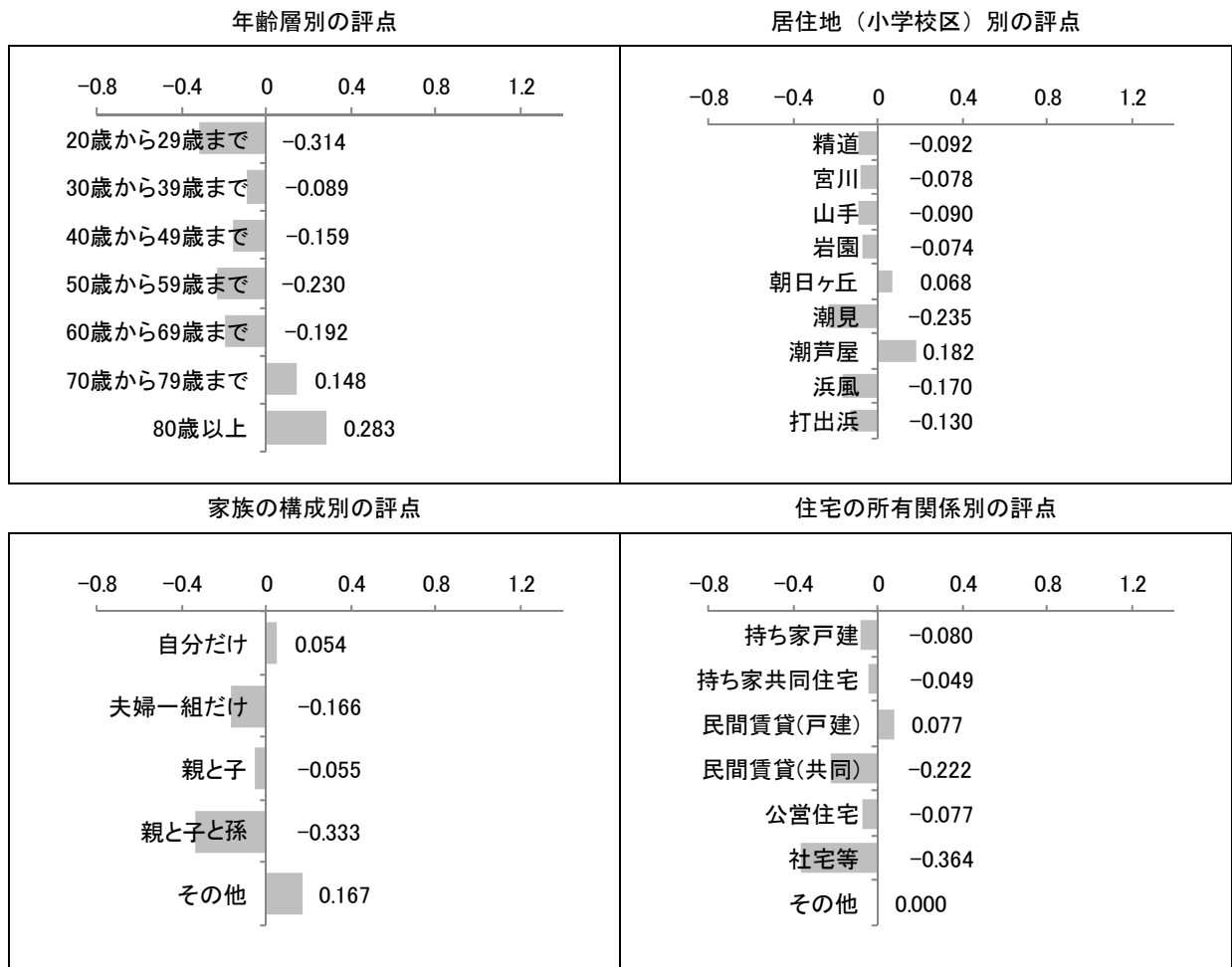


回答の分布



※「わからない」と「無回答」を除く

(3) 属性別の評点（満足度）



(4) 自由記述欄の意見

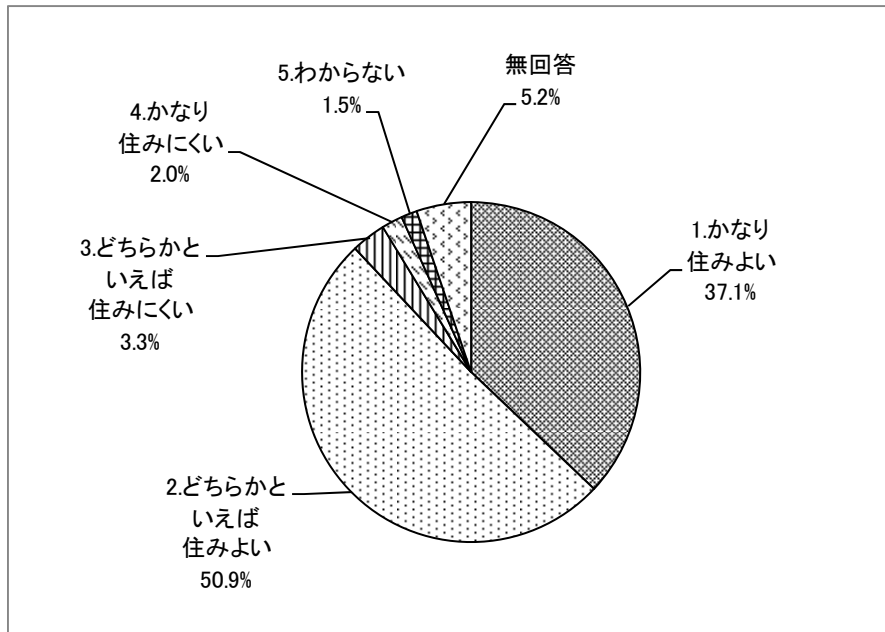
- 人件費の削減に関すること（8件）
- 財政の健全化に関すること（3件）
- 既存の行政サービスの検証・再構築に関すること（2件）

Ⅲ. 地域の住み心地、生活環境

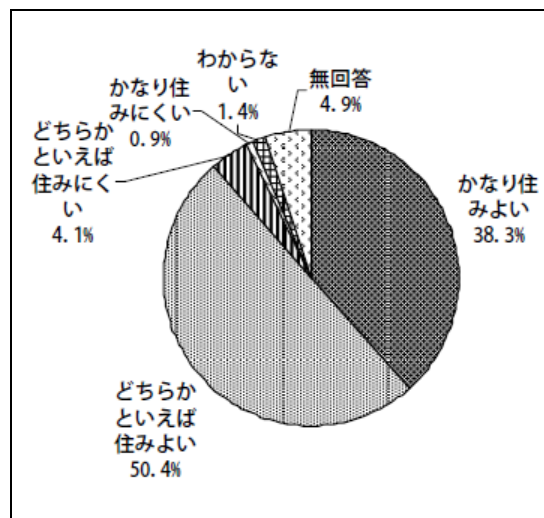
問3 あなたは、現在お住まいになっている地域(町や学校区など)を、住みよいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで○を付けてください。

- ・ 「1. かなり住みよい」と「2. どちらかといえば住みよい」を合わせた割合は88.0%で、前回(平成20年度調査)の88.7%からわずかながら低下している。
- ・ 一方で、「4. かなり住みにくい」と答えた人の割合は0.9%から2.0%へと上昇している。

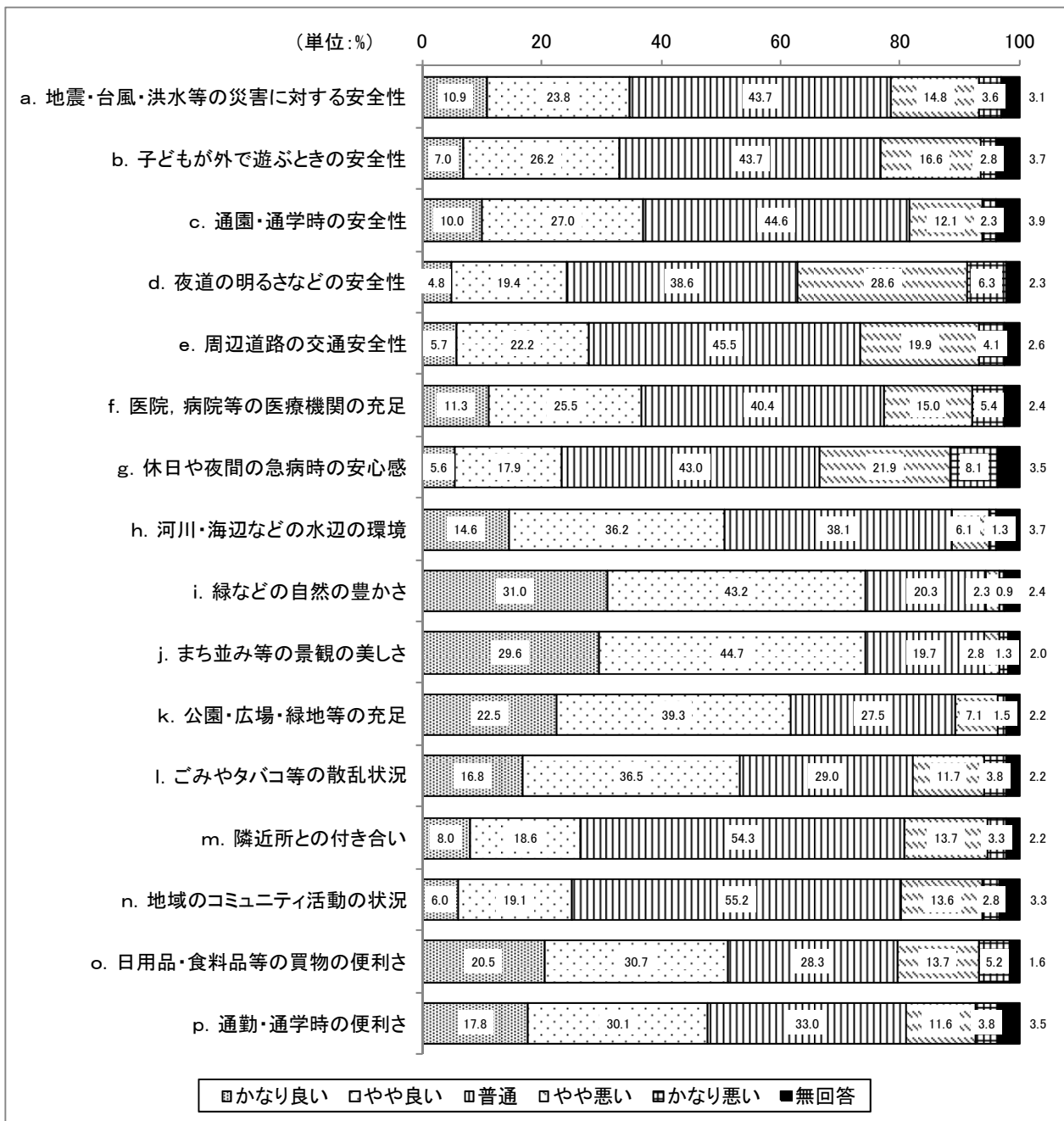
住み良さの評価 [N=1,015]



住み良さの評価(平成20年度調査) [N=1,811]

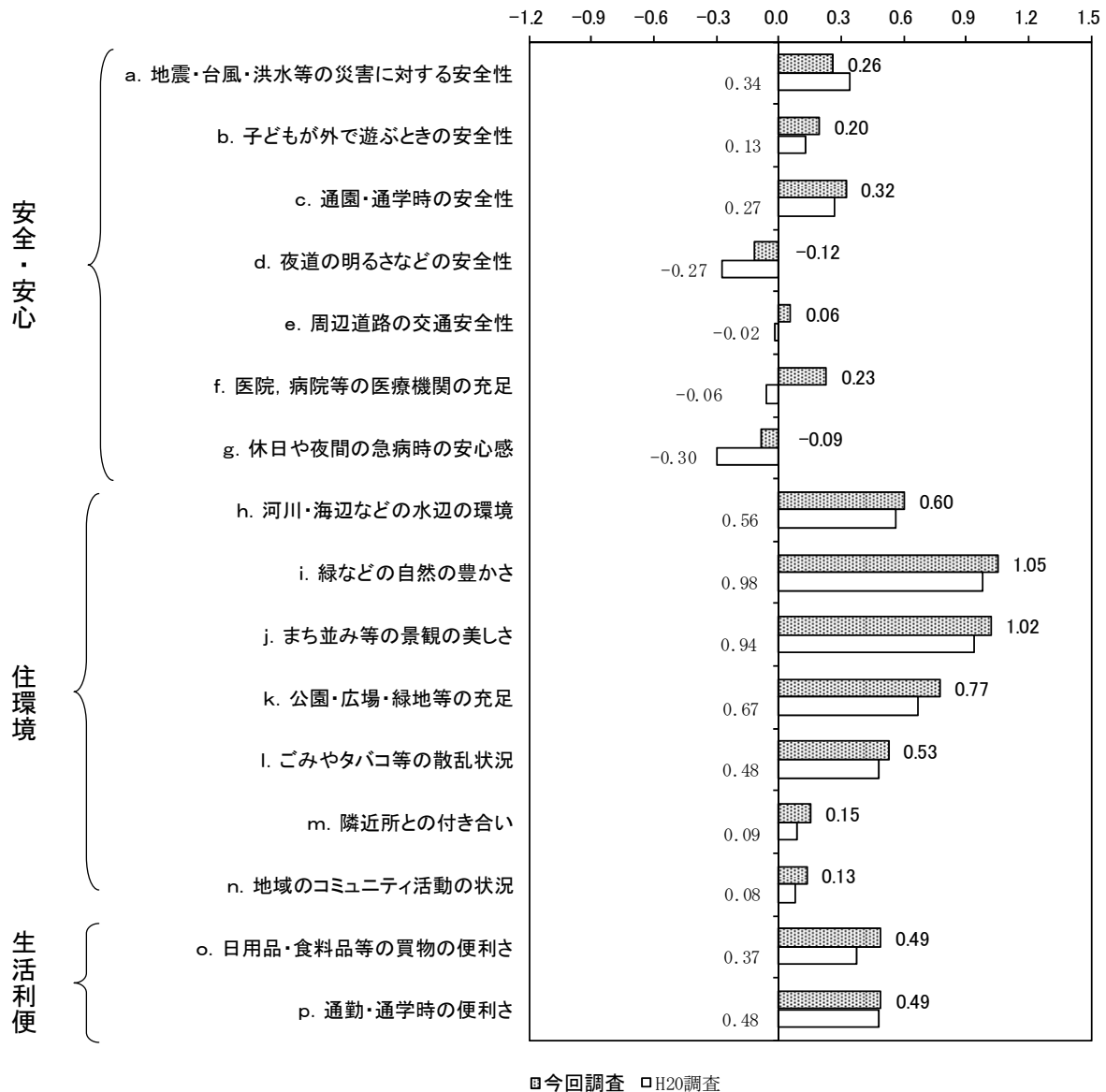


問4 あなたは、現在お住まいになっている地域の生活環境をどのように感じておられますか。
以下のaからpまでの16項目について、それぞれ1～5の数字を選び、1つだけ○を付けてください。



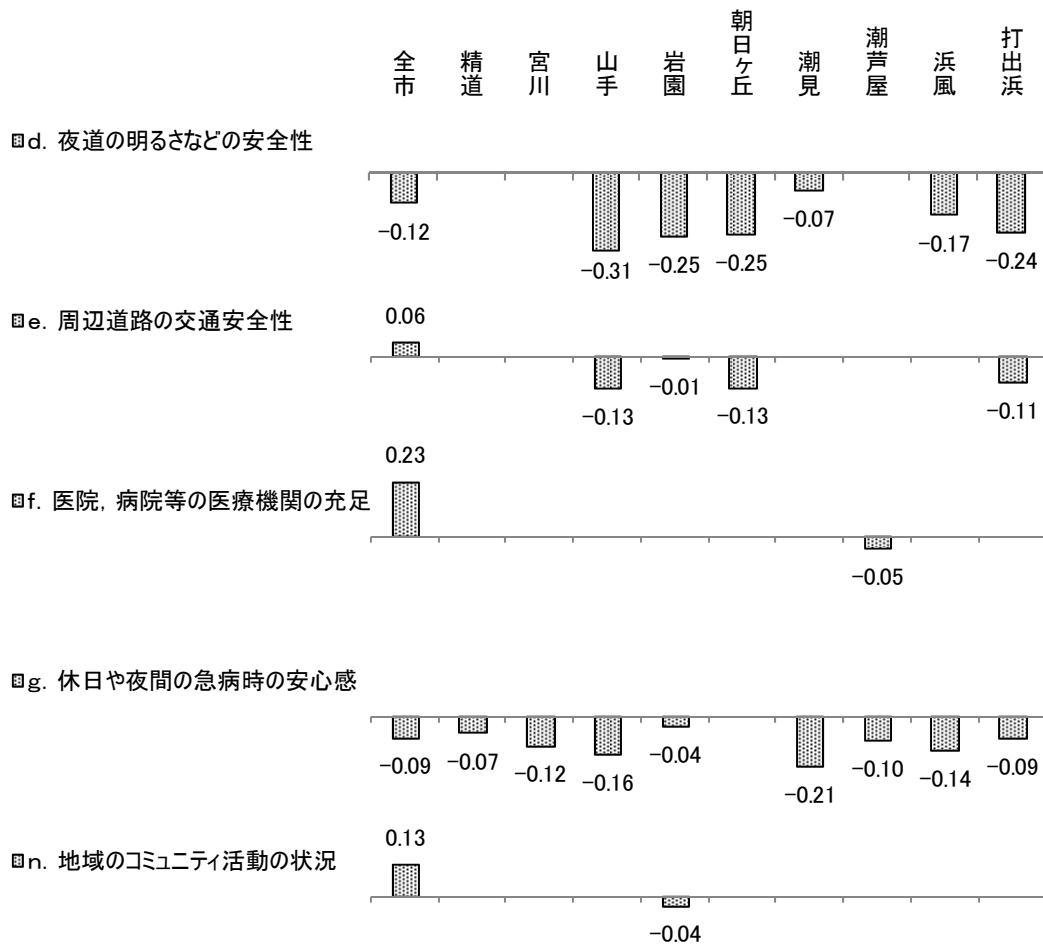
○評価の点数化

- ・項目ごとに「かなり良い」を+2点、「やや良い」を+1点、「普通」を0点、「やや悪い」を-1点、「かなり悪い」を-2点として点数を算出した。



- ・地域の生活環境について、「住環境」の 카테고리では「h. 河川・海辺などの水辺の環境」、「i. 緑などの自然の豊かさ」、「j. まち並み等の景観の美しさ」、「k. 公園・広場・緑地等の充足」の評価が高くなっている。
- ・一方で、「安全・安心」の 카테고리では「d. 夜道の明るさなどの安全性」、「g. 休日や夜間の急病時の安心感」の評価が低くなっている。
- ・平成20年度調査との比較では、わずかながら全体的に評価が高くなっているが、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」のみ評価が下がっている。

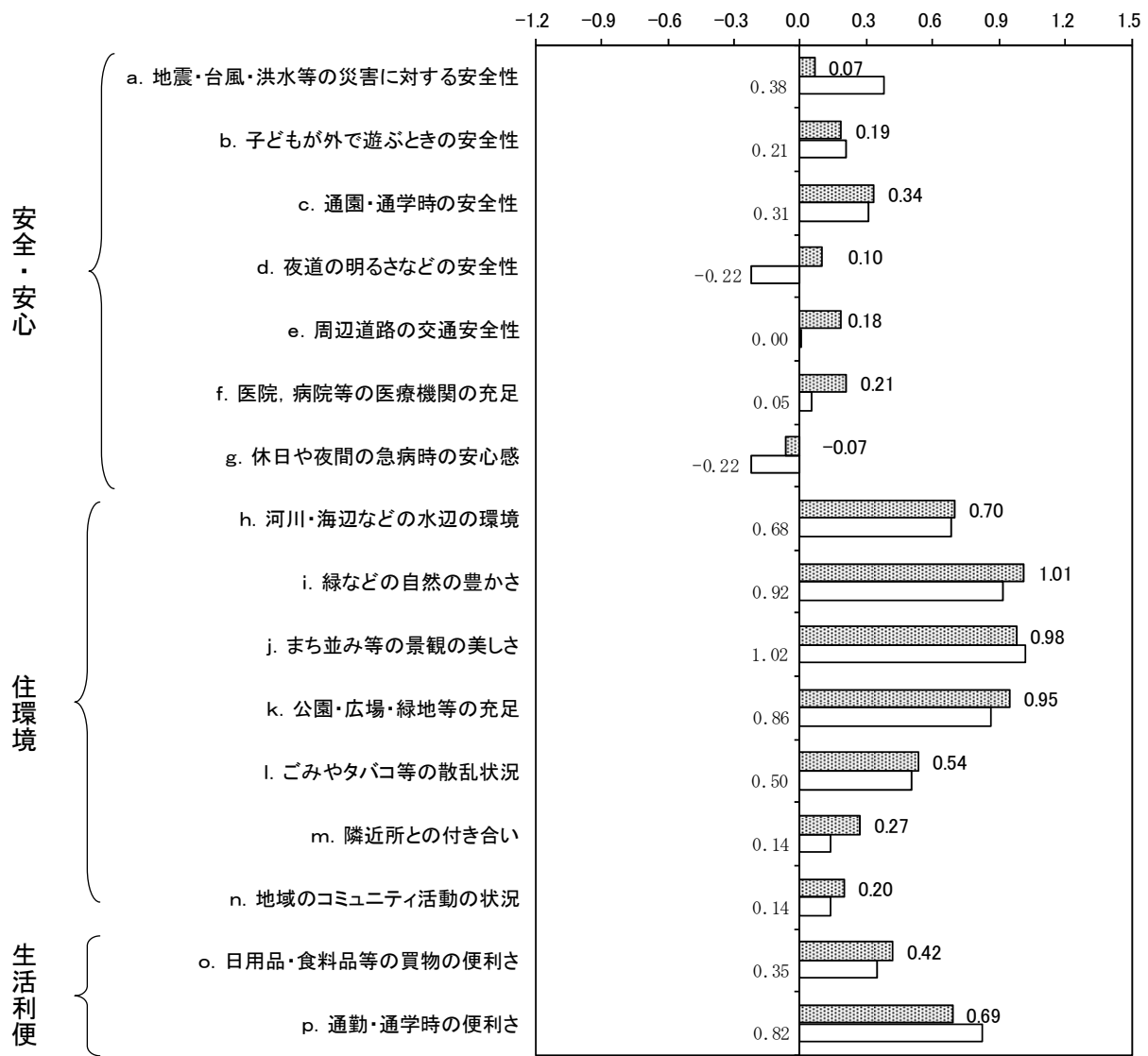
○マイナス評価一覧



- ・ 居住地別に評価を点数化し、マイナス評価となった項目を一覧にまとめた。
- ・ すべての居住地でプラス評価となる項目は掲載していない。前回調査で山手地区のみマイナス評価だった「b. 子どもが外で遊ぶときの安全性」と、朝日ヶ丘・潮芦屋地区がマイナス評価だった「o. 日用品・食料品等の買物の便利さ」は、すべての居住地でプラスに転じている。
- ・ 一方で、今回新たに「n. 地域のコミュニティ活動の状況」が岩園地区でマイナス評価に転じている。
- ・ その他の4項目では、すべてマイナス評価の居住地が減少している。

○居住地別

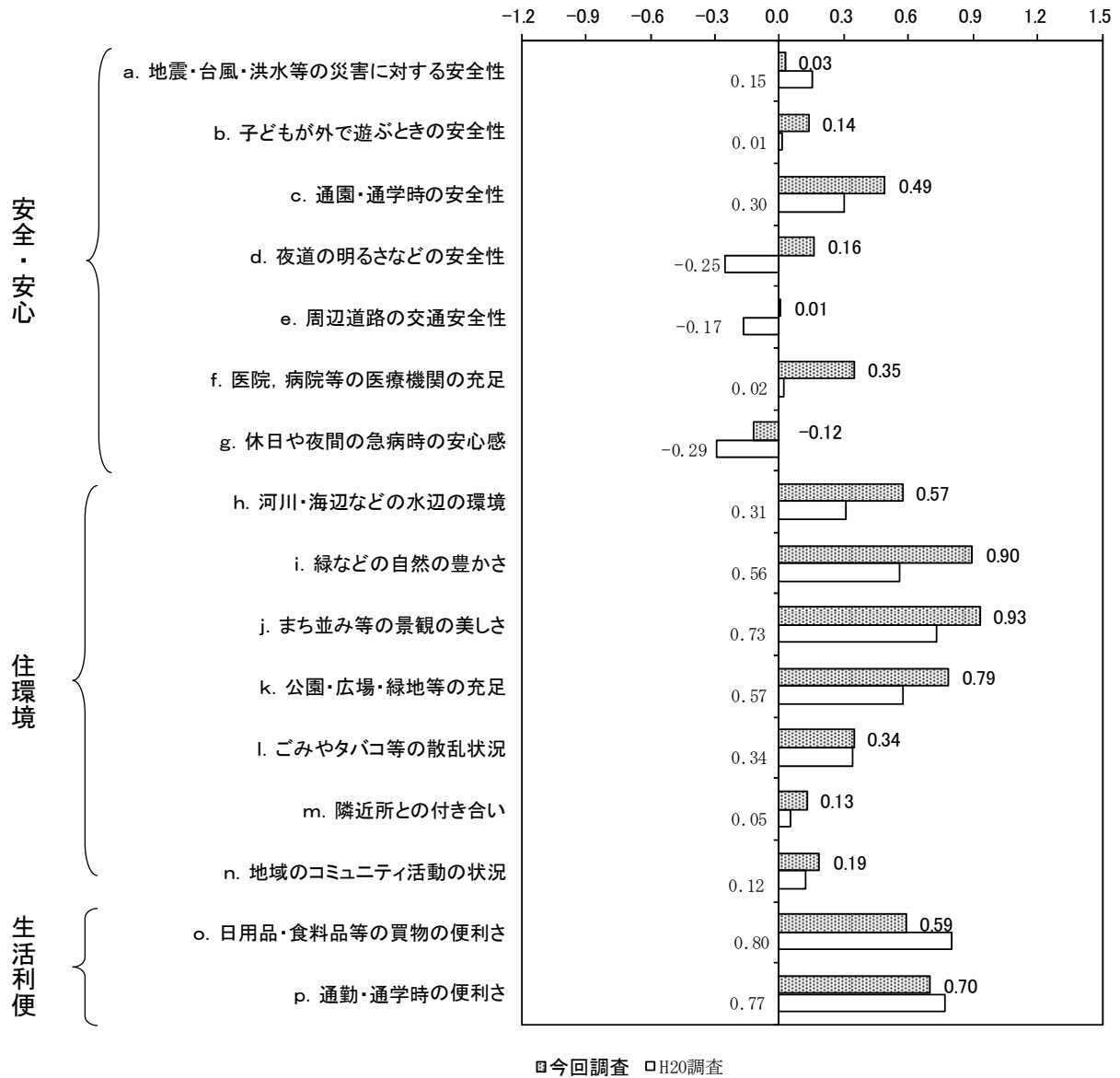
<精道>



■今回調査 □H20調査

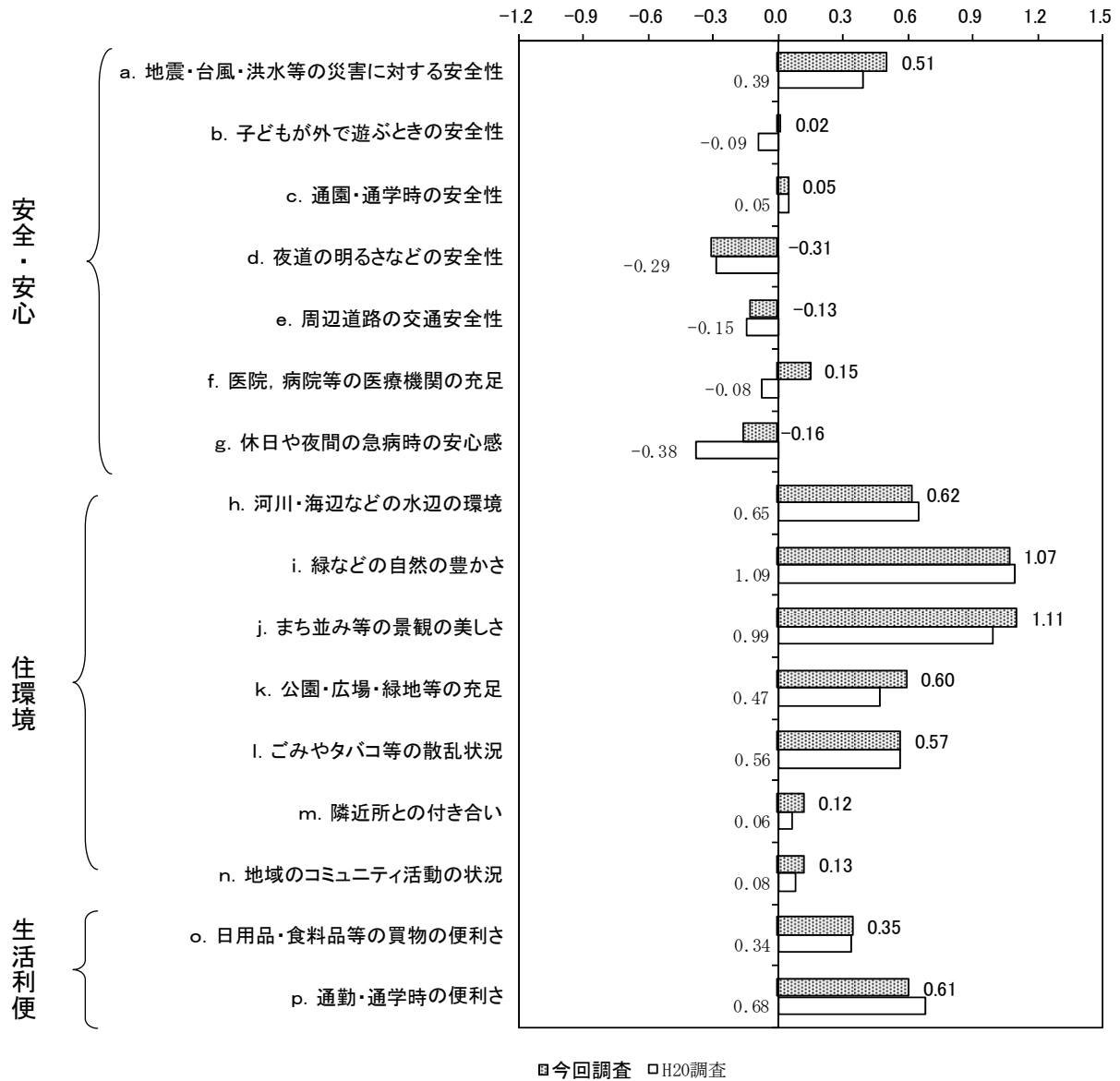
- ・平成20年度調査に比べると、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「b. 子どもが外で遊ぶときの安全性」、「j. まち並み等の景観の美しさ」、「p. 通勤・通学時の便利さ」の4項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「d. 夜道の明るさなどの安全性」がプラスに転じている。

<宮川>



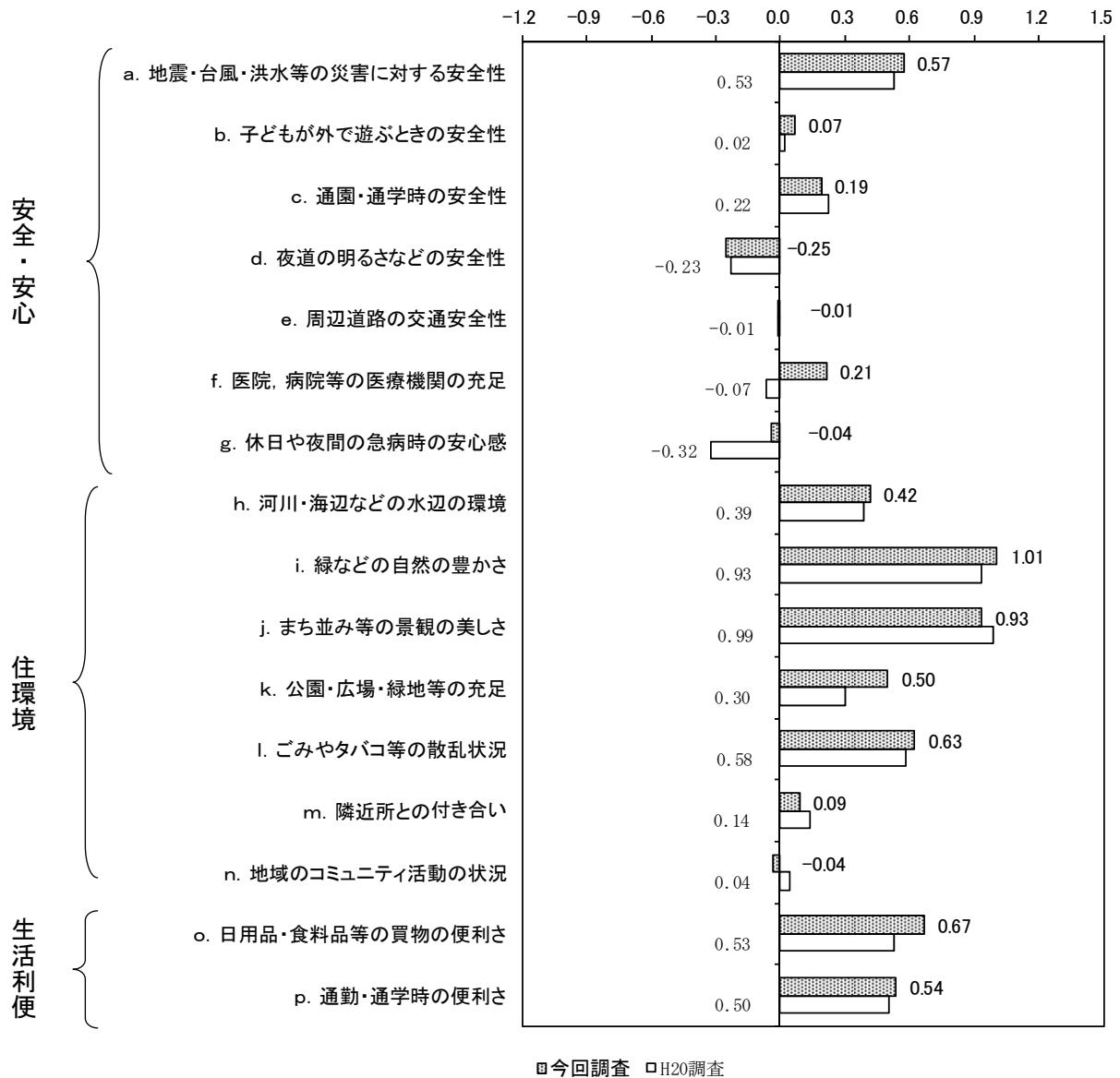
- ・平成20年度調査に比べると、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「o. 日用品・食料品等の買物の便利さ」、「p. 通勤・通学時の便利さ」の3項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「d. 夜道の明るさなどの安全性」と「e. 周辺道路の交通安全性」がプラスに転じている。

<山手>



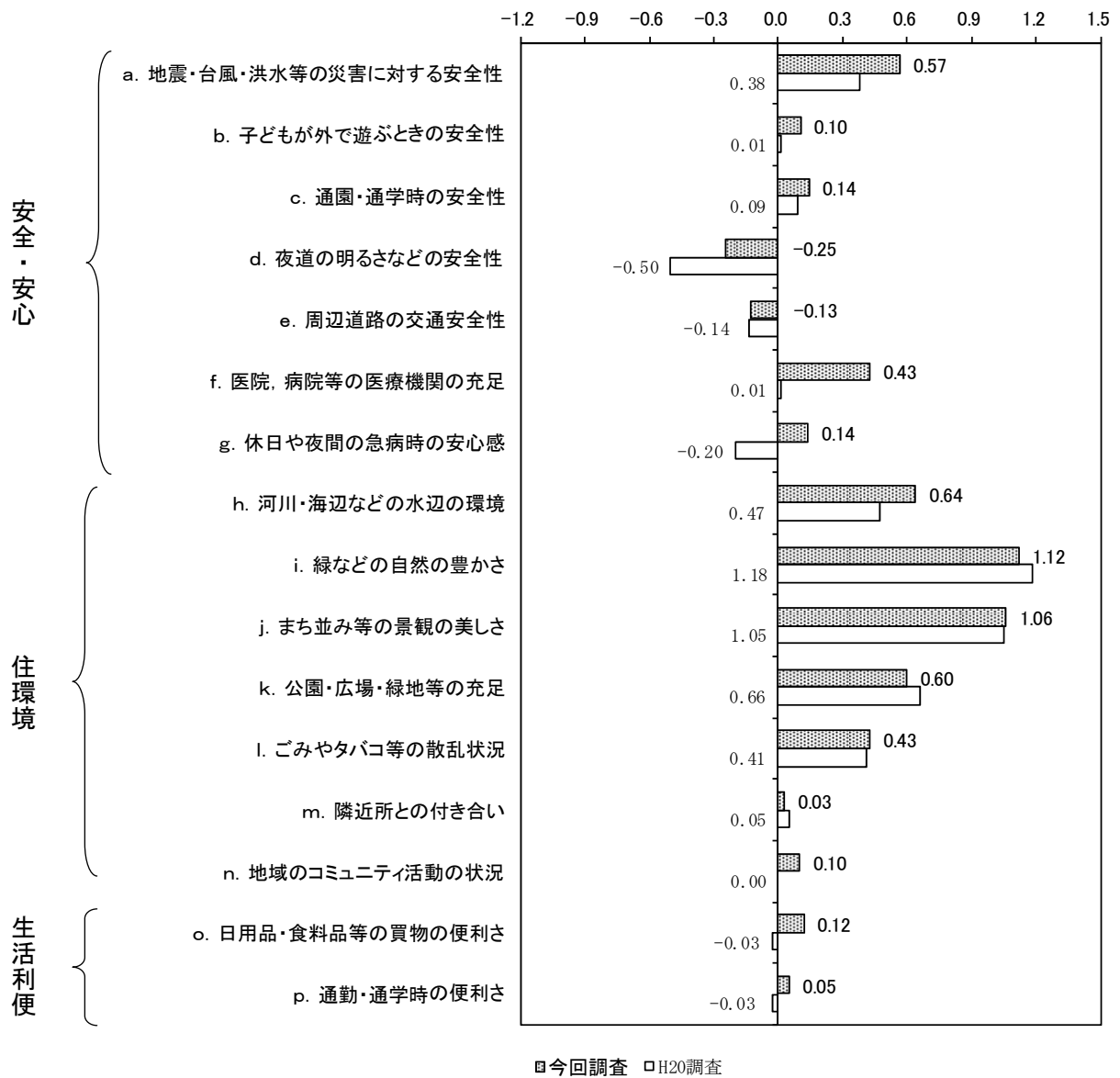
- ・平成20年度調査に比べると、「d. 夜道の明るさなどの安全性」、「h. 河川・海辺などの水辺の環境」、「i. 緑などの自然の豊かさ」、「p. 通勤・通学時の便利さ」の4項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「b. 子どもが外で遊ぶときの安全性」と「f. 医院、病院等の医療機関の充足」がプラスに転じている。

<岩園>



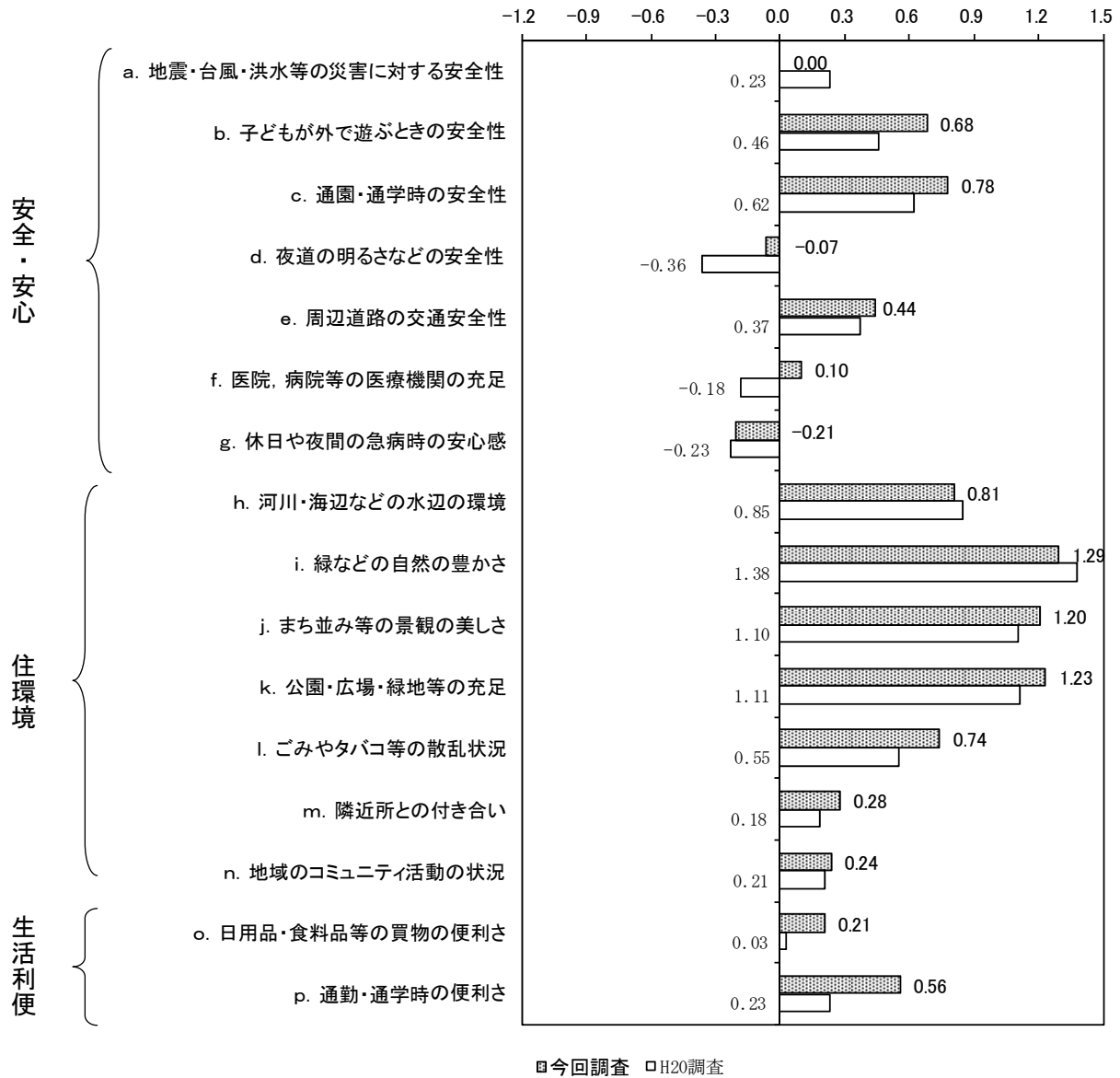
- ・平成20年度調査に比べると、「c. 通園・通学時の安全性」、「d. 夜道の明るさなどの安全性」、「j. まち並み等の景観の美しさ」、「m. 隣近所との付き合い」、「n. 地域のコミュニティ活動の状況」の5項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「f. 医院、病院等の医療機関の充足」がプラスに転じ、「g. 休日や夜間の急病時の安心感」もかなり改善している。

<朝日ヶ丘>



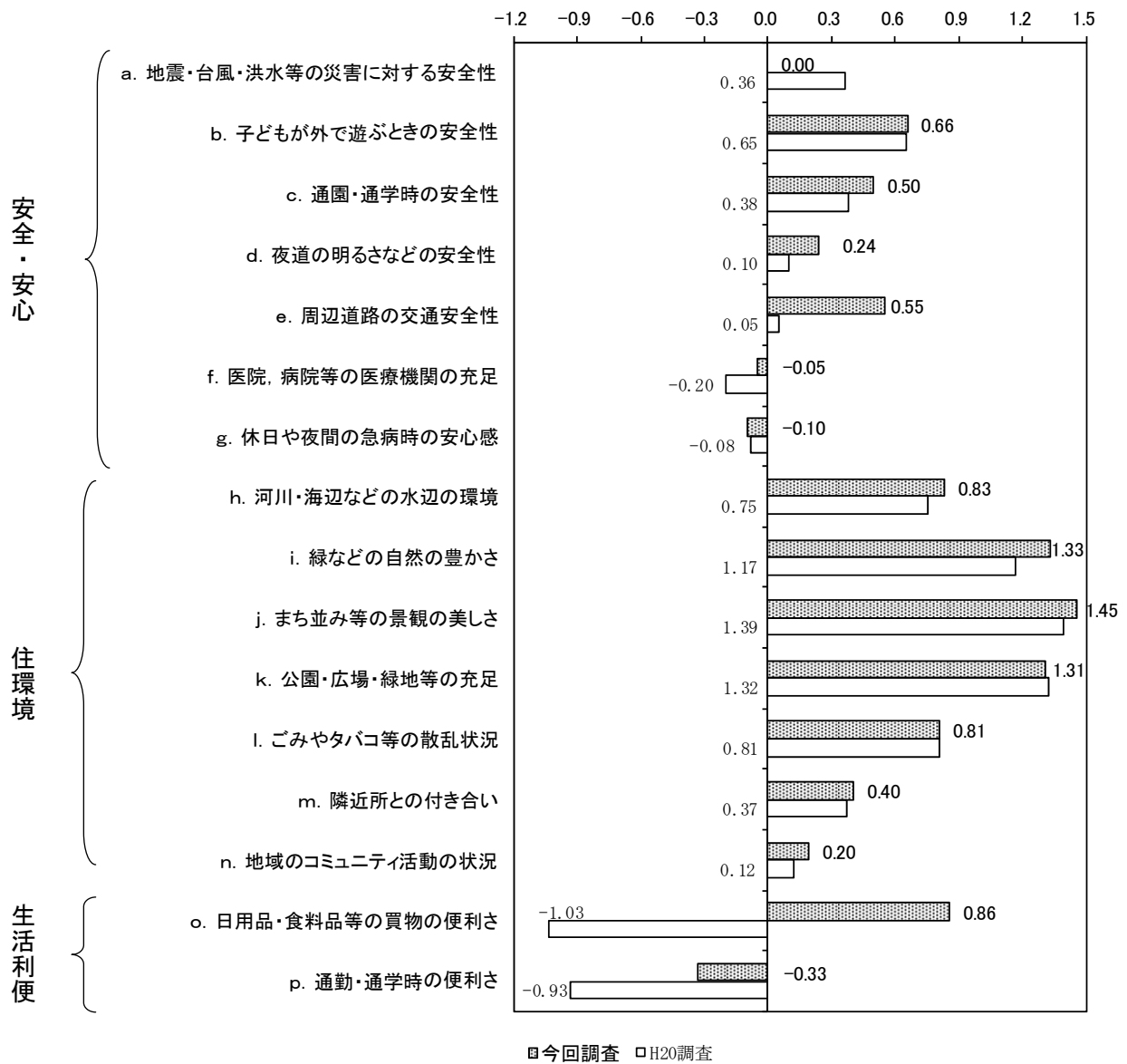
- ・平成20年度調査に比べると、「i. 緑などの自然の豊かさ」、「k. 公園・広場・緑地等の充足」、「m. 隣近所との付き合い」の3項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「g. 休日や夜間の急病時の安心感」、「o. 日用品・食品等の買い物の便利さ」、「p. 通勤・通学時の便利さ」がプラスに転じている。

< 潮見（潮芦屋を除く） >



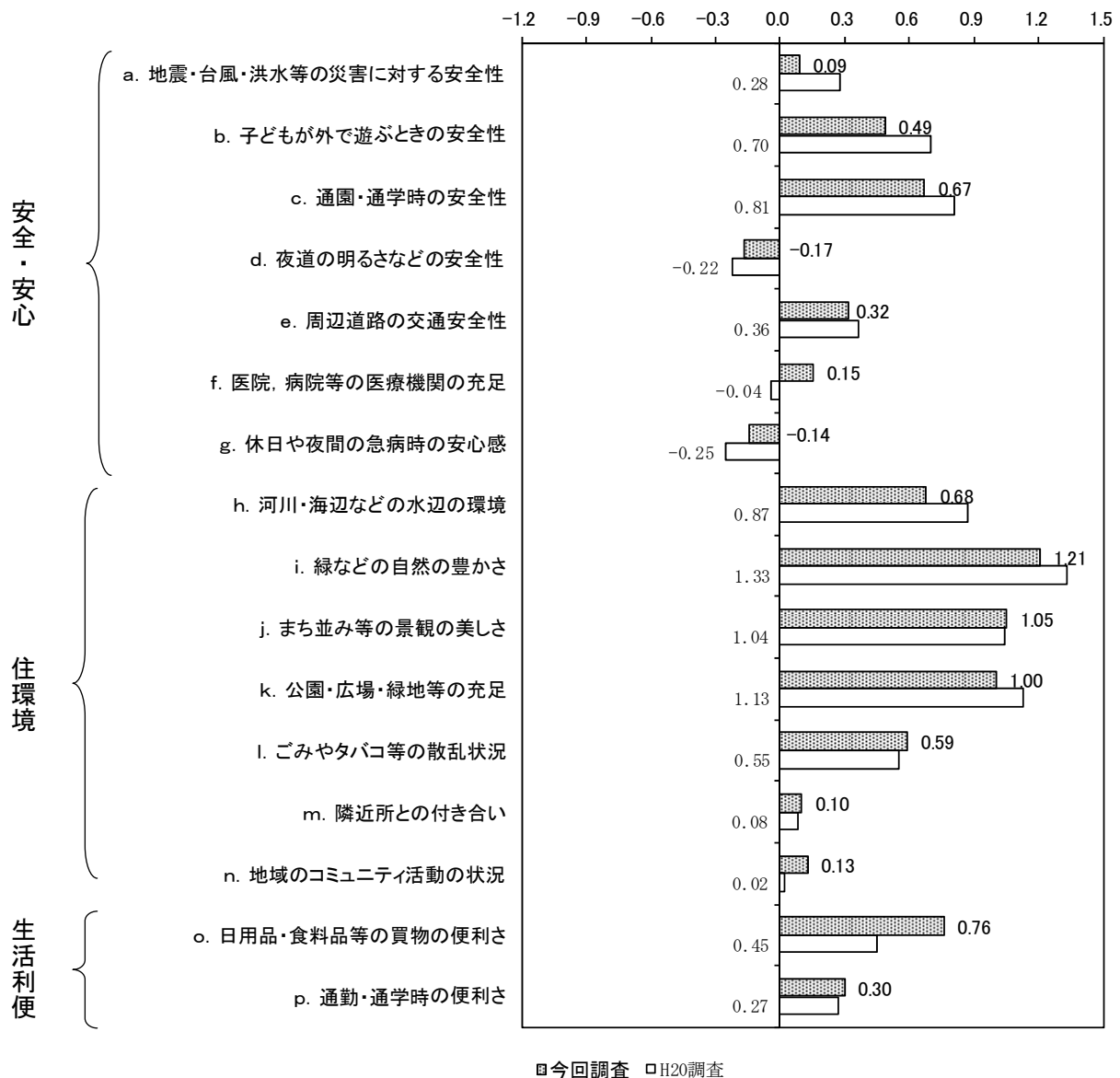
- ・平成 20 年度調査に比べると、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「h. 河川・海辺などの水辺の環境」、「i. 緑などの自然の豊かさ」の 3 項目で満足度が下がっている。
- ・平成 20 年度調査で満足度がマイナスだった「f. 医院、病院等の医療機関の充足」がプラスに転じている。

<潮芦屋>



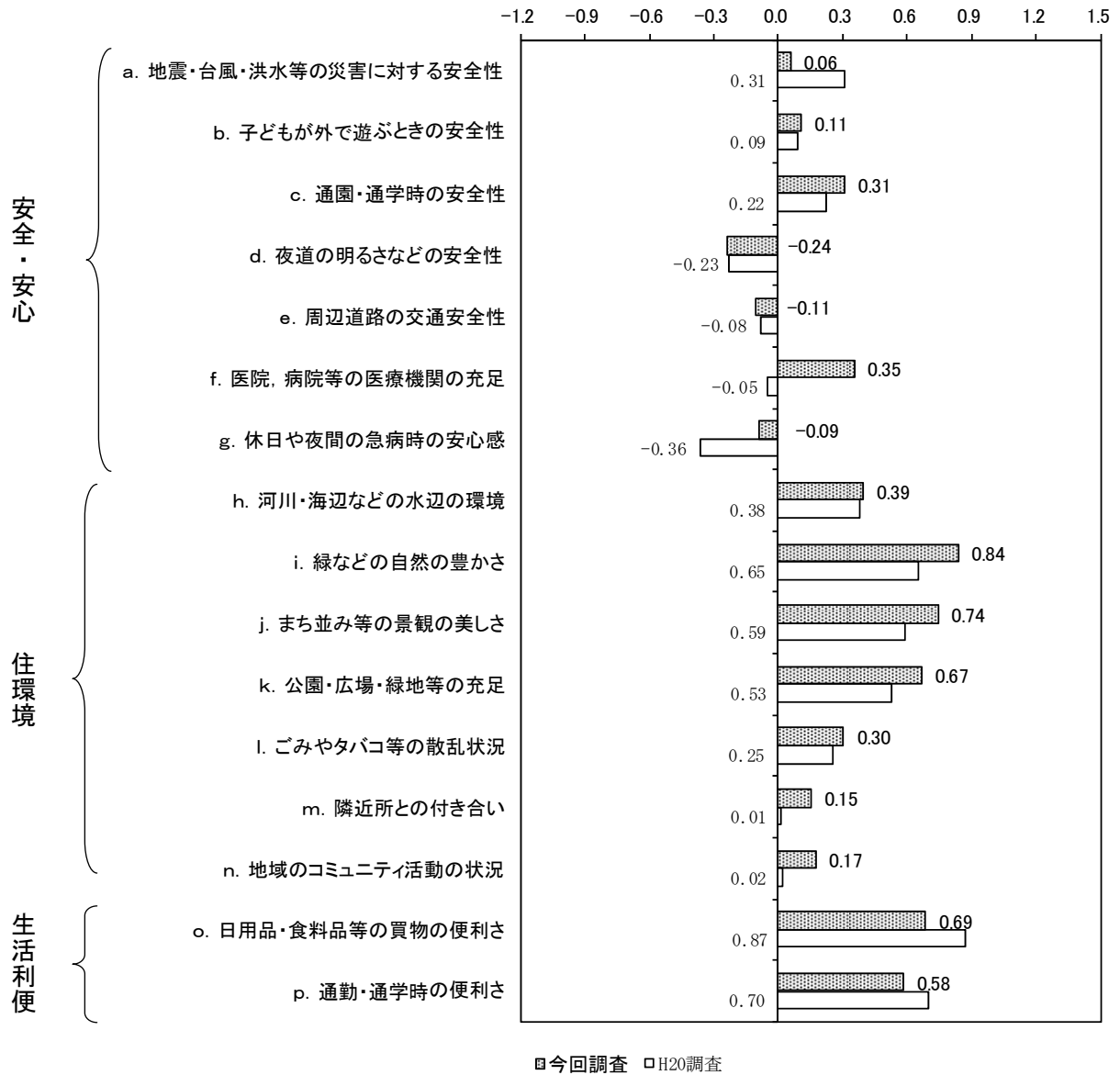
- ・平成20年度調査に比べると、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「g. 休日や夜間の急病時の安心感」、「k. 公園・広場・緑地等の充足」の3項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「o. 日用品・食品等の買い物の便利さ」がプラスに転じている。

<浜風>



- ・平成20年度調査に比べると、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「b. 子どもが外で遊ぶときの安全性」、「c. 通園・通学時の安全性」、「e. 周辺道路の交通安全性」、「h. 河川・海辺などの水辺の環境」、「i. 緑などの自然の豊かさ」、「k. 公園・広場・緑地等の充足」の7項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「f. 医院、病院等の医療機関の充足」がプラスに転じている。

<打出浜>



- ・平成20年度調査に比べると、「a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性」、「d. 夜道の明るさなどの安全性」、「e. 周辺道路の交通安全性」、「o. 日用品・食料品等の買物の便利さ」、「p. 通勤・通学時の便利さ」の5項目で満足度が下がっている。
- ・平成20年度調査で満足度がマイナスだった「f. 医院、病院等の医療機関の充足」がプラスに転じている。

IV. 回答者の基本属性

1 現在、どちらにお住まいですか。

地区名	回答	構成比
精道	140	13.8%
宮川	120	11.8%
山手	187	18.4%
岩園	138	13.6%
朝日ヶ丘	102	10.0%
潮見	74	7.3%
潮芦屋	43	4.2%
浜風	80	7.9%
打出浜	106	10.4%
無回答	25	2.5%
総計	1,015	100.0%

2 現在のお住まいに住みはじめてから、何年たちますか。

年数	回答	構成比
3年未満	171	16.8%
3年以上5年未満	98	9.7%
5年以上10年未満	170	16.7%
10年以上20年未満	243	23.9%
20年以上30年未満	135	13.3%
30年以上	181	17.8%
無回答	17	1.7%
総計	1,015	100.0%

3 芦屋市内では、通算で何年暮らしておられますか。

年数	回答	構成比
3年未満	110	10.8%
3年以上5年未満	61	6.0%
5年以上10年未満	134	13.2%
10年以上20年未満	188	18.5%
20年以上30年未満	173	17.0%
30年以上	337	33.2%
無回答	12	1.2%
総計	1,015	100.0%

4 現在のお住まいには、何人が住んでおられますか。

人数	回答	構成比
1人	122	12.0%
2人	354	34.9%
3人	235	23.2%
4人	203	20.0%
5人	69	6.8%
6人	24	2.4%
無回答	8	0.8%
総計	1,015	100.0%

5 ご一緒に住んでおられる方々は、どのような構成ですか。

家族構成	回答	構成比
自分だけ	108	10.6%
夫婦一組だけ(一世代)	322	31.7%
親と子(二世代)	478	47.1%
親と子と孫(三世代)	64	6.3%
その他	24	2.4%
無回答	19	1.9%
総計	1,015	100.0%

6 ご一緒に住んでおられる方々に、以下の条件に当てはまる方はおられますか。(複数回答)

条件	回答
小学生までの児童	197
65歳以上の方	395
介護の必要な方	68

7 あなたのお住まいは、以下に示す形式のうち、どれに当てはまりますか。

所有関係	回答	構成比
持ち家(戸建て、長屋)	358	35.3%
持ち家(分譲マンション等)	405	39.9%
民間の賃貸住宅(戸建て、長屋)	20	2.0%
民間の賃貸住宅(マンションなどの共同住宅)	116	11.4%
県営や市営、URなど公営の賃貸住宅	79	7.8%
社宅あるいは職員住宅	20	2.0%
その他	6	0.6%
無回答	11	1.1%
総計	1,015	100.0%

8 あなたの年齢は、以下のうちどれに当てはまりますか。

年齢層	回答	構成比
20歳から29歳まで	71	7.0%
30歳から39歳まで	174	17.1%
40歳から49歳まで	195	19.2%
50歳から59歳まで	145	14.3%
60歳から69歳まで	172	16.9%
70歳から79歳まで	155	15.3%
80歳以上	91	9.0%
無回答	12	1.2%
総計	1,015	100.0%

9 あなたの性別は、以下のうちどれに当てはまりますか。

性別	回答	構成比
男	402	39.6%
女	597	58.8%
無回答	16	1.6%
総計	1,015	100.0%

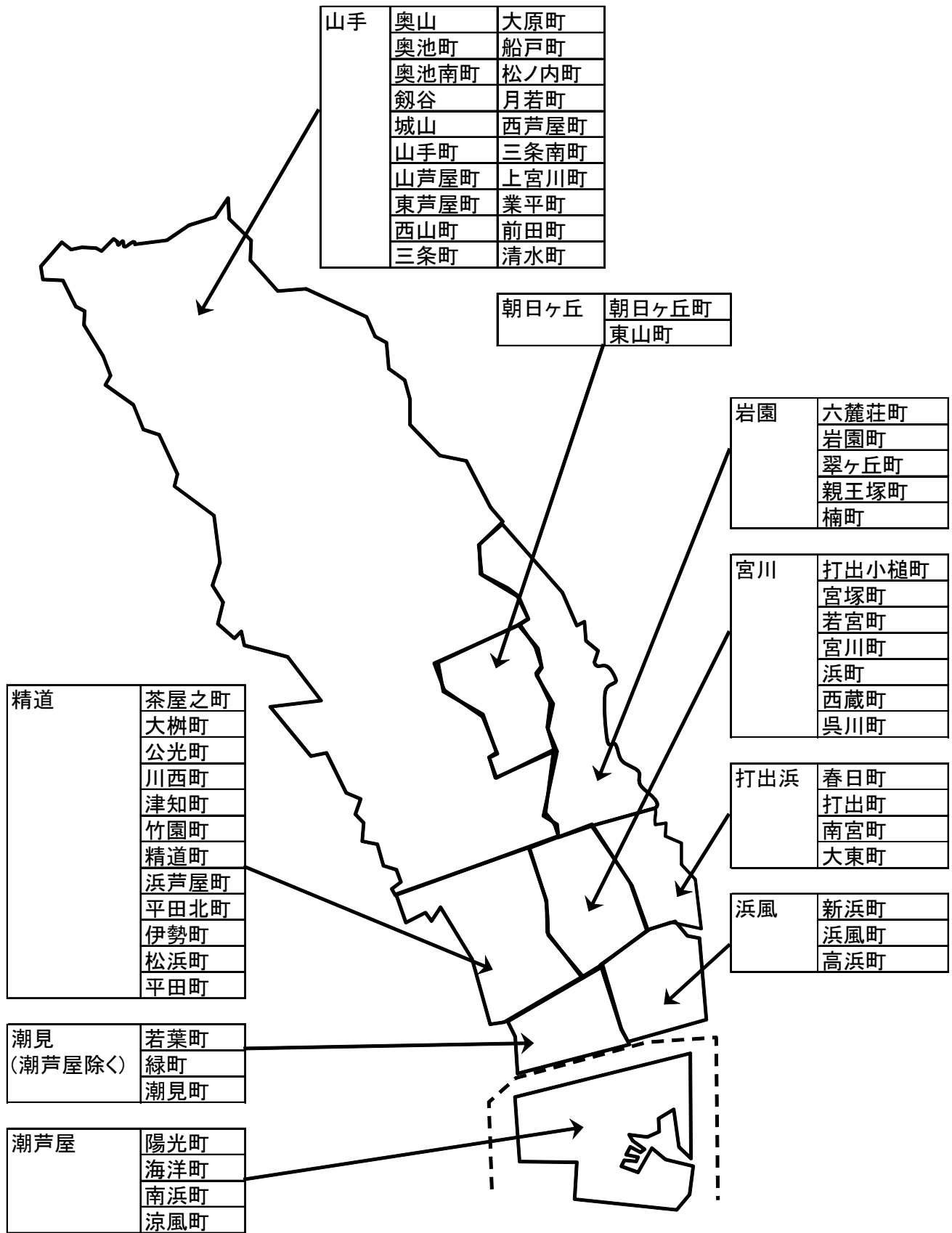
10 あなたのお仕事は、以下のうちどれに当てはまりますか。

職業	回答	構成比
営業主・会社経営	69	6.8%
家業手伝い(農林漁業を含む)	8	0.8%
自由業(弁護士・開業医・個人教師等)	32	3.2%
正社員・正職員などの常勤	246	24.2%
公務員	35	3.4%
派遣職員・アルバイト・パートなど	110	10.8%
専業主婦・主夫	217	21.4%
学生	22	2.2%
無職(年金生活者)	221	21.8%
無職(年金生活者を除く)	27	2.7%
その他	13	1.3%
無回答	15	1.5%
総計	1,015	100.0%

11 お勤め又は通学されている方におたずねします。主な勤め先(又は通学先)の場所をお答えください。

通勤・通学先	回答	構成比
自宅(専業主婦・主夫・無職を除く)	33	3.3%
芦屋市内	83	8.2%
神戸市	125	12.3%
芦屋市と神戸市を除く兵庫県	84	8.3%
大阪市	136	13.4%
大阪市を除く大阪府	45	4.4%
兵庫県・大阪府以外の都道府県	25	2.5%
勤務(通学)していない、専業主婦・主夫	33	3.3%
その他	5	0.5%
無回答	446	43.9%
総計	1,015	100.0%

居住地(小学校区)



※ 潮芦屋については小学校区としては潮見小学校区に含まれますが、アンケートの集計においては別立てとしています。

V. 資料編（アンケート調査票）

「芦屋市市民アンケート調査」

< 調査ご協力をお願い >

市民の皆様におかれましては、日ごろから市政の推進にご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、芦屋市では、10年間のまちづくりの基本として平成23年度にスタートした第4次芦屋市総合計画が、現在2年目を迎えています。

このたび、市政を推進していく中で市民の皆さまが日常生活においてどのように感じておられるか等についておたずねし、総合計画に掲げられているそれぞれの施策をより良いものにするために、『市民アンケート調査』を実施いたします。

本調査は、市内にお住まいの20歳以上の無作為に選ばせていただいた2,000の方を対象に実施するものです。調査は無記名とし、回収したデータも個人が特定されないよう統計的に処理いたしますので、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけするようなことはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成24年11月
芦屋市

< ご記入にあたってのお願い >

1. 郵送させていただいた宛名の方がご記入ください。
2. 黒のボールペン又は濃い鉛筆でご記入ください。
3. お答えは、当てはまる番号を選んで○を付けてください。
(なお、一部で記述をお願いする設問があります。)
4. ご記入いただいた調査票は、お手数ですが同封の返信用封筒(切手不要)に入れて
11月30日(金曜日)までにご投函ください。
5. この調査資料の利用に当たっては、芦屋市個人情報保護条例の規定に基づき、適正に行います。また、調査内容については、この統計以外の目的に使用することはありません(集計後は、責任を持って調査用紙等を廃棄します。)

お問い合わせは、市役所総務部 行政経営課まで
「芦屋市市民アンケート調査の件」とお伝えください。

お電話 38 - 2005 (直通)
FAX 31 - 4841

1. 市が取り組んでいる施策についておたずねします。

問1 下記に示す1-1から15-2までの35項目は、平成23年3月に策定した第4次芦屋市総合計画の基本構想に掲げた施策目標（取組に当たっての具体的な目標）です。

それぞれの項目について、あなたが感じている満足度に一番近い回答を1～6の数字から選び、**1つだけ**○を付けてください。

	満足度					わからない
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	
まちづくりの基本方針 1 「人と人がつながって新しい世代につなげる」						
右の例に従って、当てはまる数字に○を付けてください	1	②	3	4	5	6
1 一人一人のつながりが地域の力を高め、地域主体のまちづくりが進んでいる						
1-1 市民一人一人がそれぞれの状況に応じて必要な情報を手に入れられる	1	2	3	4	5	6
1-2 市民が主体となった活動が増え、継続的に発展している	1	2	3	4	5	6
1-3 地域主体のまちづくりの仕組みが根付き、地域の力が高まっている	1	2	3	4	5	6
2 多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている						
2-1 市民が教養を高める機会が豊富にある	1	2	3	4	5	6
2-2 様々な交流が、多様な文化への理解と見識を深めている	1	2	3	4	5	6
3 お互いを尊重しながら理解と思いやりの心が広がっている						
3-1 平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	1	2	3	4	5	6
3-2 男女共同参画社会の実現に向けて意識が広がっている	1	2	3	4	5	6
4 子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育っている						
4-1 子どもたちが「生きる力」を身につけ、健やかに成長している	1	2	3	4	5	6
4-2 青少年が社会で自立するための力を身につけている	1	2	3	4	5	6
4-3 学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	1	2	3	4	5	6
5 地域で安心して子育てができている						
5-1 世代を超えた多様なつながりが様々な家庭の子育てを支えている	1	2	3	4	5	6
5-2 子育てと仕事の両立を可能にする環境が整っている	1	2	3	4	5	6

まちづくりの基本方針 2 「人々のつながりを安全と安心につなげる」	満足度					わからない
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	
6 市民が心身の良好な状態を維持して過ごしている						
6-1 市民が健康づくりに取り組んでいる	1	2	3	4	5	6
6-2 市民が適切な診療を受けられる	1	2	3	4	5	6
7 高齢者や障がいのある人がいきいきと安心して住み続けられる、まちぐるみの支え合い・助け合いが進んでいる						
7-1 地域における保健・医療・福祉の連携体制が確立している	1	2	3	4	5	6
7-2 高齢者がいつまでもいきいきと安心して暮らしている	1	2	3	4	5	6
7-3 障がいのある人の権利が尊重され、持てる能力を最大限に発揮できる	1	2	3	4	5	6
8 一人一人の意識やまちの雰囲気が暮らしの安全を支えている						
8-1 市民一人一人の暮らしの安全・安心への意識が高まっている	1	2	3	4	5	6
8-2 犯罪が起きにくいまちになっている	1	2	3	4	5	6
9 まちの防災力が向上し、災害時に的確に行動できるよう備えている						
9-1 家庭や地域、行政の防災力が向上している	1	2	3	4	5	6
9-2 災害に強い安全なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	6

(次のページに続きます)

(問1の続き)

	満足度					わからない
	満足	やや満足	どちらとも言えない	やや不満	不満	
まちづくりの基本方針 3 「人々のまちを大切にする心や暮らし方を まちなみにつなげる」						
10 花と緑に彩られた美しいまちなみが自然と調和している						
10-1 自然と緑を守り、創り、育てる文化を継承している	1	2	3	4	5	6
10-2 建物などが地域ごとの緑ゆたかな景観と調和している	1	2	3	4	5	6
11 環境にやさしい清潔なまちでの暮らしが広がっている						
11-1 環境に配慮した暮らしやまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	6
11-2 清潔なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	6
12 交通マナーと思いやりがまちに行き渡り、市内が安全に安心して移動できるようになっている						
12-1 交通ルールやマナーに関する意識が高まっている	1	2	3	4	5	6
12-2 公共施設などのバリアフリー化が進んでいる	1	2	3	4	5	6
12-3 市内を安全かつ快適に移動できる	1	2	3	4	5	6
13 充実した住宅都市の機能が快適な暮らしを支えている						
13-1 良質なすまいづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	6
13-2 住宅都市としての機能が充実している	1	2	3	4	5	6
13-3 市内の商業が活性化し、市民の利便性も向上している	1	2	3	4	5	6

2. 地域の住み心地についておたずねします。

《お 願 い》

※ 以下の設問では、「1つだけ」／「当てはまるものすべて」のように回答の数を示しているものがあります。該当する番号に○を付けてください。
 ※ 「その他」を選ばれた場合は、具体的な内容を（ ）の中にお書きください。

問3 あなたは、現在お住まいになっている地域（町や学区など）を、住みよいところだと思いますか。次の中から1つだけ選んで○を付けてください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. かなり住みよい | 4. かなり住みにくい |
| 2. どちらかといえば住みよい | 5. わからない |
| 3. どちらかといえば住みにくい | |

問4 あなたは、現在お住まいになっている地域の生活環境をどのように感じておられますか。
 以下のaからpまでの16項目について、それぞれ1～5の数字を選び、1つだけ○を付けてください。

		かなり良い	やや良い	普通	やや悪い	かなり悪い
安全・安心	a. 地震・台風・洪水等の災害に対する安全性	1	2	3	4	5
	b. 子どもが外で遊ぶときの安全性	1	2	3	4	5
	c. 通園・通学時の安全性	1	2	3	4	5
	d. 夜道の明るさなどの安全性	1	2	3	4	5
	e. 周辺道路の交通安全性	1	2	3	4	5
	f. 医院、病院等の医療機関の充足	1	2	3	4	5
	g. 休日や夜間の急病時の安心感	1	2	3	4	5
住環境	h. 河川・海辺などの水辺の環境	1	2	3	4	5
	i. 緑などの自然の豊かさ	1	2	3	4	5
	j. まち並み等の景観の美しさ	1	2	3	4	5
	k. 公園・広場・緑地等の充足	1	2	3	4	5
	l. ごみやタバコ等の散乱状況	1	2	3	4	5
	m. 隣近所との付き合い	1	2	3	4	5
	n. 地域のコミュニティ活動の状況	1	2	3	4	5
生活利便	o. 日用品・食料品等の買物の便利さ	1	2	3	4	5
	p. 通勤・通学時の便利さ	1	2	3	4	5

3. あなた（回答者）ご自身についておたずねします。

- 1 現在、どちらにお住まいですか（下の欄内に町名をご記入ください。）。

芦屋市 町

- 2 現在のお住まいに住みはじめてから、何年たちますか。
（進学や就職などで転出したことがある場合は、戻られてからの年数でお答えください。）

1. 3年未満	4. 10年以上20年未満
2. 3年以上5年未満	5. 20年以上30年未満
3. 5年以上10年未満	6. 30年以上

- 3 芦屋市内では、通算で何年暮らしておられますか。
（以前に転出して戻られた場合は、前に住んでいた年数も含めてお答えください。）

1. 3年未満	4. 10年以上20年未満
2. 3年以上5年未満	5. 20年以上30年未満
3. 5年以上10年未満	6. 30年以上

- 4 現在のお住まいには、何人が住んでおられますか。
（あなた自身も含めた人数でお答えください。）

1. 1人（ご自身だけ）	4. 4人
2. 2人	5. 5人
3. 3人	6. 6人以上

- 5 ご一緒に住んでおられる方々は、どのような構成ですか。

1. 自分だけ	4. 親と子と孫（二世代）
2. 夫婦一組だけ（一世代）	5. その他（ ）
3. 親と子（二世代）	

- 6 ご一緒に住んでおられる方々に、以下の条件に当てはまる方はおられますか。
（あなた自身も含め、当てはまる番号のすべてに○を付けてください。）

1. 小学生までの児童	4. 1～3に当てはまる人は一人もいない
2. 65歳以上の方	
3. 介護の必要な方	

